

2021
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学 生涯スポーツ学部 1 年次
HOKUSHO UNIVERSITY
School of lifelong sport

令和3年度 北翔大学・北翔大学短期大学部 学事日程

月	火	水	木	金	土	日	備考
			4/1	4/2	4/3	4/4	
4/5	4/6 在学生 オリエンテーション	4/7 入学式	4/8 オリエンテーション	4/9 オリエンテーション	4/10	4/11	教科書Web販売(～4月下旬)
4/12 ①	4/13 ①	4/14 ①	4/15 ①	4/16 ①	4/17	4/18	教育学科看護教諭コース3年次 看護実習：4/13～5/7
4/19 ②	4/20 ②	4/21 ②	4/22 ②	4/23 ②	4/24	4/25	
4/26 ③	4/27 ③	4/28 ③	4/29 昭和の日	4/30 7/22の振替休日	5/1	5/2	
5/3 憲法記念日	5/4 みどりの日	5/5 こどもの日	5/6 ③	5/7 ③	5/8	5/9	スポーツ教育学科・教育学科音楽コース・芸術学科4年次 教育実習Ⅰ・Ⅱ(中・高) 5月～10月
5/10 ④	5/11 ④	5/12 ④	5/13 ④	5/14 ④	5/15	5/16	
5/17 ⑤	5/18 ⑤	5/19 ⑤	5/20 ⑤	5/21 ⑤	5/22	5/23	こども学科2年次 教育実習：5/17～6/4
5/24 ⑥	5/25 ⑥	5/26 ⑥	5/27 ⑥	5/28 ⑥	5/29	5/30	
5/31 ⑦	6/1 ⑦	6/2 ⑦	6/3 ⑦	6/4 ⑦	6/5	6/6	
6/7 ⑧	6/8 ⑧	6/9 ⑧	6/10 ⑧	6/11 ⑧	6/12	6/13	
6/14 ⑨	6/15 ⑨	6/16 ⑨	6/17 ⑨	6/18 ⑨	6/19	6/20	
6/21 ⑩	6/22 ⑩	6/23 ⑩	6/24 ⑩	6/25 ⑩	6/26	6/27	健康福祉学科(介護)2年次 介護基礎実習：6月下旬
6/28 ⑪	6/29 ⑪	6/30 ⑪	7/1 ⑪	7/2 ⑪	7/3	7/4	教育学科看護教諭コース2年次 看護学臨床実習：7月～9月
7/5 ⑫	7/6 ⑫	7/7 ⑫	7/8 ⑫	7/9 ⑫	7/10	7/11	
7/12 ⑬	7/13 ⑬	7/14 ⑬	7/15 ⑬	7/16 ⑬	7/17	7/18	
7/19 ⑭	7/20 ⑭	7/21 ⑭	7/22 ⑭海の日	7/23 ⑭スポーツの日	7/24	7/25	
7/26 ⑮	7/27 ⑮	7/28 ⑮	7/29 ⑮	7/30 ⑮	7/31	8/1	こども学科2年次 保育実習Ⅰ・Ⅱ(保育所)：8月～9月
8/2 補講・試験日(月)	8/3 補講・試験日(火)	8/4 補講・試験日(水)	8/5 補講・試験日(木)	8/6 補講・試験日(金)	8/7	8/8 山の日	心理カウンセリング学科4年次 精神保健福祉援助実習：8月～9月
8/9 振替休日(山の日)	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	心理カウンセリング学科3年次 心理実習：8月～9月
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	教育学科4年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ： 8/17～8/30
8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	教育学科3年次 教育実習Ⅰ(幼・小)： 幼稚園8/23～9/10 小学校8月中旬～9月中旬
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5 創立記念日	健康福祉学科(介護)3年次 介護実習Ⅱ：8/17～9/24
9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	健康福祉(他)3年次・健康福祉(介)4年次 相談援助実習：8/16～9/17
9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	
9/20 敬老の日	9/21	9/22 オリエンテーション	9/23 秋分の日	9/24 大学祭準備	9/25 大学祭	9/26	教科書Web販売(～10月中旬)
9/27 ①	9/28 ①	9/29 ①	9/30 ① ①新学期学位記授与式	10/1 ①	10/2	10/3	こども学科2年次 保育実習Ⅰ(施設)：9月～12月
10/4 ②	10/5 ②	10/6 ②	10/7 ②	10/8 ②	10/9	10/10	
10/11 ③	10/12 ③	10/13 ③	10/14 ③	10/15 ③	10/16	10/17	
10/18 ④	10/19 ④	10/20 ④	10/21 ④	10/22 ④	10/23	10/24	
10/25 ⑤	10/26 ⑤	10/27 ⑤	10/28 ⑤	10/29 ⑤	10/30	10/31	
11/1 ⑥	11/2 ⑥	11/3 文化の日	11/4 ⑥	11/5 ⑥	11/6	11/7	健康福祉学科(介護)4年次 訪問介護実習：11月上旬
11/8 ⑦	11/9 ⑦	11/10 ⑥	11/11 ⑦	11/12 ⑦	11/13	11/14	
11/15 ⑧	11/16 ⑧	11/17 ⑦	11/18 ⑧	11/19 ⑧	11/20	11/21	
11/22 ⑨	11/23 ⑨勤労感謝の日	11/24 ⑧	11/25 ⑨	11/26 ⑨	11/27	11/28	
11/29 ⑩	11/30 ⑩	12/1 ⑨	12/2 ⑩	12/3 ⑩	12/4	12/5	
12/6 ⑪	12/7 ⑪	12/8 ⑩	12/9 ⑪	12/10 ⑪	12/11	12/12	
12/13 ⑫	12/14 ⑫	12/15 ⑪	12/16 ⑫	12/17 ⑫	12/18	12/19	
12/20 ⑬	12/21 ⑬	12/22 ⑫	12/23 ⑬	12/24 ⑬	12/25	12/26	
12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1 元日	1/2	
1/3	1/4	1/5	1/6	1/7 7/23の振替休日	1/8	1/9	
1/10 成人の日	1/11 11/23の振替休日	1/12 ⑬	1/13 ⑭	1/14 ⑭	1/15	1/16	
1/17 ⑭	1/18 ⑭	1/19 ⑭	1/20 ⑮	1/21 ⑮	1/22	1/23	
1/24 ⑮	1/25 ⑮	1/26 ⑮	1/27 補講・試験日(木)	1/28 補講・試験日(金)	1/29	1/30	心理カウンセリング学科3年次 精神保健福祉援助実習：2月～3月
1/31 補講・試験日(月)	2/1 補講・試験日(火)	2/2 補講・試験日(水)	2/3	2/4	2/5	2/6	心理カウンセリング学科2年次 心理実習：2月～3月
2/7	2/8	2/9	2/10	2/11 建国記念の日	2/12	2/13	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(保育所)：2/7～2/19
2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	健康福祉学科(介護)2年次 介護実習Ⅰ：2/14～3/11
2/21	2/22	2/23 天皇誕生日	2/24	2/25	2/26	2/27	
2/28	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(施設)：2/28～3/12
3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	
3/14	3/15	3/16	3/17	3/18 学位記授与式	3/19	3/20	
3/21 春分の日	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	
3/28	3/29	3/30	3/31				

※ 今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更となる場合があります。

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2021（令和3）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。

授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

- ・ 授業のねらい
- ・ 到達目標
- ・ 授業計画
- ・ 準備学習の内容（事前・事後の学習）
- ・ 使用するテキスト（教科書）や、参考書
- ・ 成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
- ・ 質問への対応（連絡先など）
- ・ その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返し	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実にかかる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
導入科目								
基礎教育セミナーⅠ	演習	①		担当教員		スポーツ教育学科		1
				担当教員		健康福祉学科 一部集中講義		2
基礎教育セミナーⅡ	演習		①	担当教員		スポーツ教育学科		3
				担当教員		健康福祉学科 一部集中講義		4
基礎科目								
日本語表現	講義	①		小杉直美				5
				小坂守孝				
				小坂井留美				
				村松幹男	○			
				石原深雪	○			
				小原信夫	○			
				前川公美夫	○			
				福田信一	○			
数学入門	講義	①		松澤衛				6
				竹内雅明				
				三浦公裕	○			
				山本敬三				
				菊池隆夫				
				齋藤秀之				
				佐々木雅史	○			
				佐藤克之				
情報機器操作Ⅰ	演習	②		槇洋一		スポーツ教育学科	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、 社会教育主事_選必	7
				森夏節				
				大関慎		健康福祉学科	[健]社会教育主事_選必	8
情報機器操作Ⅱ	演習		②	梅村匡史		スポーツ教育学科		9
				槇洋一				
				森夏節				
				大関慎		スポーツ教育学科・ 健康福祉学科		10
英語コミュニケーションⅠ	演習	②		C.B.サイモンズ		スポーツ教育学科	[ス]中・高1種(保健体育)_必修	11
				アレックス グレイグ				健康福祉学科
外国語科目								
英語コミュニケーションⅡ	演習		2	C.B.サイモンズ		スポーツ教育学科		13
				アレックス グレイグ				健康福祉学科

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
就業力養成科目								
キャリアデザインⅠ	講義	①		永井秀岳				15
				キャリア支援センター長				
外国人留学生科目								
日 本 語	講義	2		田 光 子				16
現 代 日 本 の 文 化	講義		2	菊 地 達 夫		集中講義		17

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 発展科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
心身・健康に関する科目群								
心 理 学 概 論	講義	2		澤 聡 一	○	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目	[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、 社会福祉主事_選必 [教]社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_必修、 認定心理士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	19
発 達 心 理 学	講義	2		新 川 貴 紀		心理カウンセリング学科 専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必	20
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2	小 坂 守 孝	○	心理カウンセリング学科 専門科目	[ス][健]社会教育主事_選必	21
乳 幼 児 心 理 学	講義		2	新 川 貴 紀		心理カウンセリング学科 専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	22
福 祉 心 理 学	講義		2	佐 藤 至 英		健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目	[ス][教][芸]社会教育主事_選必 [健]介護福祉士_必修、社会教育主事_選必 [心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必、社会教育主事_選必	23
社会と生活に関する科目群								
社 会 学	講義	2		松 下 守 邦		健康福祉学科(健介)・ 心理カウンセリング学科 専門科目	[健]介護福祉士_選必、社会福祉主事_選必 [教]社会福祉主事_選必	24

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 発展科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
文化と芸術に関する科目群								
音 楽 概 論	講義		2	岡 元 敦 司	○	教育学科(音)専門科目	[教]中・高 1 種(音楽)_必修	25
ファッションデザイン概論	講義	2		大信田 静 子		芸術学科専門科目		26
				富 田 玲 子				
インテリアデザイン	演習	2		千 里 政 文	○	芸術学科専門科目	[芸]中・高 1 種(美術)_必修・1・2 級建築士_選択、 インテリアプランナー_選必	27
ユニバーサルデザイン	講義		2	千 里 政 文	○	芸術学科専門科目	[芸] 1 級建築士_必修・2 級建築士_選必、 インテリアプランナー_選必	28

生涯スポーツ学部 健康福祉学科 発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
心身・健康に関する科目群								
発 達 心 理 学	講義	2		新 川 貴 紀		心理カウンセリング学科 専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必	20
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2	小 坂 守 孝	○	心理カウンセリング学科 専門科目	[ス][健]社会教育主事_選必	21
乳 幼 児 心 理 学	講義		2	新 川 貴 紀		心理カウンセリング学科 専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	22
文化と芸術に関する科目群								
音 楽 概 論	講義		2	岡 元 敦 司	○	教育学科(音)専門科目	[教]中・高 1 種(音楽)_必修	25
ファッションデザイン概論	講義	2		大信田 静 子		芸術学科専門科目		26
				富 田 玲 子				
インテリアデザイン	演習	2		千 里 政 文	○	芸術学科専門科目	[芸]中・高 1 種(美術)_必修、1・2 級建築士_選択、 インテリアプランナー_選必	27
ユニバーサルデザイン	講義		2	千 里 政 文	○	芸術学科専門科目	[芸] 1 級建築士_必修・2 級建築士_選必、 インテリアプランナー_選必	28

生涯スポーツ学部 学部共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
生 涯 ス ポ ー ツ 学	講義	②		川 西 正 志		スポーツ教育学科	[ス]社会教育主事_選必	29
				小坂井 留 美		健康福祉学科	[健]社会教育主事_選必	30
生 涯 学 習 概 論 I	講義	2		谷 川 松 芳	○		[ス]社会教育主事_必修、 レクリエーション・コーディネーター_必修 [健]社会教育主事_必修	31
生 涯 学 習 概 論 II	講義		2	谷 川 松 芳	○		[ス][健]社会教育主事_必修	32
栄 養 と 健 康	講義		2	黒 田 裕 太			[ス]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修、 認定トレーニング指導者_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修	33
健 康 学	講義	②		小 田 史 郎			[ス]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修 [健]介護福祉士_選必、 健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修	34
介 護 予 防 論	講義	2		小 田 史 郎		健康福祉学科		35
				小坂井 留 美				
				吉 田 修 大				
ス ポ ー ツ 心 理 学	講義	2		吉 田 聡 美	○		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、 認定トレーニング指導者_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修、 レクリエーション・コーディネーター_選必	36
				畠 中 智 志				
ス ポ ー ツ 運 動 学	講義	2		廣 田 修 平			[ス]中・高1種(保健体育)_必修	37
生 理 学	講義	2		柴 田 啓 介			[ス]中・高1種(保健体育)_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修	38
運 動 生 理 学	講義		2	井 出 幸二郎			[ス]中・高1種(保健体育)_必修、 健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修、 認定トレーニング指導者_必修、 アスレティックトレーナー_必修、 レクリエーション・コーディネーター_選必 [健]健康運動指導士_必修	39

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
ス ポ ー ツ 教 育 学 概 論	講義	②		大 宮 真 一			[ス]公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修、 レクリエーション・コーディネーター_必修	41
				上 田 知 行				
				菊 地 はるひ				
				坂 谷 充				
				高 田 真 吾				
				竹 田 唯 史				
				永 谷 稔				
				松 井 由紀夫				
				森 靖 明				
吉 田 真								
基 礎 解 剖 学	講義	2		高 田 真 吾		健康福祉学科同時展開	[ス]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修 [健]健康運動指導士_必修	42
機 能 解 剖 学	講義		2	吉 田 真			[ス]認定トレーニング指導者_必修、 アスレティックトレーナー_必修	43
ト レ ー ニ ン グ 論	講義		2	山 本 敏 美	○	健康福祉学科同時展開	[ス]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修、 認定トレーニング指導者_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修	44
コ ー チ 学	講義		2	大 宮 真 一		健康福祉学科同時展開	[ス]認定トレーニング指導者_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修	45
				畠 中 智 志				
				竹 内 雅 明				
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	実技	1		花 井 篤 子		選択必修科目	[ス]中・高1種(保健体育)_必修	46
				高屋敷 亨 子				
				中 村 恵				
				畠 山 綾 子				
生涯スポーツ(陸上競技)	実技	1		大 宮 真 一		選択必修科目 健康福祉学科同時展開		47
				北 風 沙 織				
				仁 井 有 介				
生涯スポーツ(エアロビック)	実技	1		是 枝 亮	○	選択必修科目 健康福祉学科同時展開	[ス]健康運動実践指導者_必修、 エアロビックコーチ1_必修 [健]健康運動実践指導者_必修	48
生涯スポーツ(バドミントン)	実技	1		竹 内 雅 明		選択必修科目	[ス]中・高1種(保健体育)_選択	49
				北 村 優 明				

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
生涯スポーツ(バレーボール)	実技		1	永 谷 稔		選択必修科目		50
			長 尾 明 也	健康福祉学科同時展開				
生涯スポーツ(バスケットボール)	実技		1	畠 中 智 志		選択必修科目		51
			横 山 茜 理					
冬季スポーツボランティア実習	実習		2	佐々木 優		集中講義		52
			竹 田 唯 史					

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツ教育コース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
特 別 支 援 教 育 総 論	講義		2	瀧 澤 聡		教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	53
			佐 藤 至 英					
			松 井 由紀夫					
			石 川 大					
			石 塚 誠 之					
			磯 貝 隆 之					

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツトレーナーコース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
アスレティックトレーナー概論	講義		②	吉 田 真			[ス]アスレティックトレーナー_必修	54

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教科及び教職に関する科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
教 育 原 理	講義		②	堂 徳 将 人	○		[ス]中・高 1 種(保健体育)_必修	55
教 職 概 論	講義		②	西 村 貴 之			[ス]中・高 1 種(保健体育)_必修	56
教 育 心 理 学	講義		②	西 塚 拓 海	○		[ス]中・高 1 種(保健体育)_必修	57

健康福祉学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
健 康 福 祉 学 概 論	講義	②		小 田 史 郎				59
				阿 部 豊				
				黒 澤 直 子				
				古 市 孝 義				
				吉 田 修 大				
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	講義	②		岩 本 希			[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、 社会福祉主事_選必	60
介 護 の 基 本 Ⅰ	講義・演習	2		本 間 美 幸	○		[健]介護職員初任者研修_必修	61
				佐 藤 郁 子	○			
				田 中 美 雪	○			
				橋 本 抄 苗	○			
介 護 の 基 本 Ⅱ	講義・演習	2		高 橋 銀 司	○		[健]介護職員初任者研修_必修	62
				牧 田 俊 樹				
生 活 支 援 技 術	講義・演習		2	本 間 美 幸	○	一部集中講義	[健]介護職員初任者研修_必修	63
				相 沢 和 臣	○			
				五十嵐 修 平	○			
				山 道 祐 子	○			
介護を必要とする人の理解	講義・演習	2		竹 内 美 幸	○		[健]介護職員初任者研修_必修	64
				佐 藤 郁 子	○			
医 学 概 論	講義	2		大宮司 信	○		[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、 社会福祉主事_選必	65
医 学 知 識	講義		2	大宮司 信	○	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]介護福祉士_必修	66
精 神 保 健	講義	2		杉 岡 品 子	○		[健]介護福祉士_必修	67
心 理 学 概 論	講義	2		澤 聡 一	○	心理カウンセリング学科 同時展開 発展科目	[健]介護福祉士_選必、 社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [教]社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、 精神保健福祉士_必修、認定心理士_必修、 福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	68
高 齢 者 福 祉	講義		2	吉 田 修 大			[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、 社会福祉主事_選必	69
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義		2	尾 形 良 子			[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修	70

健康福祉学科 学科専門科目 健康・介護福祉コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
健 康 運 動 実 践 論	講義		2	小 田 史 郎			[健]健康運動実践指導者_必修	71
				新開谷 深				
コ ー チ 学	講義		2	大 宮 真 一		スポーツ教育学科同時展開	[ス]認定トレーニング指導者_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修	72
				畝 中 智 志				
				竹 内 雅 明				
基 礎 解 剖 学	講義	2		高 田 真 吾		スポーツ教育学科同時展開	[健]健康運動指導士_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修	73
ト レ ー ニ ン グ 論	講義		2	山 本 敏 美	○	スポーツ教育学科同時展開	[健]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修、 認定トレーニング指導者_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修	74
レジャー・レクリエーション論	講義		2	坂 谷 充		スポーツ教育学科同時展開	[健]レクリエーション・インストラクター_必修 [ス]レクリエーション・インストラクター_必修、 レクリエーション・コーディネーター_必修	75
生涯スポーツ(陸上競技)	実技	1		大 宮 真 一		スポーツ教育学科同時展開		76
				北 風 沙 織				
				仁 井 有 介				
生涯スポーツ(バレーボール)	実技		1	永 谷 稔		スポーツ教育学科同時展開		77
生涯スポーツ(エアロビック)	実技	1		是 枝 亮		スポーツ教育学科同時展開	[健]健康運動実践指導者_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、 エアロビックコーチ 1 _必修	78
介 護 予 防 実 践 演 習	演習		2	小 田 史 郎		集中講義		79
				阿 部 豊				
				梶 晴 美				
				小坂井 留 美				
				杉 岡 品 子				
				竹 田 千 春				
				古 市 孝 義				
				八 巻 貴 穂				
生 活 の 中 の 介 護 福 祉	講義	②		福 島 義 典	○		[健]介護福祉士_必修	80

健康福祉学科 学科専門科目 健康・介護福祉コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
福 祉 心 理 学 講義			2	佐 藤 至 英		心理カウンセリング学科同時展開 発展科目	[健]介護福祉士_必修、社会教育主事_選必 [ス][教][芸]社会教育主事_選必 [心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必、社会教育主事_選必	81
社 会 学 講義		2		松 下 守 邦		心理カウンセリング学科同時展開 発展科目	[健]介護福祉士_選必、社会福祉主事_選必 [教]社会福祉主事_選必	82
生 活 生 理 学 講義			2	竹 内 美 幸	○		[健]介護福祉士_必修	83
介 護 概 論 I 講義			2	古 市 孝 義		介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修、社会福祉主事_選必	84
介 護 技 術 演 習 I 演習			1	竹 田 千 春	○	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	85

健康福祉学科 学科専門科目 社会福祉コース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		1 年次						
		前	後					
ソーシャルワーク入門Ⅰ	講義	②		尾 形 良 子				86
				岩 本 希				
				黒 澤 直 子				
				久 野 真知子				
				吉 田 修 大				
ソーシャルワーク入門Ⅱ	講義		②	黒 澤 直 子				87
				岩 本 希				
				尾 形 良 子				
				久 野 真知子				
				吉 田 修 大				
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	講義		2	久 野 真知子			[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	88
児 童 ・ 家 庭 福 祉	講義	2		小 松 留美子	○		[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	89

全学共通科目

科 目 名			基礎教育セミナーⅠ		授業形態		演習		単 位 数		1	
教 員 名			スポーツ教育学科担当教員									
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では大学での講義をより効果的に受けていくために、基本的な講義受講のポイントや文章の書き方、あるいは図書検索・レポートの書き方や環境学習の基礎知識を学ぶ。講義は10名程度の少人数での展開とクラスごとの展開で構成され、入学後4年間の学習に活かせる学芸技能の習得を目指す。また、教育の理念、建学の精神を理解することを目的とする。										
	到達目標	(1)講義の受講の仕方を身に付ける。 (2)文章の書き方を身に付ける。 (3)図書検索・レポートの書き方を身に付ける。 (4)教員の専門分野について知る。										
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。(各教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】レポートの書き方 【計画内容】レポートの書き方について学習する。(各教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A						
	第2回	【テーマ】ノートの取り方 【計画内容】ノートの取り方の基礎を理解する。(各教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】学部・学科教員の専門分野に関するフリーフィング1 【計画内容】教員の専門分野について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A						
	第3回	【テーマ】文章の書き方① 【計画内容】文書の書き方について学ぶ。(各教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】学部・学科教員の専門分野に関するフリーフィング2 【計画内容】教員の専門分野について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A						
	第4回	【テーマ】大学で学ぶこと(学長講話) 【計画内容】学長講話を通して、大学で学ぶことの意義と姿勢を理解する。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】学部・学科教員の専門分野に関するフリーフィング3 【計画内容】教員の専門分野について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A						
	第5回	【テーマ】メンタルヘルス 【計画内容】心理カウンセラーの講話を通して、健康やメンタルヘルスの重要性を理解する。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】学部・学科教員の専門分野に関するフリーフィング4 【計画内容】教員の専門分野について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A						
	第6回	【テーマ】図書館オリエンテーション 【計画内容】本学図書館の施設を理解したうえで、図書検索の方法を学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	B	第14回	【テーマ】学部・学科教員の専門分野に関するフリーフィング5 【計画内容】教員の専門分野について学ぶ。【(担当教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A						
	第7回	【テーマ】文章の書き方② 【計画内容】文書の書き方について学ぶ。(各教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】前学期の振り返りを行い、理解度を確認する。(各教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A						
	第8回	【テーマ】ノートの取り方・レポートの書き方 【計画内容】ノートの取り方・レポートの書き方について学習する。(各教員) 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A									
テキスト		長尾佳代子・谷川裕稔・中園篤典、2013年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社										
参 考 書		テキスト及びプリントを使用します										
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他					
	配分			20%		60%	20%					
	補足			平時		平時	まとめ					
課題に関するフィードバックの方法		第15回目に専門分野に関するレポートを返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。										
実務経験と授業の関連		経 験 内 容										
		科目との関連										
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。										
資 格												
そ の 他		テキストは毎回持参すること。										

科 目 名		基礎教育セミナーⅠ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		健康福祉学科担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、本学の教育理念、建学の精神を理解し、大学での講義をより効果的に受けるために必要な情報検索、ノートテイキング、リーディング等の基礎知識を習得する。また、大学生活に必要な基本的なマナー（姿勢、態度、言葉遣い）を身につける。さらに、地域貢献の前提となる基礎知識を学び、実践する準備を行う。						
	到達目標	(1)講義の受講の仕方を身につける。 (2)文章の読解力を身につける。 (3)図書検索・情報検索の方法を身につける。 (4)人と接する際の基本的なマナーを身につける。 (5)地域貢献活動のため地域への理解を進め、コミュニケーションや活動スキルの基礎を身につける。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】テキストの読み方 【計画内容】効率良く文章を読む方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A・B		
	第2回	【テーマ】大学で学ぶということ 【計画内容】学長講話を通して、大学で学ぶことの意義と姿勢を理解する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】レポートの書き方 【計画内容】レポートの作成方法を通して文章の書き方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの該当章を読んでおくこと。	A・B		
	第3回	【テーマ】図書館利用(ガイダンス) 【計画内容】図書館ガイダンスにより、図書館の活用方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定した内容に取り組むこと。	A・B	第11回	【テーマ】キャリア教育① 【計画内容】プレゼンテーションなど話すときの基本的なマナー（姿勢、態度、言葉遣い）を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】マナーについて調べてくる。	A・B		
	第4回	【テーマ】メンタルヘルス講演会 【計画内容】学生相談室心理カウンセラーの講話を通して、メンタルヘルスについて学び、その重要性を理解する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】地域貢献1ー地域食堂・子ども食堂オリエンテーション 【計画内容】地域貢献の一環として実施している地域食堂・子ども食堂に運営として参加するためのオリエンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】地域食堂・子ども食堂について調べておく。	A		
	第5回	【テーマ】文章表現の基礎(母校への手紙①) 【計画内容】出身高校への大学入学後の近況報告の手紙を送付することを通して、目上の方などに送る、基本的な手紙の文章構成と書き方を知る。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A・B	第13回	【テーマ】地域貢献2ー地域食堂・子ども食堂 事前準備 【計画内容】地域食堂・子ども食堂に参加するために必要な、基本的な調理や喫茶の知識および技術を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回のオリエンテーションの内容を復習をしてくる。	A・D		
	第6回	【テーマ】演習(母校への手紙②) 【計画内容】各自がワープロで作成した出身高校への手紙の添削を受け、手紙の書き方を学び、文章表現力を向上させる。 【授業時間外の学修内容】手紙を書いて用意する。	B	第14回	【テーマ】地域貢献3ー地域食堂・子ども食堂 事前準備2 【計画内容】地域食堂・子ども食堂に参加するために必要な、基本的な調理や喫茶の知識および技術を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回のオリエンテーションの内容を復習をしてくる。	A・D		
	第7回	【テーマ】ノートの取り方 【計画内容】ノートを取るこのの意味、ノートテイクの基本、効果的なノートテイクの技法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A・K	第15回	【テーマ】前学期の振り返りとまとめ 【計画内容】前学期の振り返りを行い、理解度を確認する。 【授業時間外の学修内容】前学期の学びを振り返り復習しておくこと。	L		
	第8回	【テーマ】文献・情報検索(情報リテラシー) 【計画内容】図書館ガイダンスで学んだことを生かし実際に自分の関心あるキーワードで文献検索を行い、図書館でその文献を借りるまでを、体験を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】図書館ガイダンスで学んだことを復習してくる。	B					
テキスト		長尾佳代子・谷川裕稔・中園篤典、2013年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社						
参 考 書		プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			40%		60%		
課題に関するフィードバックの方法		課題ごとに解説・講評します。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		4～5回 常識力を確認します。						

科 目 名		基礎教育セミナーⅡ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		スポーツ教育学科担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では「基礎教育セミナーⅠ」で習得した内容の向上を目指す。また、2年次以降の学習に向けて、本学部・学科についての知識や理解度も深めていくとともに、レポート作成における適切な日本語表現を習得することを目標とする。						
	到達目標	(1)「基礎教育セミナーⅠ」で習得した内容を向上させる。 (2)レポート作成のための適切な日本語表現を身に着ける。 (3)2年次以降の学習の方向性を明確にする。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。(各教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】レポートの書き方4 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A		
	第2回	【テーマ】防犯講和 【計画内容】SNSなどを対象とした防犯の方法について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】G Tとの面談 【計画内容】各G Tとの面談を通じて大学生活の課題について考える。(各教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A		
	第3回	【テーマ】先輩に学ぶ1 【計画内容】教員採用試験に向けた4年間の大学生活の過ごし方を学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】レポートの書き方5 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A		
	第4回	【テーマ】先輩に学ぶ2 【計画内容】トレーナー系職業への就職に向けた4年間の大学生活の過ごし方を学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A	第12回	【テーマ】レポートの書き方6 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A		
	第5回	【テーマ】先輩に学ぶ3 【計画内容】スポーツ系職業への就職に向けた4年間の大学生活の過ごし方を学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】レポートの書き方7 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A		
	第6回	【テーマ】レポートの書き方1 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】レポートの書き方8 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A		
	第7回	【テーマ】レポートの書き方2 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】後学期の振り返りを行い、理解度を確認する。(各教員) 【授業時間外の学修内容】後学期の振り返りをしておくこと。	A		
	第8回	【テーマ】レポートの書き方3 【計画内容】レポート作成における適切な日本語表現について学ぶ。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A					
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		テキスト及びプリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			70%		30%		
	補 足			平時		平時		
課題に関するフィードバックの方法		毎回小レポートを返却し、学んだ内容を振り返ります。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		提示されるレポートの提出期日は厳守すること。						

科 目 名			基礎教育セミナーⅡ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名			健康福祉学科担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、大学での講義で必要なライティングの基礎を習得する。また、福祉教養としてボランティアについて基礎を学び、実践につながる力を養う。さらに健康福祉学科の特徴である地域貢献事業を実践し、回を重ねるごとに地域住民との双方向性のコミュニケーションのあり方を身につけ、人生の先輩からさまざまなことを学びながら、自らも役立つという経験を深めていく。							
	到達目標	(1)基本的なレポート作成方法を身につける。 (2)福祉教養としてのボランティアについて理解し、実践力を身につける。 (3)地域住民と円滑なコミュニケーションができるようになる。 (4)さまざまな地域住民から成り立っている地域社会のあり方を理解する。 (5)他者への配慮や大学生という特性を生かした活動を経験する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】地域貢献5- 地域食堂・子ども食堂参加1 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民と交流する。 【授業時間外の学修内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。	M			
	第2回	【テーマ】キャリア教育②(ビジネスマナー) 【計画内容】人と接する際の基本的なマナー(姿勢、態度、言葉遣い)を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】マナーについて調べてくる。	A・B	第10回	【テーマ】地域貢献6- 地域食堂・子ども食堂参加2 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民と交流する。 【授業時間外の学修内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。	M			
	第3回	【テーマ】ライティング1 【計画内容】事実と意見を区別する書き方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A・B	第11回	【テーマ】地域貢献7- 地域食堂・子ども食堂参加3 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して住民のニーズを知る。 【授業時間外の学修内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。	M			
	第4回	【テーマ】ライティング2 【計画内容】問題提起をするための文章表現を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A・B	第12回	【テーマ】地域貢献8- 地域食堂・子ども食堂参加4 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して住民のニーズを知る。 【授業時間外の学修内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。	M			
	第5回	【テーマ】ライティング3 【計画内容】レポートの構成方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A・B	第13回	【テーマ】地域貢献9- 地域食堂・子ども食堂参加5 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して地域の課題を考える。 【授業時間外の学修内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。	M			
	第6回	【テーマ】福祉教養1 【計画内容】外部講師を招き、ボランティアについて、ボランティアの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ボランティアについて調べてくる。	A	第14回	【テーマ】地域貢献10- 地域食堂・子ども食堂参加6 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して地域の課題を考える。 【授業時間外の学修内容】事前説明の内容を復習し実践に備える。	M			
	第7回	【テーマ】プレゼンテーションの方法 【計画内容】卒業研究報告会に参加し、プレゼンテーション方法について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを読んでおくこと。	A・K	第15回	【テーマ】後学期の振り返りとまとめ 【計画内容】後学期の振り返りを行い、理解度を確認する。 【授業時間外の学修内容】後学期の振り返りを行っておくこと。	L			
	第8回	【テーマ】地域貢献4- 地域食堂・子ども食堂 事前説明 【計画内容】地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加するための事前説明を行う。 【授業時間外の学修内容】説明内容を復習し実践に備える。	A						
テキスト		長尾佳代子、谷川裕稔、中國篤典、2013年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社							
参 考 書		プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			40%		60%			
補 足	足								
課題に関するフィードバックの方法		課題ごとに解説・講評します。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格									
そ の 他		4～5回 常識力を確認します。							

科目名		日本語表現			授業形態	講義	単位数	1
教員名		小杉 直美、小坂 守孝、小坂井 留美、村松 幹男、石原 深雪、小原 信夫、前川 公美夫、福田 信一						
授業の目的	ねらい	日本語による表現能力の向上と、基本的知識の修得を目的とします。その表記方法(文字・語彙・文法・文体等)を学習し、文章の種類・形態と文章を書くときの要領について学習します。 伝えることの大切さを意識すると同時に、日本語の各分野における能力を向上させることを目的としています。各自が持つ日本語表現能力を向上させ、効果的で円滑なコミュニケーションを図ることができるように、基礎的な力を付けることを目的としています。						
	到達目標	(1)自らの日本語の能力を知り、言葉の大切さを意識することができる。 (2)自らの日本語表現能力を高めることができる。 (3)必要な情報を読み取り、適切に伝えることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】書き言葉を使いこなすために 【計画内容】レポートや報告書を作成するための基本的なスキルとして書き言葉のルールを確認します。(岩本希) 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章「書き言葉を使いこなすために」部分を予習しておくこと。					A・K・L	
	第2回	【テーマ】筆順について 【計画内容】筆順の考え方を、「筆順指導の手びき」に基づきながら、二つの大原則と、八つの原則に分類して学びます。(福田信一) 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「筆順について」部分を予習しておくこと。					A・K・L	
	第3回	【テーマ】四字熟語・慣用句 【計画内容】社会人の常識として必須であり、就職試験(SPI-Ⅱなど)にも出題頻度の高い、四字熟語・慣用句の知識を確認し、理解不足を補う機会とします。(小坂守孝) 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章「四字熟語・慣用句」部分を予習しておくこと。					A・K・L	
	第4回	【テーマ】変わる言葉 【計画内容】「日本語が時とともに変わっていく」ということに焦点をあて、そのことを意識したコミュニケーションの重要性を学びます。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】テキスト第4章「変わる言葉」部分を予習しておくこと。					A・K・L	
	第5回	【テーマ】敬意表現 【計画内容】日本語特有の敬意表現について、自己表現、他者との関わりを考慮した表現という視点から、日常生活に即した学びをします。(小杉直美) 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章「敬意表現」部分を予習しておくこと。					A・K・L	
	第6回	【テーマ】日本語表現の歴史と特徴 【計画内容】日本語がどのようにして生まれ現在にいたのかを、日本語の表現の特徴に触れながら学びます。(小原信夫) 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章「日本語表現の歴史と特徴」部分を予習しておくこと。					A・K・L	
	第7回	【テーマ】レポートに適した内容と構成 【計画内容】意見と感想の違いを確認し、レポートに適した構成について学びます。(石原深雪) 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章「レポートに適した内容と構成」部分を予習しておくこと。					A・K・L	
	第8回	【テーマ】正しく伝える 【計画内容】考えを相手に正しく伝えるには「自分の文章を他人の目になって読む」ことが必要です。新聞記事などを例に「文章作りのポイント」を学びます。(前川公美夫) 【授業時間外の学修内容】テキスト第8章「正しく伝える」部分に目を通しておくこと。					A・K・L	
テキスト		テキストを入学時に配付します						
参考書		講義時に指示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足					40%	60%	
課題に関するフィードバックの方法		講義時ならびにメール、ポータルサイトを介して対応する。						
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	石原深雪、小原信夫、福田信一 / 小、中、高校教員(国語科)、村松幹男 / 脚本家、前川公美夫 / 新聞記者					
		科目との関連	日本語を駆使する職、日本語を指導する職等に従事。					
質問への対応		講義時とともに、メールでも質問を受け付けます。 E-Mail:nihongo@hokusho-u.ac.jp						
資格								
その他		大学生活を送る上で必要な日本語表現を基本から学ぶ機会です。積極的に取り組んでください。 毎週、理解度確認などにより評価を行います。 補講は致しませんが、理解度に不足があると認められた学生には、特別な試験を行います。 3回欠席した場合は単位の認定はされませんので、注意してください。 クラスによってテーマの順番が変わりますので、初回講義には必ず出席すること。						

科 目 名		数学入門			授業形態	講義	単 位 数	1
教 員 名		松澤 衛、竹内 雅明、三浦 公裕、山本 敬三、菊池 隆夫、齋藤 秀之、佐々木 雅史、佐藤 克之						
授 業 の 目 的	ねらい	現代社会のように高度に発達した情報化社会では、物事を論理的に考える力が求められております。数学は、論理的な思考能力を養うとてもよい学習です。 「数学入門」では数学教材を題材に、多様な見方・考え方、就業力に必要な数学の基礎を学びます。						
	到達目標	(1)物事を論理的に考えることができる。 (2)数学の面白さと楽しさを感じることができる。 (3)就業力に必要な数学の基礎が理解できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】数とは？情報の仕組みを通して数を理解しよう！ 【計画内容】人間が都合よく作り出した数、その数の仕組みを理解して、この情報化社会を乗り切るための基本的な考えを学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章「数とは？情報の仕組みを通して数を理解しよう！」を読み、頭の中を柔らかくしておくこと。						A・H
	第2回	【テーマ】点と線と面(図形の基本) 【計画内容】サザエさんの住まいを題材に、長さと面積を考えます。その中で、次元の概念と次元を変えることで見えることについて解説します。 各自が簡易製図板を使用して、自ら線を写す(トレース)作業を行いながら、長さ、面積を理解して量(たたみ)、間取り、建物等、小さな寸法(スケール)で書かれている図形から実際の空間を把握し、数値と次元の重要性を学びます。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「点と線と面(図形の基本)」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。						A・J
	第3回	【テーマ】身のまわりの「速さ・時間・距離」を「はじき公式」で理解しよう 【計画内容】「速さ・時間・距離」を身近な事例を通して理解し、「はじき公式」の適用問題を教材に就業力数学への基礎的・基本的なスキルを学びます。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章「身のまわりの「速さ・時間・距離」を「はじき公式」で理解しよう」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。						A
	第4回	【テーマ】身のまわりのプロポーション(比率) 【計画内容】比例・比率、平方根、A3ならびに B5などの意味を学びます。(山本敬三) 【授業時間外の学修内容】テキスト第4章「身のまわりのプロポーション(比率)」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。						A・H
	第5回	【テーマ】順列・組合せの意味理解とその活用 【計画内容】身近にある具体的な事柄を素材に、起こりうる場合を順序よく整理して調べる活動を通して、公式の意味を理解しその活用の仕方を学びます。(三浦公裕) 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章「順列・組合せの意味理解とその活用」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。						A
	第6回	【テーマ】金利の基礎知識と計算方法を通じて数的なセンスを身につける 【計画内容】金利のしくみ、基本概念について学びます。(単利・複利、カードでの購入と支払い、分割払いとリボ計算など。)(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章「金利の基礎知識と計算方法を通じて数的なセンスを身につける」を読み、クレジットカード等について調べておくこと。						A
	第7回	【テーマ】相手とリズムカルな変わり方をする数量調べ！ 【計画内容】規則的でリズムカルなきまりを示しながら数が並んでいた、不思議な順序や変化をして表れたりする数の変わり方を調べて、関数的な見方・考え方、活用の仕方に触れてみます。(齋藤秀之) 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章「相手とリズムカルな変わり方をする数量調べ！」を読み、数量の規則的な変化に関心をもち、疑問点などを明らかにしておくこと。						A
	第8回	【テーマ】日常生活で役に立つ“集合” 【計画内容】事象を分類整理する活動や典型問題の解決を通して、集合の考えのよさとその活用の仕方を学びます。(佐々木雅史) 【授業時間外の学修内容】テキスト第8章「日常生活で役に立つ“集合”」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。						A
テキスト		テキストを配付します						
参 考 書		講義時に指示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			60%		40%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	三浦公裕 / 中学校教員(数学科)、佐々木雅史 / 小学校教員(算数)					
		科目との関連	三浦公裕、佐々木雅史 / 数学を指導する職等に従事した経験を活かし、教授します。					
質問への対応		講義時とともに、メールでも質問を受け付けます。E-Mail:suugaku@hokusho-u.ac.jp						
資 格								
そ の 他		これからの時代を生き抜くために必要な数学を基本から学ぶ機会です。積極的に取り組んでください。 毎回、理解度の確認などにより評価を行います。 8回の授業です。3回欠席した場合は単位の認定はされませんので、注意してください。 クラスによってテーマの順番が変わりますので初回講義には必ず出席すること。 第4章「身のまわりのプロポーション(比率)」を受講する際は、定規とコンパスを持参すること。						

科 目 名		情報機器操作Ⅰ		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		榎 洋一、森 夏節					
授 業 の 目 的	ねらい	情報処理の基本を理解するとともに、日本語文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを使い、実際にパーソナルコンピュータの活用を通じて、日本語文書処理の技能の基本とプレゼンテーション用資料作成の基礎を学びます。情報モラルの必要性について学びます。					
	到達目標	(1)日本語文書作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (2)通信文書の基本形式と構成要素について習得し、これからの学習や生活の場面でパソコンを活用できる。 (3)プレゼンテーション用資料作成の基礎的な知識・技術が理解できる。 (4)情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的な活用の仕方がわかる。 (5)情報社会における情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える態度を養うことができる。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】オリエンテーションと Windows の基本操作 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、パソコンの基本操作・利用心得・情報モラルについて基礎的な学習をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	B・L	第9回	【テーマ】日本語文書処理の応用4 【計画内容】応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	
	第2回	【テーマ】日本語文書処理の基本1 【計画内容】キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第10回	【テーマ】日本語文書処理のまとめ 【計画内容】基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解度確認を行い、理解を補います。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	
	第3回	【テーマ】日本語文書処理の基本2 【計画内容】文章の入力方法と複写・削除・移動の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第11回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成1 【計画内容】プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	
	第4回	【テーマ】日本語文書処理の基本3 【計画内容】一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第12回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成2 【計画内容】スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	
	第5回	【テーマ】日本語文書処理の基本4 【計画内容】一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第13回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成3 【計画内容】外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	
	第6回	【テーマ】日本語文書処理の応用1 【計画内容】一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第14回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成4 【計画内容】課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習をします。 【授業時間外の学修内容】次回の課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。	B・H・L	
	第7回	【テーマ】日本語文書処理の応用2 【計画内容】一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	第15回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成5 【計画内容】課題設定したスライド作成の実習を行い、相互に発表を想定して振り返りをします。 【授業時間外の学修内容】スライド作成を完成させて、発表を前提とした練習を行うこと。	B・H・L	
	第8回	【テーマ】日本語文書処理の応用3 【計画内容】ビジュアルを重視した文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L				
テキスト		講義時に資料またはサンプルファイルを配付します					
参 考 書		講義時に資料またはサンプルファイルを配付します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分		25%	25%		25%	25%
	補 足		情報モラル・PC 基礎	演習課題・レポート等		演習への取組意欲	筆記・実技を含む
課題に関するフィードバックの方法		講義時、メール、ポータルサイトを介した対応をおこなう。					
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応		初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。					
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、社会教育主事_選必					
そ の 他		毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。 全体ならびに実技面の評価方法については、講義時に説明します。					

科 目 名	情報機器操作Ⅰ				授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	大関 慎							
授 業 の 目 的	ねらい	情報処理の基本を理解するとともに、日本語文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを使い、実際にパーソナルコンピュータの活用を通じて、日本語文書処理の技能の基本とプレゼンテーション用資料作成の基礎を学びます。情報モラルの必要性について学びます。						
	到達目標	(1)日本語文書作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (2)通信文書の基本形式と構成要素について習得し、これからの学習や生活の場面でパソコンを活用できる。 (3)プレゼンテーション用資料作成の基礎的な知識・技術が理解できる。 (4)情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的な活用の仕方がわかる。 (5)情報社会における情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える態度を養うことができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーションと Windows の基本操作 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、パソコンの基本操作・利用心得・情報モラルについて基礎的な学習をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	B・L	第9回	【テーマ】日本語文書処理の応用4 【計画内容】応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L		
	第2回	【テーマ】日本語文書処理の基本1 【計画内容】キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第10回	【テーマ】日本語文書処理のまとめ 【計画内容】基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解度確認を行い、理解を補います。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L		
	第3回	【テーマ】日本語文書処理の基本2 【計画内容】文章の入力方法と複写・削除・移動の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第11回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成1 【計画内容】プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L		
	第4回	【テーマ】日本語文書処理の基本3 【計画内容】一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第12回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成2 【計画内容】スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L		
	第5回	【テーマ】日本語文書処理の基本4 【計画内容】一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第13回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成3 【計画内容】外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L		
	第6回	【テーマ】日本語文書処理の応用1 【計画内容】一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第14回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成4 【計画内容】課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習をします。 【授業時間外の学修内容】次回の課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。	B・H・L		
	第7回	【テーマ】日本語文書処理の応用2 【計画内容】一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	第15回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成5 【計画内容】課題設定したスライド作成の実習を行い、相互に発表を想定して振り返りをします。 【授業時間外の学修内容】スライド作成を完成させて、発表を前提とした練習を行うこと。	B・H・L		
	第8回	【テーマ】日本語文書処理の応用3 【計画内容】ビジュアルを重視した文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L					
テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します							
参 考 書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分		25%	25%		25%	25%	
	補 足		情報モラル・PC 基礎	演習課題・レポート等		演習への取組意欲	筆記・実技を含む	
課題に関するフィードバックの方法	講義時、メール、ポータルサイトを介した対応をおこなう。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。							
資 格	[健]社会教育主事_選必							
そ の 他	毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。 全体ならびに実技面の評価方法については、講義時に説明します。							

科 目 名		情報機器操作Ⅱ		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		梅村 匡史、横 洋一、森 夏節					
授 業 の 目 的	ねらい	情報処理の基本を踏まえて、パーソナルコンピュータを活用し、アプリケーションソフトを使い、情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的・応用的な活用の仕方を学びます。また、文書の作成、データの活用、プレゼンテーション等の教育の場面での活用について知識を深めます。加えて、情報モラルについても考察を深めます。					
	到達目標	(1)ICT 活用能力(リテラシー)を向上させ、実際に活用できる。 (2)データ処理の基本的な知識・技術が理解できる。 (3)情報モラルについて考えを深めることができる。 (4)基本的なマルチメディアを扱うことができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーションとネットワーク上の情報ならびに情報モラルについて 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、テーマについて、概念として理解を深めて、実社会、教育現場等での必要性について、考察を開始します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	B	第9回	【テーマ】データベースの活用 その1 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	
	第2回	【テーマ】データ活用をすること 【計画内容】データについて基本的な概念を理解するとともに、活用の意図や目的を理解し、データ処理について考察をします。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第10回	【テーマ】データベースの活用 その2 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	
	第3回	【テーマ】データを活用すること 基礎1 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を目的にして、その基本的操作方法について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第11回	【テーマ】データベースの活用 その3 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、より発展した課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	
	第4回	【テーマ】データを活用すること 基礎2 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を伴うデータの処理方法について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。	B・L	第12回	【テーマ】課題への挑戦 その1 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアの基本について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・H・L	
	第5回	【テーマ】データを活用すること 基礎3 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。	B・L	第13回	【テーマ】課題への挑戦 その2 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを扱い、課題の作成を行います。 【授業時間外の学修内容】次回までに、課題解決方法を駆使して、課題に取り組むこと。	B・H・L	
	第6回	【テーマ】データを活用すること 応用1 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題について、深く取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。理解の進んでいない関数について十分に復習しておくこと。	B・L	第14回	【テーマ】課題への挑戦 その3 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを活用して課題設定に伴うデータ処理を行います。 【授業時間外の学修内容】課題の完成度を上げるために、課題解決に取り組むこと。理解できない箇所について復習しておくこと。	B・F・H・L	
	第7回	【テーマ】データを活用すること 応用2 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	第15回	【テーマ】課題への挑戦 その4 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフト、マルチメディアを活用して、プレゼンテーションを行います。 【授業時間外の学修内容】実践的な課題解決に取り組むため、十分に復習しておくこと。	B・F・L	
	第8回	【テーマ】データを活用すること 応用3 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、応用的な課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L				
テキスト		講義時に資料またはサンプルファイルを配付します					
参 考 書		講義時に資料またはサンプルファイルを配付します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分		25%	25%		25%	25%
	補 足		情報モラル・PC 基礎	演習課題等		演習への取組意欲	筆記(実技含む)
課題に関するフィードバックの方法		講義時、メール、ポータルサイトを介した対応をおこなう。					
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応		初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。					
資 格							
そ の 他		毎時の出席を原則とします。単なる機器操作の修得を目的とはしていません。情報活用能力の育成を目指し、その能力を今後に活かすことができるように展開します。 講義計画や展開方法は変更する場合があります。初回講義時に講義の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。					

科 目 名	情報機器操作Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	大関 慎						
授 業 の 目 的	ねらい	情報処理の基本を踏まえて、パーソナルコンピュータを活用し、アプリケーションソフトを使い、情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的・応用的な活用の仕方を学びます。また、文書の作成、データの活用、プレゼンテーション等の教育の場面での活用について知識を深めます。加えて、情報モラルについても考察を深めます。					
	到達目標	(1)ICT 活用能力(リテラシー)を向上させ、実際に活用できる。 (2)データ処理の基本的な知識・技術が理解できる。 (3)情報モラルについて考えを深めることができる。 (4)基本的なマルチメディアを扱うことができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーションとネットワーク上の情報ならびに情報モラルについて 【計画内容】 講義計画と受講心得について理解し、テーマについて、概念として理解を深めて、実社会、教育現場等での必要性について、考察を開始します。 【授業時間外の学修内容】 シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	B	第9回	【テーマ】 データベースの活用 その1 【計画内容】 PC 操作を伴い、データベース機能について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	
	第2回	【テーマ】 データ活用をすること 【計画内容】 データについて基本的な概念を理解するとともに、活用の意図や目的を理解し、データ処理について考察をします。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第10回	【テーマ】 データベースの活用 その2 【計画内容】 PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	
	第3回	【テーマ】 データを活用すること 基礎1 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を目的にして、その基本的操作方法について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第11回	【テーマ】 データベースの活用 その3 【計画内容】 PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、より発展した課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	
	第4回	【テーマ】 データを活用すること 基礎2 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を伴うデータの処理方法について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。	B・L	第12回	【テーマ】 課題への挑戦 その1 【計画内容】 日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアの基本について理解します。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・H・L	
	第5回	【テーマ】 データを活用すること 基礎3 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。	B・L	第13回	【テーマ】 課題への挑戦 その2 【計画内容】 日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを扱い、課題の作成を行います。 【授業時間外の学修内容】 次回までに、課題解決方法を駆使して、課題に取り組むこと。	B・H・L	
	第6回	【テーマ】 データを活用すること 応用1 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題について、深く取り組みます。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。理解の進んでいない関数について十分に復習しておくこと。	B・L	第14回	【テーマ】 課題への挑戦 その3 【計画内容】 日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを活用して課題設定に伴うデータ処理を行います。 【授業時間外の学修内容】 課題の完成度を上げるために、課題解決に取り組むこと。理解できない箇所について復習しておくこと。	B・F・H・L	
	第7回	【テーマ】 データを活用すること 応用2 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	第15回	【テーマ】 課題への挑戦 その4 【計画内容】 日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフト、マルチメディアを活用して、プレゼンテーションを行います。 【授業時間外の学修内容】 実践的な課題解決に取り組むため、充分に復習しておくこと。	B・F・L	
	第8回	【テーマ】 データを活用すること 応用3 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、応用的な課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L				
テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
参 考 書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分		25%	25%		25%	25%
	補 足		情報モラル・PC 基礎	演習課題等		演習への取組意欲	筆記(実技含む)
課題に関するフィードバックの方法	講義時、メール、ポータルサイトを介した対応をおこなう。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。						
資 格							
そ の 他	毎時の出席を原則とします。単なる機器操作の修得を目的とはしていません。情報活用能力の育成を目指し、その能力を今後に活かすことができるように展開します。 講義計画や展開方法は変更する場合があります。初回講義時に講義の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。						

科 目 名		英語コミュニケーションⅠ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		C . B . サイモンズ						
授 業 の 目 的	ねらい	学生の積極的参加に基づき、オーラルコミュニケーションに重点をおいた講義を行う。身近な日常会話の練習を通し、「聞く」「話す」力を育成する。						
	到達目標	(1)海外で使える会話パターンを習得する。 (2)ロールプレイを完全にできるようにする。 (3)テキストに出ている単語を覚える。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 初対面のあいさつ・紹介 【計画内容】 初対面のあいさつについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	H	第9回	【テーマ】 復習(第1章～第4章) 【計画内容】 復習とロールプレイチャレンジ。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N		
	第2回	【テーマ】 ホテルの予約 【計画内容】 ホテルまでの行き方について尋ねる。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N	第10回	【テーマ】 レストラン 【計画内容】 食事の注文、支払いの会話について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	G・H		
	第3回	【テーマ】 ロールプレイ 【計画内容】 テキスト第1章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第11回	【テーマ】 ビデオ 【計画内容】 会話を聞き、日本人の英語の誤りを見つけ訂正する。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H		
	第4回	【テーマ】 キャンパス内の施設について 【計画内容】 留学に関するパスセージを読み、質問し合う。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N	第12回	【テーマ】 ロールプレイ 【計画内容】 テキスト第5章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N		
	第5回	【テーマ】 ホームステイ 【計画内容】 滞在先の家庭のルールについて尋ねる。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N	第13回	【テーマ】 レンタルショップ 【計画内容】 レンタルショップでの会話について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N		
	第6回	【テーマ】 ハンドアウトを用いて 【計画内容】 ハンドアウトを使用し練習する。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第14回	【テーマ】 ロールプレイ 【計画内容】 テキスト第6章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N		
	第7回	【テーマ】 道を探す 【計画内容】 道の尋ね方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N	第15回	【テーマ】 まとめとロールプレイ 【計画内容】 テキスト第5章、第6章の内容をロールプレイチャレンジする 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N		
	第8回	【テーマ】 ハンドアウトを用いて 【計画内容】 ハンドアウトを使用し練習する。 【授業時間外の学修内容】 前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H					
テキスト		Gershon・Mares・Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545						
参 考 書		Gershon・Mares・Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	40%				40%	20%	
	補足						発表	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	経 験 内 容							
	科目との関連							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:kiffsimons@yahoo.com						
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修						
そ の 他		第16回に試験を行います。						

科 目 名	英語コミュニケーションⅠ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	アレックス グレイグ						
授 業 の 目 的	ねらい	This course will focus on the fundamentals of effective English communication at beginner and higher-beginner levels in a variety of real-world situations. Different modes of communication will be taught and explored during the course with a range of lively and engaging approaches. Students will be encouraged to express themselves as freely as possible in a safe, friendly space. There will be no set textbook so as to allow flexibility and adaptability in topics and course content.					
	到達目標	(1) Learn to enjoy communicating in English. (2) Develop proficiency in appropriate levels of grammar. (3) Learn to communicate with English speakers in ways that will build and maintain connections. (4) Learn appropriate levels of grammar as the foundation for coping with new situations. (5) Build confidence in communicating in English.					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 Introduction 【計画内容】 Introducing oneself and others. Beginning to learn about each other. Meeting New People. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Read provided materials on the course and study guidelines.	B	第9回	【テーマ】 Your Health 【計画内容】 Discussing health issues, injuries and the different parts of our bodies. Asking for help with a simple health issue. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	
	第2回	【テーマ】 Your World 【計画内容】 Talking about the places in your world using weather and visual vocabulary. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Describe your home or other favorite place.	B	第10回	【テーマ】 How are You Feeling? 【計画内容】 Talking about our feelings. Stress and what makes us happy. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	
	第3回	【テーマ】 Your Free-time 【計画内容】 Talking about how you spend your free-time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	第11回	【テーマ】 Going Shopping 【計画内容】 Language and interactions used when shopping. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	
	第4回	【テーマ】 Getting Around 【計画内容】 Using methods of transportation to discuss time, distance and beginner level common usage of 'in' and 'on'. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	第12回	【テーマ】 Going Out 【計画内容】 Language and interactions used when visiting restaurants, sports events and other outdoor events. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment. Think of a restaurant or event you'd like to visit.	B	
	第5回	【テーマ】 About Us 【計画内容】 Describing different aspects of our personalities. Further discussing one of the major aims of this course; communicating with sensitivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	第13回	【テーマ】 Travelling 【計画内容】 Language and interactions used when travelling abroad. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	
	第6回	【テーマ】 Time 【計画内容】 Discussing the different units of time. Continuing instruction in the uses of 'in' and 'on' while also introducing 'at' in reference to time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	第14回	【テーマ】 Hopes and Dreams 【計画内容】 Language and interactions used when discussing hopes and dreams. Focus on positivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment. Think about your hopes and dreams for the future.	B	
	第7回	【テーマ】 Changes 【計画内容】 Building on last lesson and learning about the ways that things and people change. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	第15回	【テーマ】 Review of Weeks 9-14. Preparation for final oral interviews. 【計画内容】 Review of grammar and fundamental concepts from lessons 9-14. Final oral interview practice. 【授業時間外の学修内容】 Review past work and prepare for oral presentation.	B	
	第8回	【テーマ】 Basic Review of Weeks 1-7. Pair Presentations. 【計画内容】 Review of grammar and fundamental concepts from the previous lessons. Oral pair presentations. Class comments, suggestions and review questions. 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment. Consider any further general questions not raised in class.	B				
テキスト	Weekly handouts will be provided by the instructor. Students should bring all previous class handouts to every class.						
参 考 書	『Dictionary』(Online, Electronic, Paper, Application, etc.)						
成績評価の方法	配 分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	補 足					60% Class participation and attitude: 60%	40% Oral interviews in Weeks 8 and 15: 20% + 20%
課題に関するフィードバックの方法	All feedback will given individually during class throughout the semester.						
実務経験と授業の関連	経 験 内 容						
	科目との関連						
質問への対応	Students are encouraged to ask questions after class. Email questions in either English or Japanese can also be sent to padi44@mail.com						
資 格							
そ の 他							

科 目 名		英語コミュニケーションⅡ				授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		C . B . サイモンズ							
授 業 の 目 的	ねらい	学生の積極的参加に基づき、オーラルコミュニケーションに重点をおいた講義を行う。身近な日常会話の練習を通し、「聞く」「話す」力が育成される。「読む」「書く」能力の向上については、文法知識の習得だけではなく、日常会話報道などの内容から必要な情報を理解し、自分の考えや意見を正しく表明することができるレベルを目指す。							
	到達目標	(1)海外で使える会話パターンを習得する。 (2)ロールプレイを完全にできるようにする。 (3)テキストに出ている単語を覚える。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】過去形を用いて 【計画内容】過去形を使い、夏休みの出来事について話す(ハンドアウトを使用)。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	H	第9回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】中間発表の準備として、ロールプレイを行う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N			
	第2回	【テーマ】ロンドンの街について尋ねる 【計画内容】公共交通機関、観光地などについて尋ねる方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N	第10回	【テーマ】ロールプレイチャレンジ 【計画内容】テキスト第10章までのロールプレイチャレンジを行う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N			
	第3回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第7章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第11回	【テーマ】自分自身のことを話す 【計画内容】自分自身のことを話す方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N			
	第4回	【テーマ】ホテル 【計画内容】チェックインをする、ゲストサービスについて尋ねる方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N	第12回	【テーマ】ツアーに参加する 【計画内容】ツアーについて尋ね、申し込む方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N			
	第5回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第8章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第13回	【テーマ】日本の観光地について 【計画内容】外国人に紹介する視点で日本の観光地について調べる。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N			
	第6回	【テーマ】Review Plus 2 【計画内容】リスニングを行う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N	第14回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】今までの復習と確認をする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N			
	第7回	【テーマ】ショッピング 【計画内容】商品について尋ねる方法を学ぶとともにロールプレイする 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第15回	【テーマ】ロールプレイチャレンジ 【計画内容】今までの復習を行い、さらに会話を上達させることについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N			
	第8回	【テーマ】空港 【計画内容】チェックインをする方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H・N						
テキスト		Gershon・Mares・Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545							
参 考 書		Gershon・Mares・Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	40%				40%	20%		
	補足						発表		
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:kiffsimons@yahoo.com							
資 格									
そ の 他		第16回に試験を行います。							

科 目 名		英語コミュニケーションⅡ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		アレックス グレイグ						
授 業 の 目 的	ねらい	This course will focus on the fundamentals of effective English communication at beginner and higher-beginner levels in a variety of real-world situations. Different modes of communication will be taught and explored during the course with a range of lively and engaging approaches. Students will be encouraged to express themselves as freely as possible in a safe, friendly space. There will be no set textbook so as to allow flexibility and adaptability in topics and course content.						
	到達目標	(1) Learn to enjoy communicating in English. (2) Develop proficiency in appropriate levels of grammar. (3) Learn to communicate with English speakers in ways that will build and maintain connections. (4) Learn appropriate levels of grammar as the foundation for coping with new situations. (5) Build confidence in communicating in English.						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 Introduction 【計画内容】 Introducing oneself and others. Beginning to learn about each other. Meeting New People. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Read provided materials on the course and study guidelines.	B	第9回	【テーマ】 Your Health 【計画内容】 Discussing health issues, injuries and the different parts of our bodies. Asking for help with a simple health issue. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B		
	第2回	【テーマ】 Your World 【計画内容】 Talking about the places in your world using weather and visual vocabulary. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Describe your home or other favorite place.	B	第10回	【テーマ】 How are You Feeling? 【計画内容】 Talking about our feelings. Stress and what makes us happy. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B		
	第3回	【テーマ】 Your Free-time 【計画内容】 Talking about how you spend your free-time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	第11回	【テーマ】 Going Shopping 【計画内容】 Language and interactions used when shopping. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B		
	第4回	【テーマ】 Getting Around 【計画内容】 Using methods of transportation to discuss time, distance and beginner level common usage of 'in' and 'on'. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	第12回	【テーマ】 Going Out 【計画内容】 Language and interactions used when visiting restaurants, sports events and other outdoor events. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment. Think of a restaurant or event you'd like to visit.	B		
	第5回	【テーマ】 About Us 【計画内容】 Describing different aspects of our personalities. Further discussing one of the major aims of this course; communicating with sensitivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	第13回	【テーマ】 Travelling 【計画内容】 Language and interactions used when travelling abroad. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B		
	第6回	【テーマ】 Time 【計画内容】 Discussing the different units of time. Continuing instruction in the uses of 'in' and 'on' while also introducing 'at' in reference to time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	第14回	【テーマ】 Hopes and Dreams 【計画内容】 Language and interactions used when discussing hopes and dreams. Focus on positivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment. Think about your hopes and dreams for the future.	B		
	第7回	【テーマ】 Changes 【計画内容】 Building on last lesson and learning about the ways that things and people change. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment.	B	第15回	【テーマ】 Review of Weeks 9-14. Preparation for final oral interviews. 【計画内容】 Review of grammar and fundamental concepts from lessons 9-14. Practice final oral interview. 【授業時間外の学修内容】 Review past work and prepare for oral presentation.	B		
	第8回	【テーマ】 Basic Review of Weeks 1-7. Pair Presentations. 【計画内容】 Review of grammar and fundamental concepts from the previous lessons. Oral pair presentations. Class comments, suggestions and review questions. 【授業時間外の学修内容】 Complete homework assignment. Consider any further general questions not raised in class.	B					
テキスト		Weekly handouts will be provided by the instructor. Students should bring all previous class handouts to every class.						
参 考 書		『Dictionary』 (Online, Electronic, Paper, Application, etc.)						
成績評価の方法	配 分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	補 足					60% Class participation and attitude: 60%	40% Oral interviews in Weeks 8 and 16: 20% + 20%	
課題に関するフィードバックの方法		All feedback will given individually during class throughout the semester.						
実務経験と授業の関連	経 験 内 容							
	科目との関連							
質問への対応		Students are encouraged to ask questions after class. Email questions in either English or Japanese can also be sent to padi44@mail.com						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		キャリアデザインⅠ			授業形態	講義	単 位 数	1
教 員 名		永井 秀岳、キャリア支援センター長						
授 業 の 目 的	ねらい	「キャリアデザイン」は、一人一人が明確な目的意識を持って学業や大学生活に取り組む姿勢を育み、主体的に自己の進路を選択できるようになることを目的としています。目まぐるしく変わる現代社会を生き抜くには、社会の仕組みや労働市場について知り、答えのない世界で自分なりの答えを見つけ、進んでいく力が必要となります。本講ではその基本となる社会の仕組み、コミュニケーションや思考のスキルを身に付けていきます。						
	到達目標	(1)現代社会の仕組みを理解し、自分なりに説明できるようになる。 (2)自己分析を通して、自分の強みややりたいことを見つける。 (3)卒業後のキャリアデザインを自分なりに描けるようになる。 (4)より充実した大学生活、人生を歩めるようになる。 (5)決まった答えがない問題に対し、自分なりの解答を出すことができるようになる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 激動の現代を幸せに生きるためのキャリアデザイン 【計画内容】 授業の目標・内容・進め方・成績評価の方法、担当講師の自己紹介、今後8回の授業展開についての説明。これから新しく始まる大学生活をより充実したものにするための考え方を身につける。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】 シラバスを読み、講義の目的を意識しておくこと。						A・K
	第2回	【テーマ】 世の中は平等なのか？〇〇だけでは超えられない壁がある？ 【計画内容】 世界規模で見た時に人はどのような生活を送っているのかを知り、現代日本の現状を客観的に見る視点を身につける。成果を出すために必要なものは何か、超えられない壁があるのかを考えていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】 ニュースを見たり、新聞を読んだりすること。						A・K
	第3回	【テーマ】 世界の状況とこれからの時代を生き抜くためのスキル 【計画内容】 GAFAの台頭により大きく変化した社会において、企業や社会が求める人材やスキルも大きく変化している。社会に出る前にどのようなスキルを身につけておくか、資格はこれからの人生に本当に有利になるのかを考えていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】 ニュースを見たり、新聞を読んだりすること。						A・K
	第4回	【テーマ】 就職・仕事・恋愛－人間関係でモテるコミュニケーション 【計画内容】 人が仕事を辞めてしまう時、その理由の中で一番の割合を占めるのは「人間関係」。このことを踏まえた上で、自分のタイプや考え方、相手の視点に立って物事を見る大切さを知り、より良いコミュニケーションを築けるスキルを身につけていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】 自分のコミュニケーションのクセについて考えてみること。						A・K
	第5回	【テーマ】 6つの働くスタイル 【計画内容】 仕事とどのように向き合っているのかは人それぞれ。どのような向き合い方があるのかを知り、現在の自分のタイプに当てはめつつ、仕事とどう向き合っていきたいのかを考えていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】 自分や周りの人の仕事に対する考え方について調べておくこと。						A・K
	第6回	【テーマ】 SNSで思わぬトラブルに?! 情報社会のサバイバル術 【計画内容】 Facebook、LINE、Twitter、Instagram など、多くの人が気軽に交流できる SNS サービスは一層の広がりを見せている。しかし、急速な普及に伴いサービスをきっかけにしたトラブルも増えている。情報社会の現代でトラブルに巻き込まれないための知識を身につける。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】 SNS サービスのトラブルについて調べておくこと。						A・K
	第7回	【テーマ】 ブラック企業ってなんだ？納得できる結果につなげる方法とは 【計画内容】 新聞や書籍でもよく目にするブラック企業とは一体なんなのかを通し、自分の仕事に対する価値観について考える。その上で、自分が納得できる結果を出すための方法を探していく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】 ブラック企業について、自分の考えをまとめておくこと。						A・K
	第8回	【テーマ】 社会人基礎力測定検査結果の解説(テストの結果をもとに、自分の行動目標を立てる)。総合評価・自己評価・ポートフォリオのまとめ 【計画内容】 社会人基礎力で測定した主観の結果と客観の結果を統合し、自己理解を深める。検査の結果をもとに自分の行動目標を立てる。(キャリア支援センター長) 【授業時間外の学修内容】 これまでの授業内容を振り返り、夏休みの行動計画を考えておくこと。						A・K
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			60%		40%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	経 験 内 容							
	科目との関連							
質問への対応		毎回提出のレポートにて随時質問を受け付けます。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		日本語		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		田 光子					
授 業 の 目 的	ねらい	外国人留学生を対象に、本学でのコミュニケーション・学習・発表がスムーズに行えるように読み、書く、聞く、話すの4技能の向上を目標とする。また、日本の文化、事情、風習、マナーなどを読み物や視聴覚教材を通して理解することで、日本での留学生活がより有意義なものになるようにする。日本語能力検定1級を持っていない学生は必ず取得しよう。					
	到達目標	(1)日本語の読み、書き、聞き取り、話すの4技能の向上。 (2)漢字の読み書きがスムーズにできる。 (3)レポートがスムーズに書ける。 (4)日本語の正しい発音ができる。 (5)テキストなどがスムーズに読め、内容が理解できる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業ガイダンスと自己紹介 【計画内容】講義概要・講義の展開方法などの説明。 【授業時間外の学修内容】自己紹介準備と江別について調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】語彙と文法③ 【計画内容】ニュースの語彙や文法について説明。 【授業時間外の学修内容】わからない語彙や文法を調べておく。	A	
	第2回	【テーマ】読解を中心(小説を読む)① 【計画内容】発音確認と読み方。 【授業時間外の学修内容】プリントを読んで、内容を理解し分からない語彙を調べておくこと。	A	第10回	【テーマ】読解を中心(新聞を読む) 【計画内容】新聞を速読し、内容を理解し要約する力を養う。 【授業時間外の学修内容】新聞記事を数多く読んでおくこと。	A	
	第3回	【テーマ】読解を中心(小説を読む)② 【計画内容】漢字の読み方や意味を確認する。 【授業時間外の学修内容】漢字の読み方や意味を調べスムーズに音読できるように取り組むこと。	A・F	第11回	【テーマ】語彙と文法④ 【計画内容】新聞の語彙や文法について説明。 【授業時間外の学修内容】わからない語彙や文法を調べておく。	A	
	第4回	【テーマ】語彙と文法① 【計画内容】語彙(漢字を含む)と文法事項の説明。 【授業時間外の学修内容】わからない語彙や文法を調べておく。	A	第12回	【テーマ】日本語・韓国語の翻訳練習 【計画内容】日本語から韓国語へ、韓国語から日本語への自然な表現を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】課題のプリントを翻訳する。	A・F・K	
	第5回	【テーマ】語彙と文法② 【計画内容】語彙(漢字を含む)と文法事項の説明。 【授業時間外の学修内容】わからない語彙や文法を調べておくこと。	A	第13回	【テーマ】日本の文化理解 【計画内容】本学の演劇を観劇して、日本の文化に触れる。 【授業時間外の学修内容】演目について調べ、観劇後は感想文を書く。	M	
	第6回	【テーマ】文法確認と作文練習 【計画内容】文法の作文練習を確認する。 【授業時間外の学修内容】プリントの作文練習をし、発表準備をする。	A・K	第14回	【テーマ】日本と自国の違いについて討論 【計画内容】文化の違いを発表して、お互いの意見を確認したり討論したりする。 【授業時間外の学修内容】日本での生活を通して感じた文化の違いを作文して、発表準備をする。	A・F・I	
	第7回	【テーマ】漢字練習・自国の風習について発表 【計画内容】漢字の復習と(風習についての)文章力向上と発表。 【授業時間外の学修内容】漢字復習と風習について調べて作文し、発表準備をする。	A・F・K	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】既習の語彙や文法事項の確認。 【授業時間外の学修内容】既習の語彙や文法事項の復習をする。	A・L	
	第8回	【テーマ】日本事情・聞いてまとめる。 【計画内容】ニュースの聞き取りや表現を理解する。 【授業時間外の学修内容】ニュースを毎日聞き、聞き取りに慣れるようにしておくこと。	A・L				
テキスト	プリントを使用します						
参 考 書	プリントを使用します						
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
	補足			レポートなど			
課題に関するフィードバックの方法	課題など提出後に、学んだ内容を振り返りながら確認します。						
実務経験と授業の関連	経 験 内 容						
	科目との関連						
質問への対応	講義内での質問も随時受け付けます。または、E-Mail: chun@wm.hokusho-u.ac.jp						
資 格							
そ の 他	留学生対象科目。遅刻・欠席はしないこと。 提出期日を厳守してください。						

科目名			現代日本の文化			授業形態		講義		単位数		2				
教員名			菊地 達夫													
授業の目的			「現代日本の文化」では、留学生の出身国(地域)における文化的事項の認識を確認し、比較を意識しながら、日本(北海道)の文化的な特色が、どのように形成・定着・発展したのか史的に学習します。													
			到達目標 (1)日本の文化的な特色について理解できる。 (2)北海道の文化的な特色について理解できる。													
授業の計画			第1回		【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義計画、成績評価方法、参考文献について説明します。 【授業時間外の学修内容】印象深いと思う現代日本の文化(例:祭礼)を1つ取り上げ、調べておくこと。			A		第9回		【テーマ】北海道の地域文化1 【計画内容】北海道の地域文化の地域的特色について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。			A	
			第2回		【テーマ】出身国(地域)の文化的事項の確認 【計画内容】出身国(地域)の文化的事項について確認します。 【授業時間外の学修内容】出身国(地域)の文化的事項について整理しておくこと。			A		第10回		【テーマ】北海道の地域文化2 【計画内容】アイヌ民族・文化について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。			A	
			第3回		【テーマ】日本の主な文化的事項 【計画内容】日本の主な文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。			A		第11回		【テーマ】北海道の地域文化3 【計画内容】博物館資料の活用を通じて体験的に学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。			A	
			第4回		【テーマ】日本の文化的な地域的特色 【計画内容】日本の文化的な地域的特色(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。			A		第12回		【テーマ】北海道の地域文化4 【計画内容】博物館資料の活用を通じて体験的に学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。			A	
			第5回		【テーマ】日本の文化的事項の形成 【計画内容】日本の文化的事項の形成過程(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。			A		第13回		【テーマ】まとめと整理 【計画内容】これまでの学習内容の重要な点について整理します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。			L	
			第6回		【テーマ】日本の文化的事項の定着 【計画内容】日本の文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)は、どのように定着したのか、学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。			A		第14回		【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの学習内容の重要な点について確認します。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容についてよく整理しておくこと。			L	
			第7回		【テーマ】日本の文化的事項の発展 【計画内容】日本の文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)は、どのように発展してきたのか、学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。			A		第15回		【テーマ】まとめと応用 【計画内容】学習成果の活かし方について説明します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。			L	
			第8回		【テーマ】日本の伝統文化(生活習慣) 【計画内容】日本の年中行事について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。			A								
テキスト			必要に応じてプリントを使用します													
参考書			奥野隆史ほか、2006年、『日本総論Ⅱ(人文・社会編)』、朝倉書店、4254167628 桑原真人ほか、2008年、『北海道の歴史がわかる本』、亜細西社、9784900541757 北海道高校地理教育研究会、1994年、『図説北海道ふさと早わかり』、北海道新聞社、4893637223													
成績評価の方法					筆記試験		実技試験		課題評価		作品評価		受講態度		その他	
			配分		50%				30%				20%			
補足																
課題に関するフィードバックの方法			授業課題は、返却時に講評等を行う。													
実務経験と授業の関連					経験内容											
					科目との関連											
質問への対応			初回講義時に具体的に説明します													
資格																
その他			留学生対象科目。 履修者との相談の上、2回目以降の曜日・時間帯を決めます。(初回の日時や教室は掲示板等をよく確認すること) 内容が一部変更になる場合があります。 課題の結果等は、返却時に講評、補足説明を行います。 遠隔授業の場合、別途指示します。													

発 展 科 目

科 目 名		心理学概論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		澤 聡一					
授 業 の 目 的	ねらい	人間の心のはたらきについて、乳幼児期から高齢期に至るまでの生涯発達の観点から捉え、心理学の基礎的知識を得ることは、自己洞察や他者理解を深めるための大切な営みです。サイエンスとアートの両面から、社会のニーズに応じて裾野を広げ続ける心理学の基本的知識の習得とその学習姿勢の醸成を目指すと共に、関連領域である教育や介護等の実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養うことを本講義の目標とします。					
	到達目標	(1)心理学の成立の背景を知り、人間の心のはたらきについての基本的な知識を習得する。 (2)生涯発達の観点から人間の成長のプロセスを理解する。 (3)日常生活における心の健康の維持についての理論を学び実践につなげる。 (4)福祉や教育等との関連をふまえながら心理的支援の方法と実際についての知識を得る。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】心理学の成り立ち 【計画内容】講義全体の流れを説明すると共に、心理学の成立の背景と、心を探究する方法をどのように発展させてきたかを知ることで、心の学びのイントロダクションとします 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をあらかじめ読み、自身が学びたいことを整理しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】心と脳 【計画内容】心の生物学的基盤としての脳の構造や機能を知り、心のはたらきとどのように関連しているかを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第2回	【テーマ】集団心理・人と環境 【計画内容】人間は社会的存在であり、他者とかかわりあいながら生きています。ここでは、人間の行動が集団の中にあることで受ける影響や対人関係等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第10回	【テーマ】感情・動機づけ 【計画内容】感情についての理論、感情の発達、感情と表情、感情と文化、動機づけや様々な欲求等について概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第3回	【テーマ】パーソナリティ 【計画内容】類型論、特性論などの代表的なパーソナリティ理解の視点について学び、心理テストの体験学習等を通して自己理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第11回	【テーマ】心の健康と臨床心理学 【計画内容】臨床心理学の適用領域を通して心の健康について考えると共に、心理的支援の基本的技法と、認知行動療法や精神分析などの心理療法の主要な理論を概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第4回	【テーマ】自己理解・他者理解 【計画内容】環境との関係の中で生きる人の側面に注目し、自分や他人を理解するために有用な様々な概念を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第12回	【テーマ】心の問題への心理的支援 【計画内容】心理アセスメントや心理教育等、心理療法以外の心理援助職の職務や、さまざまな現場における実践について概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第5回	【テーマ】感覚・知覚 【計画内容】視覚、聴覚、知覚の体制化、錯視、文脈効果などの体験学習を通して、人間が外界からどのように情報を得て、用いているかを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第13回	【テーマ】心の発達の基盤と乳幼児期・児童期の発達 【計画内容】遺伝と環境、認知発達理論、発達段階説などをふまえて、アタッチメントや言語発達の様相などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第6回	【テーマ】記憶 【計画内容】記憶の仕組みに関する心理学的モデルや、記憶の種類、記憶の方略について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第14回	【テーマ】青年期以降の生涯発達 【計画内容】アイデンティティなどの青年期のテーマのほか、成人期、高齢期について学び、生涯発達の視点を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第7回	【テーマ】学習・行動 【計画内容】新しい行動の学習や、一度学習した行動の変容について、学習理論を中心に学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第15回	【テーマ】心理学と現代社会 【計画内容】ここまでの講義の内容を振り返ると共に、ストレスやレジリエンス等を題材に、現代社会のなかで心理学をどのように活かすかを考えます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第8回	【テーマ】思考と言語 【計画内容】思考と推論の心理的プロセスについて学び、次いで言語やコミュニケーションに関わる心理学的知見を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K				
テキスト		プリント等を適宜配付します					
参 考 書		平田裕美・伊藤美奈子編、2010年、『心理学入門 - こころの仕組みを理解する -』、建帛社、9784767940137 繁樹算男編、2018年、『心理学概論（公認心理師の基礎と実践）』、遠見書房、9784866160528					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			40%		30%	30%
	補 足			最終課題		平時	毎回の感想・考察シート
課題に関するフィードバックの方法		最終評価は課題提出で行います。希望者には、個別に解説と講評を行います。					
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	臨床心理士、公認心理師等の心理援助職				
		科目との関連	心理援助職としての勤務経験を活かし、基礎から応用まで幅広い心理学の専門的知識の教授を行う。				
質問への対応		リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jp を用いてください。					
資 格		[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [教]社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_必修、認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必					
そ の 他		各回の課題提出など、積極的な受講態度を期待します。					

科 目 名		発達心理学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		新川 貴紀						
授 業 的 目 的	ねらい	従来の発達心理学は、誕生から成人に至る段階までを対象に、それぞれの発達段階で何ができるのか、どのような行動を示すのかを明らかにするものであった。近年、人の寿命が延びてきたこと、新生児期からさらに胎児期での心理学的研究が盛んになされるようになったことから、これまでの傾向が見直され、全生涯を扱う縦断的な観点から発達過程をとらえなおすようになってきている。人間は一生をかけて発達する可能性が明らかになりつつある。このような視点から、誕生から死に至る人間の心理的発達過程について、各発達ステージの相互の関係、発達を保証する条件は何か、これまでに明らかにされてきた研究成果を中心に概説する。						
	到達目標	(1)人が生涯発達することの意味を理解できる。 (2)ライフサイクルにおける変化を理解できる。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】発達心理学とはなにか、生涯を通しての発達を考える意味、15回の講義展開について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】青年期の発達(性的成熟とアイデンティティ) 【計画内容】青年期の性的成熟とアイデンティティについての理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L		
	第2回	【テーマ】発達理論と発達段階と発達障害 【計画内容】生涯を通しての発達についてピアジェやエリクソンなどの発達理論や発達段階を学びます。また発達障害等の非定型発達について基礎的な知識と考え方を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第10回	【テーマ】アイデンティティ・ステータス 【計画内容】アイデンティティについて、その獲得や危機などについての理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L		
	第3回	【テーマ】乳児の世界 【計画内容】新生児期から乳児期までの発達について原始反射などの生理学的側面も含めて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第11回	【テーマ】恋愛と結婚 【計画内容】恋愛と結婚に関する心理学的研究についてアタッチメント理論などの発達心理学的視点から学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L		
	第4回	【テーマ】幼児の世界(ことばの獲得) 【計画内容】ことばが急速に増える幼児期の言語発達についてチョムスキーなどの理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第12回	【テーマ】親になること・親であること 【計画内容】子どもを授かること、それによる変化について発達心理学の理論を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L		
	第5回	【テーマ】対人関係の発達(アタッチメントの成立と発展) 【計画内容】養育者とのアタッチメント関係の成立と発展に関する理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第13回	【テーマ】中年期の発達 【計画内容】中年期の危機など、社会的役割が獲得される時期に特有の心理学的課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L		
	第6回	【テーマ】情動と自己の発達 【計画内容】発達早期の情動と自己の発達について、実験研究の結果を基にその理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第14回	【テーマ】老年期の発達 【計画内容】加齢に伴い喪失体験など様々な出来事が重なる老年期に特有の心理学的課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L		
	第7回	【テーマ】児童期の発達 【計画内容】対人関係に広がりがある児童期の発達について、友人関係などの対人面を中心に学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第15回	【テーマ】発達心理学からの提言 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、発達心理学ができることについて学びます。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A・G・L		
	第8回	【テーマ】思考の発達 【計画内容】幼児期や児童期の思考の発達について、ピアジェなどの発達理論から近年の理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L					
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		杉村伸一郎・坂田陽子編、2004年、『実験で学ぶ発達心理学』、ナカニシヤ出版、9784888488853 渡辺弥生・伊藤順子・杉村伸一郎編、2008年、『原著で学ぶ社会性の発達』、ナカニシヤ出版、9784779501814						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			30%		70%		
補 足				最終レポート		小レポート		
課題に関するフィードバックの方法		毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必						
そ の 他		一生を通じて発達することの意味を考えてもらいたい。また子どもの発達に関する知識を持つことで将来の子育てを楽しんでももらいたい。						

科 目 名			人間関係の心理学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			小坂 守孝					
授 業 の 目 的	ねらい	人間関係は二者関係が基本となるが、それにとどまらず、より複雑な人間関係の中で様々な心の動きが生じ、その事が個々人の認知や感情、そして行動面に影響を及ぼす。人間関係はその存在が心の支えになることもあれば、ストレスになることもある。他者の心理状態を知り、適切なコミュニケーションが取れることは、家庭、学校、職場、近隣を問わず、あらゆる場面において重要である。本講義では、人間関係を心理学の視点から包括的に理解することを目的とする。						
	到達目標	(1)日常における人間関係の様々な特徴を心理学の観点から説明することができる。 (2)人間関係をより良好にしてゆくための工夫を心理学観点から説明することができる。 (3)人間関係における諸問題を心理学の観点から説明することができる。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】人と人との出会い 【計画内容】人間関係の始まりは人と人との出会いである。他者についての印象形成、相性の善し悪しの判断などについて取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】対人関係の諸問題について 【計画内容】人間関係において、表面的に平静を保っていても、葛藤や欲求不満などを抱えていることが多い。そのようなことが表出する諸問題について検討していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K		
	第2回	【テーマ】他者に魅力を感じること 【計画内容】人は他者に対してどのようにして魅力を感じ、心惹かれていくのか。人に対する好き嫌い、友情や恋愛感情などについて取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第10回	【テーマ】他者に対する不平・不満・クレーム 【計画内容】人間関係の中で他者に対するネガティブな感情がエスカレートし、時として常軌を逸した主張となることがある。怒りの表出に関する心理、クレームという現象など取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K		
	第3回	【テーマ】円滑なコミュニケーションを目指す 【計画内容】人と生きていく上で、他者と関わりあうことは避けることができない。人と人との間で交わされるコミュニケーションについて取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第11回	【テーマ】空気を読むこと 【計画内容】「以心伝心」「暗黙の了解」「黙認」など、日本では人間関係の中で「空気を読む」ということが行われることが多い。このようなコミュニケーションについて心理学の観点から理解していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K		
	第4回	【テーマ】人づきあいを避ける心理 【計画内容】他者との関係に無関心であったり、他者との関係をうまく築くことができないという現象について心理学の観点から取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第12回	【テーマ】ストレスと人間関係 【計画内容】我々が感じるストレスには多かれ少なかれ人間関係が絡んでいる。ストレスを正しく理解し、人間関係のマネジメントに活かすためのヒントを得ていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K		
	第5回	【テーマ】他者から受ける影響 【計画内容】我々は多かれ少なかれ他者の影響を受けざるを得ない。個人的にも社会的にも受けざるを得ない他者からの影響について取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第13回	【テーマ】他者を助けることと他者に助けを求めること 【計画内容】生きている中で、他者の助けを全く借りないということはなく、また、他者からの援助要請を受けることもある。援助にまつわる心理をあらゆる側面から検討し理解していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K		
	第6回	【テーマ】メディアを通じたコミュニケーション 【計画内容】人間関係は対面ばかりでなく、近年のインターネットの発達により種々のデジタル機器を介してのやりとりが増えてきている。その諸特徴について理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第14回	【テーマ】人間関係の中にいる自分自身の理解 【計画内容】人間関係においてイライラしている時、実は自分自身の心の動きが原因となっていることがある。自分自身の心理について知る方法について紹介していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K		
	第7回	【テーマ】集団の中でのふるまい 【計画内容】人間関係においては、1対1での関係と集団における関係とは異なる性質を持っている。集団がもたらす人間関係の特徴について理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第15回	【テーマ】よりよい人間関係を保つために 【計画内容】第14回までに学んだことをふまえ、人間関係について心理学から得られた知見を再確認し、良好な人間関係づくりの指針を得る。 【授業時間外の学修内容】第14回までの配付資料を復習しておくこと。	A・K		
	第8回	【テーマ】集団間での利害の対立 【計画内容】集団と集団における人間関係がもたらす、集団内で起こる現象や集団間での対立などについて取り上げ、理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K					
テキスト		講義資料を配付します。						
参 考 書		吉田敏和・橋本剛・小川一美編、2012年、『対人関係の社会心理学』、ナカニシヤ出版、9784779506932 藤本忠明・東正訓編、2004年、『ワークショップ人間関係の心理学』、ナカニシヤ出版、9784888488334						
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配補	分足		70%		30%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	教育相談機関、大学学生相談室、企業内健康管理部門、EAP 機関における心理相談業務。					
		科目との関連	実務経験をもとに実践に即した指導を行う。					
質問への対応		メールにて受け付けます。E-Mail:kosaka@hokusho-u.ac.jp						
資 格		[ス][健]社会教育主事_選必						
そ の 他		私語や携帯電話の着信音を鳴らすなど、他の学生が講義を受ける権利を侵害する行為を一切禁止します。守れない場合には受講態度評価に加味します。						

科 目 名			乳幼児心理学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			新川 貴紀						
授 業 の 目 的	ねらい	この講義では、人生の最初期である乳幼児期の発達(身体発達、認知発達、言語発達、社会性の発達など)について学習します。その際、乳幼児の発達が、彼らを取り囲む社会的文脈(対人環境、社会・文化的環境)との接触の中で成し遂げられていくものだという視点を強調します。							
	到達目標	(1)乳幼児期の発達の变化について、さまざまな側面から理解する。 (2)乳幼児期の発達に関する代表的な理論や概念について理解する。 (3)乳幼児期の発達を、社会的文脈との関連性において理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】本講義のガイダンス 【計画内容】講義の進め方と、成績評価の仕方について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】乳幼児期の発達と異文化 【計画内容】言語発達や社会性の発達を、異文化との接触という視点から考える。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L			
	第2回	【テーマ】乳幼児心理学が射程に入れるもの 【計画内容】乳幼児に関する発達研究の歴史と現状について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第10回	【テーマ】乳幼児期における特定の他者との愛着形成 【計画内容】乳幼児期において、特定の他者との人間関係がどのように形成されるのか、主に愛着(アタッチメント)の形成と発達に関する理論に基づいて説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L			
	第3回	【テーマ】乳幼児期の身体と運動の発達 【計画内容】乳幼児期の身体構造と運動機能の発達について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第11回	【テーマ】乳幼児期の遊び(1) 【計画内容】乳幼児期の遊びの発達の变化について、その遊びの形態または内容の変化という観点から説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L			
	第4回	【テーマ】乳幼児期の認知機能の発達(1) 【計画内容】乳幼児期の感覚・知覚機能(主に視覚機能と聴覚機能)の発達について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第12回	【テーマ】乳幼児期の遊び(2) 【計画内容】子どもの遊びを支える要素としての「道具」の意義について考える。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L			
	第5回	【テーマ】乳幼児期の認知機能の発達(2) 【計画内容】乳幼児期の知的機能の発達について、代表的な発達理論の一つであるピアジェの認識発達論を軸に説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第13回	【テーマ】乳幼児期の発達における社会・文化的要因の影響 【計画内容】乳幼児期の発達に、社会・文化的要因がどのような影響を及ぼすのか、比較文化的視点から説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L			
	第6回	【テーマ】乳幼児期の発達に影響を及ぼす要因：遺伝か環境か 【計画内容】乳幼児期の発達はどのような要因に規定されるのか、心理学において長年にわたって議論されてきた「遺伝 対 環境」という対立軸に基づいて説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第14回	【テーマ】発達の代表的理論 【計画内容】心理学における代表的な発達理論(ピアジェ、フロイト、エリクソン、ヴィゴツキーなど)を紹介する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L			
	第7回	【テーマ】乳幼児期の言語発達(1) 【計画内容】「ことば以前」の世界から、語彙・文法の獲得、会話の理解へと至る乳幼児期の言語発達の道筋について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第15回	【テーマ】本講義のまとめ 【計画内容】これまでの講義を振り返り、改めて乳幼児期の発達の意義について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L			
	第8回	【テーマ】乳幼児期の言語発達(2) 【計画内容】なぜ乳幼児は複雑で膨大な言語体系を生後数年間の間に理解できるようになっていくのか、言語獲得に関するいくつかの理論について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L						
テキスト		プリントを使用します							
参 考 書		内田伸子、2008年、『幼児心理学への招待 - 子どもの世界づくり』、サイエンス社、9784781911823 若井邦夫・高橋道子・高橋義信・堀内ゆかり、2006年、『グラフィック乳幼児心理学』、サイエンス社、4781911374							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 補 足			30% 最終レポート		70% 小レポート			
課題に関するフィードバックの方法		毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必							
そ の 他									

科目名		福祉心理学			授業形態	講義	単位数	2
教員名		佐藤 至英						
授業の目的	ねらい	今日の福祉問題に関する心理学的研究は始まったばかりであり、いまだに未開拓な面が多い。本講義では、福祉現場において生じる問題及びその背景を理解したうえで、社会福祉学と心理学の学際的研究領域である福祉心理学とはどのような学問なのか、福祉的対応がどのような心理的影響を与えるのかについて明らかにすることを目的とする。具体的には、福祉的対応を必要とする人々の心理的特性ならびに福祉的対応に役立つ心理的技法、そして福祉現場におけるチームマネジメント、心理社会的課題、チームで働くための基盤となるコミュニケーション及び必要な支援などについて、いくつかの事例をもとに学ぶ。						
	到達目標	(1)福祉心理学とは何かを理解する。 (2)対人援助における心理的支援について、基本的な理解を得る。 (3)対人援助における心理的援助の方法について、基本的な理解を得る。						
授業の計画	第1回	【テーマ】福祉心理学とは何か 【計画内容】福祉心理学の定義、Welfare の意味、福祉のための心理学とは何か、幸せとは何かについて理解する。 【授業時間外の学修内容】目的と目標の違い、見えるものではなく見えないものの価値について考える。	A・L	第9回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(1) 【計画内容】喪失体験からの回復、ジェノグラム、エコマップ、老いることの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】老いることの意味を考える。	A・L		
	第2回	【テーマ】対人援助を支える乳幼児期・児童期の心の理解 【計画内容】リレーションの大切さ、ほめるとしかるのポイント、何にフォーカスするかについて体験を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ほめるとしかるのポイントは何かを考える。	A・L	第10回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(2) 【計画内容】エリクソンの発達課題「統合と絶望」、脚本分析について理解する。 【授業時間外の学修内容】人生の最後において思うこと、何が幸せかを考える。	A・L		
	第3回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(1) 【計画内容】エコグラム、子どもと大人の違い、アイデンティティの確立について理解する。 【授業時間外の学修内容】子どもと大人の違いは何かを考える。	A・L	第11回	【テーマ】対人援助の技術(1) 【計画内容】カウンセリングマインド、カウンセリングモデル、よりそうことの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】カウンセリングとは何かを考える。	A・L		
	第4回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(2) 【計画内容】就職を考える。アイデンティティ・ステータス、自立とは何かについて理解する。 【授業時間外の学修内容】自立とは何かについて考える。	A・L	第12回	【テーマ】対人援助の技術(2) 【計画内容】問題の理解、心理テストの実際、解釈と質問の意味について、体験を通して理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に心理テストを行う。	A・L		
	第5回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(3) 【計画内容】結婚を考える。人はなぜ好きになるのか、好きになる理論について理解する。 【授業時間外の学修内容】人はなぜ好きになるのか、なぜ結婚するのかを考える。	A・L	第13回	【テーマ】対人援助の技術(3) 【計画内容】小さく始めることの意味、スモールステップ法、目標の設定、目標の実行、人は変われるかについて理解する。 【授業時間外の学修内容】人は変われるかについて考える。	A・L		
	第6回	【テーマ】家族を支える(1) 【計画内容】代表的な家族システム理論、バランスとは、機能不全の家族とは何か、虐待について理解する。 【授業時間外の学修内容】家族とは何かを考える。	A・L	第14回	【テーマ】対人援助の技術(4) 【計画内容】オープンマインド、長いスパンで考えることの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】オープンマインドとは何かを考える。	A・L		
	第7回	【テーマ】家族を支える(2) 【計画内容】家族関係測定尺度を通して、親子関係、家族間のコミュニケーションについて理解する。 【授業時間外の学修内容】親子関係、家族間のコミュニケーションについて考える。	A・L	第15回	【テーマ】これからの福祉心理学 【計画内容】福祉心理学の課題、福祉心理学の基本原則を日常生活に適用することについて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】福祉心理学の基本原則をどのように日常生活に適用するかを考える。	A・L		
	第8回	【テーマ】離婚・配偶者の死を考える 【計画内容】離婚の研究、配偶者の死からの回復、悲嘆過程について、事例をもとに理解する。 【授業時間外の学修内容】離婚・配偶者の死を考える。	A・L					
テキスト		プリントを配付します						
参考書		岡田明・宮本文雄・中山哲志、2002年、『福祉心理学 - 援助を必要とする人のために -』、ブレーン出版、4892426881 佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行、2011年、『福祉心理学総説』、田研出版、9784860890308						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		60%		
	補足			中間		平時		
課題に関するフィードバックの方法		Teams とポータルにて、行います。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		Teams ならびに Forms にて、質問を受け付けます。						
資 格		[ス][教][芸]社会教育主事_選必 [健]介護福祉士_必修、社会教育主事_選必 [心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必						
そ の 他		Teams をチェックするようにしてください。						

科 目 名		社会学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		松下 守邦					
授 業 の 目 的	ねらい	社会学は、「人々の社会とは何か」を明らかにする、社会科学の学問のひとつです。人間生活を扱うことから、経済学や政治学、社会福祉学にも近い領域の学問です。社会学は独自の視点として、社会関係、社会的行為、社会集団、社会構造、社会変動などの考え方(概念)を使って説明をします。個人と社会、家族社会、地域社会、産業労働社会、福祉社会など、ミクロからマクロの現代社会における人間関係、ジェンダー、社会階層と格差、少子化と高齢化など、社会事象の特質について学ぶことをねらいとします。					
	到達目標	(1)社会学の基本的概念を理解し、説明(記述)ができる。 (2)社会事象を社会学の基本的用語を使い、説明(記述)ができる。 (3)現代の社会事象について、その問題点と対策を、説明(記述)ができる。 (4)知識の外化(3手法:書く、話す、発表する)を使い、表現ができる。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと社会学への招待 【計画内容】教材(テキスト、配付プリント)、作業課題(ワークシート、レポートの作成提出)、授業の振り返りなど、授業形態とその対応について説明をします。テキスト、社会という言葉、社会学の歴史について学習します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章を読み、予習してください。能動的ノートのとり方(国語辞書編纂者、飯間浩明氏 twitter 記事)、大学講義ノートの取り方(佐藤望氏動画)などを参考にしてください。 飯間浩明氏 twitter (2015.April.11)"「板書をスマホで撮影してノートに代える」学生についての意見" https://twitter.com/IIMA_Hiroaki/status/586525324088774657/photo/1 (2021.02.01確認) 佐藤望氏 動画 https://www.youtube.com/watch?v=xrSBW8NLDaA (2021.02.01確認)	A	第9回	【テーマ】産業労働の社会学 【計画内容】労働、職業について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第9章を読み、予習してください。	A	
	第2回	【テーマ】社会学の発想 【計画内容】社会学的説明の基礎、「常識を疑うこと」について学習します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章を読み、予習してください。	A	第10回	【テーマ】社会福祉の社会学 【計画内容】社会福祉、社会保障、福祉社会について、学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第12章を読み、予習してください。	A	
	第3回	【テーマ】社会調査と計量社会学 【計画内容】社会調査、データ、インタビューにより社会事象を分析することについて学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章、第4章を読み、予習してください。	A	第11回	【テーマ】障害の社会学 【計画内容】障がい者、障害者、自立生活、アート活動について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第13章を読み、予習してください。	A	
	第4回	【テーマ】社会学の基本的概念 【計画内容】社会学の専門用語、学術概念の捉え方について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章を読み、予習してください。	A	第12回	【テーマ】ジェンダーの社会学 【計画内容】ジェンダー、性別役割について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第15章を読み、予習してください。	A	
	第5回	【テーマ】現代の家族 【計画内容】家族の形態、家族の機能、産業と家族、専業主婦、三歳児神話について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章を読み、予習してください。	A	第13回	【テーマ】第2回 ワークシートの作成、振り返り 【計画内容】本授業(第8回から第12回)の学習内容について、理解をたしかめるワークシートの作成、提出をおこないます。 【授業時間外の学修内容】テキストと配付資料を読み、準備学修をしてください。	K・L	
	第6回	【テーマ】第1回 ワークシートの作成、振り返り 【計画内容】本授業(第1回から第5回)の学習内容について理解をたしかめるワークシートの作成、提出をおこないます。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第1章から第6章)と配付資料を読み、準備学修をしてください。	K・L	第14回	【テーマ】社会学の学術論文を読む 【計画内容】学術論文のスタイル、研究成果について学びます。アカデミックライティング(学術論文スタイル)は、概念の定義づけ、引用表現、文献リストの作成をおこなう型を理解し、研究成果を確認します。 【授業時間外の学修内容】配付資料を予習してください。	J	
	第7回	【テーマ】視聴覚教材の視聴 【計画内容】視聴覚教材にでてくる社会事象について、学習した社会学概念を用いて分析、説明することを学びます。 【授業時間外の学修内容】本授業(第1回から第5回)であつた社会学概念について、テキスト、資料の確認をしておきましょう。	J	第15回	【テーマ】視聴覚教材の視聴、授業全体のまとめ 【計画内容】視聴覚教材にでてくる社会事象について、学習した社会学概念を用いて分析、説明することを学びます。授業内容の全体についてまとめをおこない、確認をおこないます。 【授業時間外の学修内容】本授業(第1回から第14回)であつた社会学概念について、テキスト、資料の確認をしておきましょう。	J・L	
	第8回	【テーマ】都市の社会学 【計画内容】人口の密集、匿名性、1人暮らし社会、都市の多様性と課題について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章を読み、予習してください。	A				
テキスト		酒井千絵・永井良和・間淵領吾、2018年、『基礎社会学 新訂第4版』、政界思想社、9784790717164					
参 考 書		日本社会学会、2010年、『社会学事典』、丸善、9784621082546 田中正人編・香月孝史、2019年、『社会学用語図鑑』、プレジデント社、9784833423113 友枝敏雄・浜日出夫・山田真茂留編、2017年、『社会学の力 最重要概念・命題集』、有斐閣、9784641174306 井下千以子、2019年、『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版』、慶應義塾大学出版会、9784766425772					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足			90% 課題評価(ワークシートレポート)		10%	
課題に関するフィードバックの方法	ワークシート提出課題(授業第6回、第13回)のフィードバックを、提出後の授業にておこないます。全体の振り返りは15回授業のまとめにておこなう予定です。						
実務経験と授業の関連	経 験 内 容						
	科目との関連						
質問への対応	大学交付の学生メールアドレスを使い、教員宛メールアドレス(大学交付教員メールアドレス)へメール送信してください。私用メールアドレスは、教員が受信する際、迷惑フォルダーに入ることがあるため、大学交付学生メールアドレスで作成送信して下さい。						
資 格	[健]介護福祉士_選必、社会福祉主事_選必 [教]社会福祉主事_選必						
そ の 他	ていねいに深く学びつづけることを大切にします。授業は全15回で修了します。成績評価は、ワークシート(学習範囲の理解をたしかめるための作業、第6回、第13回授業)、レポート(授業内容の理解を確認する「説明型レポート」、社会学概念と資料を利用して自分の主張を述べる「論証型レポート」、第7回、第15回授業)によりおこないます。学び方、評価方法などは第1回授業にて説明をおこないます。授業状況によりシラバス修整となる場合には、皆さんにシラバス修整版を提示いたします。						

科 目 名		音楽概論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		岡元 敦司					
授 業 の 目 的	ねらい	音楽の基本理念とその知識を定着化させ、『音楽』の歴史を考察する。音楽の三要素『旋律』『ハーモニー』『リズム』の成り立ち、楽曲における記号や詩を読解し、表現方法としての声や楽器の種類、構造と発音原理など、様々な角度から学びます。					
	到達目標	(1)歴史的背景を踏まえて音楽基礎の理論を理解する。 (2)音楽と詩の関係性を学び、楽譜と言葉について理解する。 (3)様々な楽器の種類を学び、その多様性と新しい音楽の創造ができるように工夫する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義ガイダンスと生活に関わる音 【計画内容】生活における様々な音の在り方を探り、その音の性質をいくつかあげる。生活における音と音楽との違いを考察しながら、音楽の歴史と成り立ちを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活における音をいくつかノートに書き出してくること。	A	第9回	【テーマ】オーケストラと室内楽について 【計画内容】古典派音楽からオーケストラ譜面と室内楽譜面の違いと、演奏スタイルについて学ぶ。指揮者の仕事について考察しながら音楽をまとめる力について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指揮者の仕事について考えられることをノートにいくつか書き出しておくこと。	A	
	第2回	【テーマ】私たちの様々な音楽 【計画内容】西洋における音楽の成り立ちと我が国における音楽を比較しながら、各国にある様々な音楽とその種類を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】それぞれ気に入った音楽とその特徴を調べてくること。	A	第10回	【テーマ】オペラについて 【計画内容】声の仕組み、声種について学びながら、オペラと能、様々な歌劇の形を比較分析する。総合芸術としての舞台の仕組みやその役割を考察する。 【授業時間外の学修内容】知っているオペラについてその内容を説明できるようにしておくこと。	A	
	第3回	【テーマ】楽譜を読む力・書く力 【計画内容】譜面が伝えることについて考察する。その歴史を捉えながら、楽譜に必要な記号、またその読み方を学び、様々な自筆譜面とその特徴についてもディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】音楽記号を五線紙ノートにいくつか書き出してくること。	A	第11回	【テーマ】ピアノと歌曲について 【計画内容】ロマン派における作曲作品のピアニストと歌手の役割とその芸術性について探る。古典詩を読み取りながら、現代に繋がるメッセージを探る。 【授業時間外の学修内容】歌曲について調べてくること。	A	
	第4回	【テーマ】旋律を支える音階 【計画内容】音楽史から捉えた様々な音階を取り上げ、その旋律の特徴と言葉の関係を学ぶ。音楽の三要素の1つ『旋律』の例を挙げてその特徴と成り立ちを学習する。 【授業時間外の学修内容】気に入った旋律を五線紙ノートに書いてくること。	A	第12回	【テーマ】新しい音楽の世界 【計画内容】印象派音楽、未来を創造する音楽の在り方と現代音楽について学ぶ。新しい音楽について鑑賞、様々な音楽ジャンルを学習する。 【授業時間外の学修内容】新しい音楽について、その種類を考察してくること。	A	
	第5回	【テーマ】ハーモニーとその歴史 【計画内容】音楽史から捉えた和声の歴史を学びながら、音楽の三要素の1つである『ハーモニー(和声)』の性質を分析する。 【授業時間外の学修内容】気に入った和声を五線紙ノートに書いてくること。	A	第13回	【テーマ】日本の音楽、その演奏形態、スタイルについて 【計画内容】我が国で作られた様々な作曲作品を取り上げながら、その演奏形態とスタイルを提案する。 【授業時間外の学修内容】好きな日本の曲ををノートに書き出してくること。	A	
	第6回	【テーマ】リズムと言葉の成り立ち 【計画内容】各国の言語におけるイントネーションの仕組みを捉えながら、音楽の三要素『リズム』の成り立ちを学ぶ。詩とリズムの関連性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】気に入った詩を五線紙ノートに書いてくること。	A	第14回	【テーマ】日本歌曲について 【計画内容】我が国の詩について本来の意味を知り、適切な表現方法を考える。 【授業時間外の学修内容】音楽で使用されることばを予習しておくこと。	A	
	第7回	【テーマ】音楽の三要素についての振り返りと調性について 【計画内容】音楽の三要素について振り返り、確認し理解を深める。 【授業時間外の学修内容】これまでに学んだ旋律、ハーモニー、リズム(詩)をまとめてくること。	A・G	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】音楽の三要素、音楽記号、調性、音楽用語について、オペラもしくはオーケストラについての小論文、新しい音楽の在り方を考えた小論文を時間内に用紙にまとめる。 【授業時間外の学修内容】これまでのノートの復習をしておくこと。	A・G	
	第8回	【テーマ】楽器の種類とその音について 【計画内容】ルネサンス期における弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器の特徴を学ぶ。オーケストラ楽曲の中でどのようなパートを受け持っているのかを聞き分ける。 【授業時間外の学修内容】好きな楽器の特徴をノートに書いてくること。	A				
テキスト		講義時に説明をする					
参 考 書		講義時に説明をする					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	30%		20%		30%	20%
補 足		試験		レポート課題		平常時	課題発表
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	声楽家				
		科目との関連	声楽家として歌曲、オペラの演奏を続けている。				
質問への対応		適宜対応をする。843研究室 okamoto3@wm.hokusho-u.ac.jp					
資 格		[教]中・高1種(音楽)_必修					
そ の 他		ある程度楽譜を読めること。五線紙ノート、授業ファイル(A4)を用意すること。					

科 目 名		ファッションデザイン概論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		大信田 静子、富田 玲子					
授 業 の 目 的	ねらい	ファッションデザインは、形、色彩、素材、更には作り方と着こなしがあり完成する。そして、そのデザインが歴史を作り変わり続ける。ファッションの持つ社会的役割が、どのように変化していったかを検証し、ファッションをどのように生活の中で役立てていけば良いのかを考える。衣服とは何か？自分らしさとは何か？を一緒に考える。					
	到達目標	(1)日常生活の中での衣服・ファッションとは何かを考え、基礎的要素のデザインから入り、造形・色彩のセオリーを通して内面的・外面的な美しさを学ぶ。 (2)様々なフォーマルシーン(慶弔別)におけるフォーマルウェアのルール・マナーが理解できる。 (3)ファッションデザインの意義と可能性を理解する。 (4)ファッション分野の科目を履修する上で指針となる。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】20世紀のファッション①洋装における昼のフォーマルシーン 【計画内容】男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(富田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	
	第2回	【テーマ】衣服・ファッションとは 【計画内容】衣服はいつから始まり、どのような衣類を纏っていたのでしょうか。歴史も含めながらみていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】ファッションについて考えておくこと。	A	第10回	【テーマ】20世紀のファッション②洋装における夜のフォーマルシーン 【計画内容】男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(富田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	
	第3回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について① 【計画内容】人はなぜ洋服を着用するのか。歴史的な被服と身体装飾から探っていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第11回	【テーマ】20世紀のファッション③洋装における喪服シーン 【計画内容】男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(富田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	
	第4回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について② 【計画内容】衣服の目的としての実用性と表現、身体保護と機能性を考えていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第12回	【テーマ】まとめと確認ならびにレポート提出 【計画内容】第8回～第11回までの内容についてまとめ、レポートを提出します。(富田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	
	第5回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について③ 【計画内容】ファッションが人に及ぼすイメージと色彩及び錯視についてみていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第13回	【テーマ】20世紀のファッション④制服 【計画内容】制服から発展した現代ファッションを世界に送り出してきたトラディショナル・スタイル(メンズスタイル)について学びます。(富田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	
	第6回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について④ 【計画内容】衣服の外面的・内面的美しさと個性について考えていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を熟読しておくこと。	A	第14回	【テーマ】20世紀のファッション⑤デザインの源泉 【計画内容】ヴィオネと三宅一生の発想と展開について学びます。(富田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A・B	
	第7回	【テーマ】まとめとレポート提出 【計画内容】第2回～第6回までの内容についてまとめ、レポートを提出します。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を熟読しておくこと。	G	第15回	【テーマ】まとめとレポートについて 【計画内容】これまでのまとめと確認を行います。(富田玲子) 【授業時間外の学修内容】プリントを読み復習しておくこと。	A・L	
	第8回	【テーマ】ファッションをデザインする 【計画内容】服飾に関するデザインのプロセスについて学び、ファッションにおける大切な要素について考えます。(富田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A				
テキスト		2013年、『フォーマルウェア・ルールブック』、日本フォーマルウェア協会 プリントを使用します					
参 考 書		ジョアン・フィンケルシュタイン 成実弘至訳、2007年、『ファッションの文化社会学』、せりか書房、9784796702799 ベティ・カーク、2002年、『VIONNET』、求龍堂、9784763097309					
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	補足		70%		30%	
				レポート		平時	
課題に関するフィードバックの方法		ファッション分野の科目を履修する上で指針となるデザインが歴史を作り変わり続ける。ファッションの持つ社会的役割が、どのように変化していったか、レポートによるフィードバックを行い学習に対する理解の一助となるようにする。					
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応		大信田静子 630研究室 E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp 富田玲子 640研究室 E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp					
資 格							
そ の 他							

科 目 名		インテリアデザイン			授業形態		演習		単 位 数		2	
教 員 名		千里 政文										
授 業 の 目 的		ねらい	インテリアデザインを学習する上で必要な、基本的知識の習得を目的とする。インテリアデザインの成立要素、人体寸法、インテリアと人間工学、内装材料、モジュールと工業化、室内環境の要素、室内環境と法規において理解し、インテリアデザインの基本的手法を習得する。									
		到達目標	(1)本講義は、インテリアにおけるデザインの基礎を修得することを目標とする。 (2)本講義を通じて、インテリアデザインのための必要な知識と技術を身に付ける。									
授 業 の 計 画		第1回	【テーマ】オリエンテーション インテリアデザインとは 【計画内容】講義内容を具体的に説明する。 【授業時間外の学修内容】関連する分野の資料を事前に確認し、講義ノートを1冊用意しておくこと。	A・B	第9回	【テーマ】展開図とその表現法 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B					
		第2回	【テーマ】インテリア計画と人体寸法(モジュールと尺貫法) 【計画内容】インテリア計画と人体寸法(モジュールと尺貫法)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第10回	【テーマ】子ども部屋におけるインテリアの工夫事例と遠近法スケッチの小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B					
		第3回	【テーマ】インテリア計画と内装材料(床・壁・天井) 【計画内容】インテリア計画と内装材料(床・壁・天井)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第11回	【テーマ】子ども部屋における色彩等の工夫事例と遠近法スケッチの小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B					
		第4回	【テーマ】インテリア計画と構造・構法・建具・住宅設備 【計画内容】インテリア計画と構造・構法・建具・住宅設備について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第12回	【テーマ】展開図と3次元の表現法の小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B					
		第5回	【テーマ】インテリア計画と法規 【計画内容】インテリア計画と法規について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第13回	【テーマ】理想のマイルームの小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B					
		第6回	【テーマ】インテリア計画と室内環境(シックと換気) 【計画内容】インテリア計画と室内環境(シックと換気)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第14回	【テーマ】小演習とプレゼンテーションの仕方 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B					
		第7回	【テーマ】インテリアデザインの手法 【計画内容】インテリアデザインの手法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第15回	【テーマ】小演習の発表プレゼンテーション 【計画内容】完成した小演習課題をプレゼンテーションする。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B					
		第8回	【テーマ】平面図とその表現法 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B								
テキスト		Airprah、2014年、『超図解で全部わかるインテリアデザイン入門』、エクスナレッジ、9784767818764										
参 考 書		関連資料・演習用資料を適宜配付します 文部科学省、『中学校学習指導要領解説 美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 芸術編』										
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他				
		配分 補足			60%		40%					
課題に関するフィードバックの方法												
実務経験と授業の関連		該当	経 験 内 容	1級建築士								
			科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。								
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。										
資 格		[芸]中・高1種(美術)_必修、1・2級建築士_選択、インテリアプランナー_選必										
そ の 他		受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。										

科 目 名		ユニバーサルデザイン		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		千里 政文					
授 業 の 目 的	ねらい	建築計画をユニバーサルデザインの視点を取り入れ学ぶ。少子超高齢社会に対応するための、保育園・幼稚園、小・中・高校、各種学校、高齢者施設・医療施設をはじめ都市計画について学び、多くの人々に使いやすく、多様なニーズに対応可能な、これからの社会に対応できる建築計画について習得する。					
	到達目標	(1)建築基準法「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」から、少子超高齢社会に対応した建築計画を学ぶ。 (2)建築家ロン・メイスによる提案された「アクセスしやすい建築」の視点、すなわちユニバーサルデザインから建築計画を学ぶ。 (3)人体寸法・動線計画、集住計画・高齢者施設・グループホーム・医療施設・学校教育施設・地域コミュニティ施設等について学ぶ。 (4)本授業を通じて、少子超高齢社会に対応できる建築計画の知識と技術を身に付ける。					
授 業 の 画	第1回	【テーマ】建築計画における国土交通省の取り組みについて 【計画内容】建築計画における国土交通省の取り組み：バリアフリー新法(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する分野の資料を事前に学習し、講義ノートを1冊用意しておくこと。	A	第9回	【テーマ】認知症高齢者グループホームと障害者グループホームの建築計画 【計画内容】認知症高齢者グループホームと障害者グループホームの建築計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	
	第2回	【テーマ】アクセスしやすい建築(建築家ロン・メイスとユニバーサルデザイン) 【計画内容】アクセスしやすい建築について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】医療施設(病院・診療所) 【計画内容】医療施設(病院・診療所)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	
	第3回	【テーマ】建築計画と人体寸法(乳児から後期高齢者まで) 【計画内容】乳児から後期高齢者までの人体寸法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第11回	【テーマ】学校教育施設と地域コミュニティ計画(小学校・中学校、保育所、幼稚園建築と都市計画) 【計画内容】学校教育施設と地域コミュニティ計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	
	第4回	【テーマ】高齢者・身体障害者に対応した細部計画(動作寸法、廊下・階段の計画、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザイン) 【計画内容】動作寸法、廊下・階段の計画、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインについて具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第12回	【テーマ】加齢に伴う建築計画(色の識別変化と色彩計画、照明計画) 【計画内容】加齢に伴う建築計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	
	第5回	【テーマ】超高齢社会のための建築計画(在宅介護を可能にする建築計画) 【計画内容】高齢になっても対応可能な住宅計画を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第13回	【テーマ】住宅・都市のバリアフリー計画(少子超高齢社会への対応) 【計画内容】住宅・都市のバリアフリー計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	
	第6回	【テーマ】少子超高齢社会における動線計画 【計画内容】少子超高齢社会における動線計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第14回	【テーマ】都市計画(ノーマライゼーション・コンパクトシティ含) 【計画内容】都市計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	
	第7回	【テーマ】集住計画(集合住宅、シェアハウス、世代間交流) 【計画内容】集住計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第15回	【テーマ】本授業のまとめ 【計画内容】本授業で学び習得してきた内容について振り返り、授業全体をまとめつつ、これからの建築計画のあり方を考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容を再確認しておくこと。	A	
	第8回	【テーマ】高齢者施設(高齢者施設の種類の、サービスの種類、各部門の計画) 【計画内容】高齢者施設について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A				
テキスト		『人にやさしい北国のユニバーサルデザイン』					
参 考 書		自作プリントを配付します (建築のテキスト)編集委員会編、2000年、『初めての建築計画(建築のテキスト)』、学芸出版社、9784761530907 福田健策著、2003年、『専門士課程建築計画』、学芸出版社、9784761523046					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補 足							
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	1級建築士				
		科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。				
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格		[芸]1級建築士_必修・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必					
そ の 他		受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。					

学部共通科目

科 目 名				生涯スポーツ学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名				川西 正志					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、運動・スポーツの実践に関わる促進・阻害要因として、生涯の各時期における社会・環境要因や個人要因(性・年齢・性格・職業・体力等)を捉えて議論する。幅広い年代や多様な特性をもつ人々に向けて生涯スポーツを推進していく上で、指導者の役割や必要な資質について講ずる。冰雪寒冷圏域における生涯スポーツの基礎的理論とその現状や課題について理解を深める。							
	到達目標	(1)生涯スポーツの概念、内容への理解を深める。 (2)各ライフステージ別の運動・スポーツ実践に関する特性について理解する。 (3)冰雪寒冷地における生涯スポーツの現状と特徴について理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の概要と展開、評価について確認します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】運動実践による健康づくり事業の計画演習2 【計画内容】運動・スポーツ実践の具体的なプログラムについて企画します。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・H			
	第2回	【テーマ】スポーツとは？歴史と概念 【計画内容】スポーツの歴史的背景や生涯スポーツの概念・意義について考えます。 【授業時間外の学修内容】生涯スポーツに対する現在の考えをまとめておく。	A・K	第10回	【テーマ】冰雪寒冷地における運動・スポーツ実践の特性と動向 【計画内容】冰雪寒冷地における運動・スポーツ実践の特性について考えます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K			
	第3回	【テーマ】高齢者スポーツの現状と課題 【計画内容】高齢者の運動・スポーツ実践の現状と課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K	第11回	【テーマ】生涯スポーツ指導者制度 【計画内容】生涯スポーツ指導者資格と取得制度について考えます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K			
	第4回	【テーマ】青少年スポーツの現状と課題 【計画内容】青少年スポーツの現状と課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K	第12回	【テーマ】スポーツ施設の運営管理とスポーツ政策の現状と課題 【計画内容】スポーツ施設の運営管理の指定管理やPFIについて考えます。また、スポーツ政策の総合的な要点について復習します。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K			
	第5回	【テーマ】スポーツの文化的価値 【計画内容】文化論的立場からの生涯スポーツの意義について理解します。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K	第13回	【テーマ】日本の生涯スポーツの現状と課題の整理 【計画内容】生涯スポーツの推進に向けた現状と課題について、これまでの授業での振り返りをします。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K			
	第6回	【テーマ】我が国のスポーツ振興とスポーツクラブ運営1 【計画内容】日本のスポーツ振興へのスポーツクラブの実態と社会的機能、定義、経営課題について理解します。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K	第14回	【テーマ】生涯スポーツの必要な知識の振り返り評価テストⅠ 【計画内容】生涯スポーツ学の必要な知識について、テスト形式で提出します。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K			
	第7回	【テーマ】我が国のスポーツ振興とスポーツクラブ運営2 【計画内容】日本のスポーツ振興へのスポーツクラブの政策課題やコロナ禍について緊急事態調査結果について理解します。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K	第15回	【テーマ】生涯スポーツの必要な知識の振り返り評価テストⅡ 【計画内容】生涯スポーツ学の必要な知識について、テスト形式で提出します。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・K			
	第8回	【テーマ】運動実践による健康づくり事業の計画演習1 【計画内容】運動・スポーツ実践の具体的なプログラムについて企画します。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A・H						
テキスト		川西正志・野川春夫、2018年、『改訂4版 生涯スポーツ実践論 生涯スポーツを学ぶ人たちに』、市村出版、9784902109474 追加する必要な資料については、講義時に説明する。							
参 考 書		川西正志・野川春夫監訳、『ヨーロッパ諸国のスポーツクラブ～異文化比較のためのスポーツ社会学』、市村出版、9784902109184							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	60%		20%		20%			
補 足									
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回講義時に説明します。							
資 格		[ス]社会教育主事_選必							
そ の 他									

科 目 名		生涯スポーツ学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		小坂井 留美						
授 業 の 目 的	ねらい	生涯スポーツの概念や広まってきた背景を学ぶ。幅広い年代や多様な特性をもつ人々に向けて生涯スポーツを推進していく中で必要な、各年代や生涯を通じて起こりうる心身の変化や取り巻く社会環境について理解し、運動・スポーツとの関係で考察する。						
	到達目標	(1)生涯スポーツの概念や生涯スポーツ政策について説明できる。 (2)ライフステージ毎に、特性と望ましい生涯スポーツのあり方を理解する。 (3)生涯スポーツ社会の実現と生涯スポーツ振興について、支援者、指導者が果たす役割を具体的に提案できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】生涯スポーツの定義 【計画内容】生涯スポーツの定義と特色、その背景を理解する。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第1章をまとめてくる。	A	第9回	【テーマ】高齢者のスポーツ 【計画内容】少子・高齢社会におけるスポーツの役割を理解する。高齢者の健康づくり施策や具体的な介護予防プログラムについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第9章をまとめてくる。	A		
	第2回	【テーマ】生涯スポーツの歴史 【計画内容】日本および世界の生涯スポーツ政策の変遷と特徴を理解し、スポーツ振興計画とスポーツ立国戦略に掲げられた具体的目標をあげられるようにする。北海道の生涯スポーツ政策にも触れる。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第2章をまとめてくる。	A	第10回	【テーマ】障がい者のスポーツ 【計画内容】障がい者とスポーツについて歴史と現状を学ぶ。障がい者スポーツの定義とノーマライゼーションについて理解する。リハビリテーションスポーツの意義や、大会運営、選手育成、指導者養成のシステムにも触れる。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第10章をまとめてくる。	A		
	第3回	【テーマ】余暇とスポーツ 【計画内容】日本のレジャー・レクリエーション政策とスポーツとのかかわりを理解する。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第3章をまとめてくる。	A	第11回	【テーマ】女性スポーツの現状と課題 【計画内容】女性スポーツについて歴史と現状を学ぶ。女性スポーツの促進や指導上の課題を理解する。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第14章をまとめてくる。	A		
	第4回	【テーマ】生涯スポーツとビジネス 【計画内容】生涯スポーツのビジネス化とマーケティングについて現状を理解し、スポーツ振興の視点から波及効果について考える。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第4章をまとめてくる。	A	第12回	【テーマ】生涯スポーツとニュースポーツ 【計画内容】競技スポーツの近代的価値観に対抗するニュースポーツの特性と歴史について学ぶ。北海道における事例を取り上げ、ニュースポーツの普及と課題を考察する。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第11章をまとめてくる。	A・D		
	第5回	【テーマ】生涯スポーツとヘルスプロモーション 【計画内容】高齢社会を迎え健康づくりのために生涯スポーツが求められる役割と、生涯スポーツを通じた健康づくりのマネジメントを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第5章をまとめてくる。	A・H	第13回	【テーマ】スポーツクラブの現状と課題 【計画内容】スポーツクラブを中心としたコミュニティ・スポーツの振興と施策を学び、日本の地域スポーツクラブにおける現状と課題を理解する。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第12章をまとめてくる。	A		
	第6回	【テーマ】地域社会と生涯スポーツイベント 【計画内容】スポーツイベントによる生涯スポーツ振興や、スポーツツーリズムの事例を取り上げ、経済波及効果やスポーツによる地域活性化について理解する。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第6章をまとめてくる。	A	第14回	【テーマ】スポーツクラブの運営 【計画内容】ヨーロッパ諸国を中心としたスポーツクラブの現状と日本における具体的事例を学ぶ。スポーツクラブの経営と、クラブマネジャーの役割を理解する。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第13章をまとめてくる。	A		
	第7回	【テーマ】生涯スポーツ指導者とボランティア 【計画内容】生涯スポーツ指導者の社会的制度について学ぶ。指導者養成と各資格等の役割、スポーツボランティアの果たす役割と現状について理解する。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第7章をまとめてくる。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】各回の内容を振り返り、生涯スポーツ振興において自らの果たす役割について考察する。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第15章をまとめてくる。	A・L		
	第8回	【テーマ】青少年のスポーツ参加 【計画内容】青少年のスポーツ参加の動向と、生涯スポーツ振興施策について理解する。子どもの体力の傾向や学校体育や部活動の問題、スポーツ障害等を取り上げ、各ライフステージにおける現状と望ましい生涯スポーツのあり方を理解する。 【授業時間外の学修内容】演習ノート第8章をまとめてくる。	A・K					
テキスト		川西正志・野川春夫、2018年、『改訂4版 生涯スポーツ実践論 生涯スポーツを学ぶ人たちに』、市村出版、9784902109474						
参 考 書		森谷繁監修、2006年、『生涯スポーツと運動の科学』、市村出版、9784902109077 日下裕弘・加納弘二、2010年、『生涯スポーツの理論と実際』、大修館書店、4469266981						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	40%		30%		30%		
補 足								
課題に関するフィードバックの方法		授業時間内、ポータルや Teams で行います。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に説明します。						
資 格		[健]社会教育主事_選必						
そ の 他		第16回に最終評価のためのテストを行います。						

科 目 名			生涯学習概論Ⅰ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			谷川 松芳						
授 業 の 目 的			ねらい 生涯学習社会を実現するために生涯学習の本質を理解し、人々の生涯にわたる学習活動を支援する方策を探る。さらに、社会教育の本質を理解し、いつでも、どこでもだれでもが学習できる条件整備のあり方などを探求する。						
			到達目標 (1)生涯学習の理念と生涯学習社会について理解する。 (2)生涯学習体系のあり方について理解する。 (3)社会教育の意義と目的及び関係する法令について理解する。						
授 業 の 計 画			第1回	【テーマ】ガイダンス・生涯教育論の提唱について 【計画内容】ポール・ラングランのワーキングペーパーを基に、ユネスコの生涯教育論について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ユネスコのポール・ラングランによる生涯教育の提唱について調べていくこと。	A・G	第9回	【テーマ】昭和期の戦後から現代までの社会教育史について 【計画内容】戦後から現代までの社会教育の変遷を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】戦後の社会教育について調べておくこと。	A・G	
			第2回	【テーマ】生涯教育の意義と目的について 【計画内容】昭和56年の中央教育審議会答申「生涯学習について」を基に、我が国における生涯教育の考え方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】文部科学省の昭和56年の中央教育審議会答申「生涯学習について」を予習しておくこと。	A・G	第10回	【テーマ】社会教育行政の意義と役割について 【計画内容】社会教育行政の意義と役割及び組織について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】出身地の教育委員会における社会教育行政について調べておくこと。	A・G	
			第3回	【テーマ】生涯教育から生涯学習へ移行した経過と内容について 【計画内容】臨時教育審議会の答申などを基に生涯教育から生涯学習へ移行した内容と変遷について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】臨時教育審議会の答申について調べておくこと。	A・G	第11回	【テーマ】生涯学習推進行政における社会教育行政の役割について 【計画内容】生涯学習推進行政と社会教育行政の関係性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育行政と社会教育施設の関係性について調べておくこと。	A・G	
			第4回	【テーマ】生涯学習の理念と意義について 【計画内容】生涯学習の理念とその意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生涯学習に関する文献等で生涯学習の意義について調べておくこと。	A・G	第12回	【テーマ】社会教育関係団体の意義と目的について 【計画内容】スポーツ少年団やPTAなどの社会教育関係団体の意義や目的などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法第3章を一読のこと。	A・G	
			第5回	【テーマ】生涯学習関連行政と施策について 【計画内容】生涯学習と一般行政の関係と関連施策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】一般行政における生涯学習推進体制を調べておくこと。	A・G	第13回	【テーマ】生涯学習と憲法、教育基本法、生涯学習振興法の関係性について 【計画内容】憲法、教育基本法、生涯学習振興法(略称)から生涯学習について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日本国憲法第26条、教育基本法、生涯学習振興法(略称)を一読のこと。	A・G	
			第6回	【テーマ】生涯学習の推進計画と推進体制について 【計画内容】生涯学習の推進基本構想等から生涯学習推進体制の整備について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第3次北海道生涯学習推進構想について調べておくこと。	A・G	第14回	【テーマ】社会教育法制定の意義と目的について 【計画内容】社会教育法制定の意義とこれまでの法改正の経緯について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法及び社会教育法改正の経緯を調べておくこと。	A・G	
			第7回	【テーマ】生涯学習の機会と学習形態について 【計画内容】生涯学習の機会の多様性とさまざまな学習形態を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】さまざまな学習活動や学習形態について調べておくこと。	A・G	第15回	【テーマ】社会教育関連施設の図書館法、博物館法などの法令・規則について 【計画内容】図書館法、博物館法、その他社会教育施設規則などから、社会教育の目的や社会教育事業について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】図書館法、博物館法を一読のこと。	A・G	
			第8回	【テーマ】明治、大正、昭和期(戦前)の社会教育史について 【計画内容】明治期、大正期、昭和期(戦前)の社会教育の歴史について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】明治期、大正期及び昭和期の戦前までの社会教育について調べておくこと。	A・G				
テキスト			講義時にプリントを配付する						
参 考 書			講義時に説明する						
成績評価の方法			筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
			配 分 60%			40%			
補 足			レポート						
課題に関するフィードバックの方法			講義時に配付し講評する						
実務経験と授業の関連			該 当		経 験 内 容	社会教育主事			
					科目との関連	社会教育主事の経験を活かし、生涯学習理論を教授する			
質問への対応			講義時に個別に対応する						
資 格			[ス]社会教育主事_必修、レクリエーション・コーディネーター_必修 [健]社会教育主事_必修						
そ の 他			1)第16回は、レポート試験を行う。 2)将来、生涯学習学の研究者を目指す学生を求む。 3)将来、地方公務員としての社会教育主事及び社会教育士を目指す学生を求む。						

科 目 名		生涯学習概論Ⅱ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		谷川 松芳						
授 業 の 目 的	ねらい	生涯学習社会の到来により人々の学習要求が益々増加しているため学習内容や方法などについて探究する。そのために生涯学習としての社会教育の原理原則を学ぶ。特に社会教育における実践活動や地域づくり方策を学ぶと共に次世代を担う子どもたちの育成を地域総がかりで取り組むための体制づくりや学校教育への支援方策を学ぶ。生涯学習を推進する社会教育の専門的職員である社会教育主事（社会教育士）としての知識や技能を修得し、人々のさまざまな学習活動を支援する有能な指導者を目指す。						
	到達目標	(1)社会教育の専門的職員としての社会教育主事及び社会教育指導者の役割を理解する (2)生涯学習活動と社会教育活動の関係性を理解する (3)生涯学習社会と学校・家庭・地域社会の連携や協働活動について理解する (4)生涯学習活動や社会教育活動による地域づくりを理解する						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】社会教育行政の専門的職員としての社会教育主事について 【計画内容】社会教育法における社会教育主事の法的な位置づけについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法を一読のこと。	A・G	第9回	【テーマ】生涯学習社会における家庭教育の意義と役割について 【計画内容】生涯学習社会における家庭の役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自身が家庭で教わったことについて調べておくこと。	A・G		
	第2回	【テーマ】社会教育主事としての資質と能力について 【計画内容】社会教育主事に求められる資質・能力と社会教育主事をめぐる課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育の専門的職員について調べておくこと。	A・G	第10回	【テーマ】生涯学習社会における家庭教育の支援のあり方について 【計画内容】家庭教育のあり方と家庭教育支援のあり方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】家庭教育の支援方策のあり方を調べておくこと。	A・G		
	第3回	【テーマ】社会教育主事の職務と実践的事例について 【計画内容】自治体における社会教育主事の実践事例から社会教育主事の職務と実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】出身地の教育委員会の社会教育実践事例について調べておくこと。	A・G	第11回	【テーマ】生涯学習社会における社会教育の学習内容と方法について 【計画内容】学校教育以外の家庭や地域社会における学習方法や内容について学ぶ。また、社会教育の実践的な学習方法や学習形態などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】地域におけるさまざまな学習活動や体験的な活動について調べておくこと。	A・G		
	第4回	【テーマ】社会教育施設の公民館、図書館、博物館、青少年施設等の専門職員について 【計画内容】社会教育施設の公民館主事、図書館司書、博物館学芸員、青少年施設等の専門職員としての職務と役割を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】公民館、図書館、博物館、青少年教育施設について調べておくこと。	A・G	第12回	【テーマ】学校・家庭・地域の連携による学校教育支援の意義と必要性について 【計画内容】学校教育を支援するために学校・家庭・地域が連携する意義と必要性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学校・家庭・地域の連携事例を調べておくこと。	A・G		
	第5回	【テーマ】社会教育行政における社会教育委員、公民館運営審議会委員、図書館協議会委員等について 【計画内容】社会教育行政における非常勤特別職員である社会教育委員・公民館運営審議会委員・図書館協議会委員・スポーツ推進委員等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法第4章の社会教育委員について調べておくこと。	A・G	第13回	【テーマ】学校・家庭・地域社会の連携による「地域学校協働活動」について 【計画内容】子どもたちの実態を踏まえた三者の連携の具体的な方策について学ぶ。特に次世代を担う子どもたちの感性や生きる力を育むための地域活動のあり方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学校、家庭、地域社会の三者連携の事例を調べておくこと。	A・G		
	第6回	【テーマ】生涯学習社会の実現に向けた生涯学習の推進体制について 【計画内容】生涯学習の推進体制づくりの意義と課題について学ぶ。生涯学習の実践活動事例として、北海道の「道民カレッジ」活動から学ぶ。 【授業時間外の学修内容】北海道教育委員会のHPで北海道の生涯学習推進状況について調べておくこと。	A・G	第14回	【テーマ】学校・家庭・地域社会の連携による地域づくりについて 【計画内容】学校と地域社会が連携した活動の発展から地域づくりのあり方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学校と地域社会が連携した地域活動について調べておくこと。	A・G		
	第7回	【テーマ】生涯学習社会と学校教育の関係性について 【計画内容】生涯学習社会における学校教育の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生涯学習社会における学校教育の役割について自分なりの考えをまとめておくこと。	A・G	第15回	【テーマ】生涯学習の推進における社会教育の役割と使命について 【計画内容】生涯学習を推進するための社会教育の役割と使命について学ぶ。さらに、学校、家庭、地域社会の連携による諸活動のあり方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】地域のボランティア活動等の実態を調べておくこと。	A・G		
	第8回	【テーマ】生涯学習社会における学校教育の役割について 【計画内容】生涯学習の理念に基づく学校教育の役割とそのための教育体系のあり方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生涯学習としての学校での学びを自分なりにまとめておくこと。	A・G					
テキスト		講義時にプリントを配付する						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	60%		40%				
	補 足	レポート						
課題に関するフィードバックの方法		講義時に配付し講評する						
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	社会教育主事					
		科目との関連	社会教育主事の経験を活かし、生涯学習及び社会教育の推進方策を教授する					
質問への対応		講義時に個別に対応する						
資 格		[ス][健]社会教育主事_必修						
そ の 他		1)第16回目は、レポート試験を行う。 2)将来、生涯学習学の研究者を目指す学生を求む。 3)社会教育主事(任用資格)取得、社会教育士資格取得に意欲のある学生を求む。 4)「生涯学習概論Ⅰ」の単位を修得済みのこと。						

科 目 名				栄養と健康		授業形態		講義		単 位 数		2	
教 員 名				黒田 裕太									
授 業 の 目 的	ねらい	戦後の生活水準の向上は、栄養摂取過多や偏りをもたらし、生活習慣病の大きな原因となっている。本講義では、栄養素の役割、栄養素の代謝および生理学的意義を理解し、日常摂取している栄養素等の理解を深める。同時に、日常生活における食習慣や食生活を考える機会とする。また、2年次に関講される「スポーツ栄養学」の基礎知識を習得することを目的とする。											
	到達目標	(1)各栄養素の役割を理解する。 (2)食習慣や栄養摂取の重要性を意識する。 (3)個人の栄養状態を評価し食生活の改善策をたてることができる。 (4)講義で得た知識を利用し、理想的な食習慣および生活習慣を構築することができる。 (5)「スポーツ栄養学」の基礎知識の習得をする。											
授 業 の 画	第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】本講義の内容を紹介し、15回の授業展開や参考資料等の説明をする。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと(シラバス持参)。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】水分の役割と水分補給 【計画内容】水の機能、1日の水分出納と脱水症状について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A							
	第2回	【テーマ】日本人の食生活および生活習慣の変化と疾病との関連性 【計画内容】健康な生活を実現する上で、「食と運動」の組み合わせを考慮することがとても重要である。本講義では日本人の食生活および生活習慣の変化と疾病の関連性を理解してもらう。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む(厚生労働省のホームページを参照)。	A	第10回	【テーマ】エネルギー消費量および摂取量の算定方法 【計画内容】運動強度、継続時間による三大栄養素のエネルギー源としての利用率を知る。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A							
	第3回	【テーマ】食物摂取と消化吸収 【計画内容】栄養素別の消化・吸収について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A	第11回	【テーマ】栄養アセスメントの理解 【計画内容】栄養素摂取量の算定方法および栄養状態の評価・判定の目的を理解する。また、社会的背景を踏まえ、成人期のメタボリックシンドロームおよび高齢期の低栄養について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A							
	第4回	【テーマ】栄養素とその機能①炭水化物 【計画内容】炭水化物、特に糖質の栄養学的特徴、日常および運動時におけるエネルギー源としての重要性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A	第12回	【テーマ】ライフステージ別の栄養学 【計画内容】日本の食生活の現状や指針および関連する施策をライフステージ毎に解説する。乳幼児期、青年期、成人期および高齢期における生理的・身体的特徴から、食生活の重要性や食品の基礎知識を理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A							
	第5回	【テーマ】栄養素とその機能②脂質 【計画内容】脂質の栄養学的特徴、摂取の現状の問題点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A	第13回	【テーマ】スポーツ栄養学 【計画内容】2年次に実施される「スポーツ栄養学」の内容の一部を紹介をする。「スポーツ栄養学」は本授業の基礎知識があって理解できる内容となっている。運動およびスポーツを実施することと、栄養学がどのように関連しているのかを理解してもらう。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A							
	第6回	【テーマ】栄養素とその機能③たんぱく質 【計画内容】たんぱく質の栄養学的特徴、体内代謝、栄養価評価法について学ぶ。摂取すべきたんぱく質の量および付随する栄養素との関連について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A	第14回	【テーマ】栄養マネジメントの事例紹介 【計画内容】体重の増減の仕組みを考慮した栄養指導や、ある一定の食品やサプリメント使用による栄養指導の事例報告から、運動および食事エネルギー出納や栄養素摂取量のコントロールから、適切な食生活とは何かを考察してもらう。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A・B							
	第7回	【テーマ】栄養素とその機能④ビタミン 【計画内容】ビタミンの栄養学的機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A	第15回	【テーマ】栄養と健康のまとめ 【計画内容】本講義の総まとめを実施する。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義プリントを復習し、講義内容を整理しておくこと。	A・L							
	第8回	【テーマ】栄養素とその機能⑤ミネラル 【計画内容】ミネラルの栄養学的機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。	A										
テキスト		講義時に説明します											
参 考 書		講義時に説明します											
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他						
	配分補足	60%		20%		20%							
課題に関するフィードバックの方法		課題等のフィードバックは必要に応じて個別対応をする。											
実務経験と授業の関連		経 験 内 容											
		科目との関連											
質問への対応		オフィスアワー(4月中に発表)または講義後を活用してください。											
資 格		[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、認定トレーニング指導者_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修											
そ の 他		2年次の「スポーツ栄養学」を受講希望している学生は、本講義を受講することが望ましい。											

科 目 名		健康学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		小田 史郎					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、現代社会に生きる我々がどのように健康づくりを実践していけばよいかについての基礎知識を身につけることを目的とする。講義内容は、栄養・運動・休養の3要素を中心に、心の問題や環境問題、性別や年齢別の健康問題など多岐にわたる。また具体的な取り組み事例や健康づくり行動継続のための心理的な手法についても学ぶ。講義では、それぞれのテーマにおける科学的な根拠を紹介し、これらに基づいた健康づくりを学生自身が考えるという流れで進める。					
	到達目標	(1)健康づくりが様々な側面からなされていることを理解し、総合的に考える力を身につける。 (2)健康づくりに関する正しい知識を選択する力を身につける。 (3)行動変容理論に基づき、健康づくり行動を継続するための工夫ができるようになる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス・健康の考え方 【計画内容】 講義の進め方と健康の考え方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】 睡眠の評価方法について 【計画内容】 質問紙などを使用して、睡眠を評価する方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	
	第2回	【テーマ】 わが国の健康づくり施策 【計画内容】 第1次健康づくり対策から健康日本21(第2次)にかけて、わが国の健康づくり施策の流れとその背景について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	第10回	【テーマ】 睡眠をとりまく問題と対策について 【計画内容】 わが国が抱える睡眠問題とその対策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	
	第3回	【テーマ】 健康づくりのための身体活動基準2013とアクティブガイド 【計画内容】 健康づくりのための身体活動基準2013とアクティブガイドについて学ぶ 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	第11回	【テーマ】 健康日本21(第2次)における社会環境の整備 【計画内容】 社会環境を整える重要性和健康日本21(第2次)における位置づけについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	
	第4回	【テーマ】 健康運動指導者の社会的役割について 【計画内容】 健康運動指導士や健康運動実践指導者の役割とその意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	第12回	【テーマ】 ストレスの考え方と評価法 【計画内容】 ストレスの考え方と評価法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	
	第5回	【テーマ】 健康と運動の関係について 【計画内容】 運動が健康にどのように影響しているかについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	第13回	【テーマ】 ストレスマネジメントとカウンセリング 【計画内容】 ストレスマネジメントとカウンセリングについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	
	第6回	【テーマ】 健康と栄養の関係について 【計画内容】 栄養素の役割や食生活と健康づくりのかかわりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	第14回	【テーマ】 運動の健康行動(禁煙など)への影響 【計画内容】 運動の健康行動(禁煙など)への影響について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	
	第7回	【テーマ】 健康と休養の関係について 【計画内容】 健康づくりにおいて、休養がどのような役割を果たしているかについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	第15回	【テーマ】 行動変容理論について 【計画内容】 健康づくりの行動に至らない理由をふまえて、行動変容理論に基づいた工夫や仕掛けについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G	
	第8回	【テーマ】 睡眠の役割について 【計画内容】 なぜ睡眠が必要かについて学ぶとともに睡眠の構造について理解する。 【授業時間外の学修内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A・G				
テキスト	プリントを使用します						
参 考 書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			50%		50%	
	補 足			講義時に 小レポート実施			
課題に関する フィードバックの方法	毎回の講義時に小レポートに対する講評を行います。						
実務経験と 授業の関連	経 験 内 容						
	科目との関連						
質問への対応	研究室での対応のほか、メールでも対応します。E-Mail:os@hokusho-u.ac.jp						
資 格	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修 [健]介護福祉士_選必、健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修						
そ の 他							

科 目 名		介護予防論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		小田 史郎、小坂井 留美、吉田 修大						
授 業 の 目 的	ねらい	今後の超高齢社会に対応していくためには、高齢者がサービスの受け手ではなく、担い手として活躍できるような社会への転換を図っていくことが求められている。本講義では、住民主体の介護予防事業を支援できるように、介護予防を推進していくための知識や技術を習得することを目的とする。						
	到達目標	(1)住民が主体となった介護予防推進の重要性について理解する。 (2)介護予防リーダーについて理解し、介護予防に関する基礎的な知識を習得する。 (3)住民主体の介護予防実践例をもとに、効果的に進めるためのポイントについて理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・介護予防リーダーとは？ 【計画内容】講義の展開予定について説明する。住民主体の介護予防が求められる背景、介護予防リーダーについて理解する。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んできてください。今回の講義内容を次回までに復習してきてください。	A・G	第9回	【テーマ】筋力増強トレーニング論(1) 【計画内容】筋力を増強するトレーニング方法について学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	B・G・H		
	第2回	【テーマ】介護予防計画についての報告会 【計画内容】2年生が「介護予防実践演習」で作成した介護予防計画についての資料を読み、学びについて理解する。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】報告会の発表原稿集を読んできてください。	B	第10回	【テーマ】筋力増強トレーニング論(2) 【計画内容】筋力を増強するトレーニング方法について学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	B・G・H		
	第3回	【テーマ】介護予防と老年学(1) 【計画内容】超高齢社会に関する人口統計学データを理解し、これらをもとに自分たちにできることを考える。(吉田修大) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G・K	第11回	【テーマ】転倒予防トレーニング(1) 【計画内容】転倒予防のトレーニング法について学ぶ。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	B・G・H		
	第4回	【テーマ】介護予防と老年学(2) 【計画内容】超高齢社会に関する人口統計学データを理解し、これらをもとに自分たちにできることを考える。(吉田修大) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G・K	第12回	【テーマ】転倒予防トレーニング(2) 【計画内容】転倒予防のトレーニング法について学ぶ。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	B・G・H		
	第5回	【テーマ】介護予防に必要な運動学(1) 【計画内容】運動器の機能向上プログラムに関する知識として筋の名称や働きを学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G・K	第13回	【テーマ】口腔機能の向上(1) 【計画内容】口腔機能は何かを理解し、低下を予防するポイントやトレーニングについて学ぶ。(吉田修大・外部講師) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・B・G・H		
	第6回	【テーマ】介護予防に必要な運動学(2) 【計画内容】運動器の機能向上プログラムに関する知識として姿勢の評価方法を学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・H	第14回	【テーマ】口腔機能の向上(2) 【計画内容】口腔機能は何かを理解し、低下を予防するポイントやトレーニングについて学ぶ。(吉田修大・外部講師) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・B・G・H		
	第7回	【テーマ】老年症候群の早期発見(1) 【計画内容】介護予防のターゲットである老年症候群について学ぶ。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G・K	第15回	【テーマ】学習のまとめ 【計画内容】これまで学んだことをまとめる。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】これまでの講義で配付された資料を読み返して復習する。	B・G・H		
	第8回	【テーマ】老年症候群の早期発見(2) 【計画内容】老年症候群の早期発見のためのスクリーニングツールについて学ぶ。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G・K					
テキスト		講義内で提示します						
参 考 書		講義内で提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		60%		
	補足							
課題に関するフィードバックの方法		課題については、講義の中で講評を行います。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		講義全体についての質問は小田先生、それ以外の学習内容等についてはそれぞれの担当教員が対応します。						
資 格								
そ の 他								

科目名		スポーツ心理学		授業形態	講義	単位数	2
教員名		吉田 聡美、畠中 智志					
授業の目的	ねらい	スポーツ競技において良い成績をあげるためには、技術面・体力面に加え、心理面も重要な要素である。この講義では、自分自身がスポーツをしているときの心の動きを考察しながら基礎知識を学び、スポーツ活動や運動パフォーマンスを促進するために必要な心理的スキルを学習します。また、スポーツ場面特有の心理的現象やその対処法についての認識を深め、以下のことを到達目標とします。					
	到達目標	(1)スポーツ活動や運動のパフォーマンスにおいてメンタルマネジメントが重要であることを理解する。 (2)心理的スキルについての内容を理解でき、その方法を説明することができる。 (3)競技力向上及び実力を発揮するための適切な指導をするために、自分自身を客観的に把握し理解することができる。 (4)運動を学習するプロセスを理解する					
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス、スポーツの心理①スポーツと心の関係 スポーツ心理学とは 【計画内容】講義の実施方法、評価方法などについて紹介し、15回の講義展開を説明します。スポーツが心理面に与える影響、特にスポーツ心理学の概略を学びます。(吉田聡美) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読及び指定した教科書、ワークブックの第1章を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】チームワークとチームビルディング 【計画内容】集団とチームの違い、チーム形成のプロセスやチームワークを高める要素について学び、役割を遂行することの大切さや信頼関係を高めることの重要性について学びます。(吉田聡美) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書、ワークブックの第10章を読んでおくこと。	A	
	第2回	【テーマ】スポーツにおける動機付け 【計画内容】動機付けが果たす役割、動機づけ理論について学びます。(吉田聡美) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書、ワークブックの第3章を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】コーチングの心理①効果的な指導方法 【計画内容】リーダーシップやコーチングについて学び、指導する上で必要な哲学やコーチングの方法について学ぶことを通して、勝利のみではなく人間的な成長力を高める方法を考えます。(吉田聡美) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書、ワークブックの第11、12章を読んでおくこと。	A	
	第3回	【テーマ】スポーツにおけるやる気を高める方法と目標設定 【計画内容】動機付けを高める方法、目標設定の原理原則・効果について学びます。(吉田聡美) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書、ワークブックの第3章と4章を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】コーチングの心理②運動の発達 【計画内容】生涯を通じた運動の発達の特徴および効果について学びます。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】発達段階に応じた運動の特徴について調べておくこと。	A	
	第4回	【テーマ】覚醒水準とパフォーマンスの関係 【計画内容】スポーツ競技場面での適切な覚醒水準、リラックス・サイキングアップとはどういう事なのかを学び、さらに実際に体験します。(吉田聡美) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書、ワークブックの第5章を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】コーチングの心理③運動学習① 【計画内容】各理論を基に、運動がどのように学習されているかについて学びます。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書第13章を読んでおくこと。参考書の該当箇所を読み、復習すること。	A	
	第5回	【テーマ】注意集中力とは 【計画内容】注意集中の種類、高め方について学びます。また、実際に体験し、どのようにスポーツ場面で生かすか検討します。(吉田聡美) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書、ワークブックの第6章前半を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】コーチングの心理④運動学習② 【計画内容】運動学習理論を基にした運動スキルの獲得について学びます。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書第13章を読んでおくこと。参考書の該当箇所を読み、復習すること。	A	
	第6回	【テーマ】集中力を高める方法 【計画内容】集中力が乱れる要因について学び、集中力が途切れる場面や症状に応じた対処方法を学びます。(吉田聡美) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書、ワークブックの第6章後半を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】知覚・運動制御① 【計画内容】知覚・運動システムを基に、どのように運動が制御されているかについて学びます。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書第13章を読んでおくこと。参考書の該当箇所を読み、復習すること。	A	
	第7回	【テーマ】イメージトレーニングとは 【計画内容】イメージトレーニングの目的、種類、効果、高め方、注意点等について学び、また、各競技に合わせたトレーニング方法を検討します。(吉田聡美) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書、ワークブックの第7章を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】知覚・運動制御② 【計画内容】予測や状況判断能力など、熟達したスポーツ選手における認知的側面の特徴について学びます。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書第13章を読んでおくこと。参考書の該当箇所を読み、復習すること。	A	
	第8回	【テーマ】思考のコントロール 【計画内容】試合前後の思考や積極的な思考をする目的や効果について学び、自己の思考を分析することを通して、競技能力や実力を発揮することができることを学びます。(吉田聡美) 【授業時間外の学修内容】指定した教科書、ワークブックの第8と9章を読んでおくこと。	A				
テキスト		養内豊・竹田唯史：吉田聡美、2020年、『基礎から学ぶスポーツ心理学』、中西出版 吉田聡美、2019年、『資格に役立つスポーツ心理学・コーチングワークブック』、中西印刷 杉原隆、2008年、『新版運動指導の心理学 運動学習とモチベーションからの接近』、大修館書店、9784469266733					
参考書		杉原隆・船越正康・工藤孝幾・中込四郎、2000年、『スポーツ心理学の世界』、福村出版、9784571250330 文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領 保健体育編』 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領 保健体育編』					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		25%		15%	
	補足			課題内容とレポート内容を総合的に評価		積極的発言及び課題の自由記述で気づき等応用的な考え記入	
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	吉田聡美 / 体育教諭 アスレティックトレーナー				
		科目との関連	吉田聡美 / 体育教諭やアスレティックトレーナーとして、心理的課題に直面した人の対応				
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。 吉田 E-Mail:ssyyy@juno.ocn.ne.jp 畠中 E-Mail:unenaka@hokusho-u.ac.jp					
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修、レクリエーション・コーディネーター_選必					
そ の 他		シラバスの順番は前後することがあります。講義で説明します。休講の場合は、補講日で実施します。オンライン授業になった場合は、課題提出の内容で評価します。					

科 目 名		スポーツ運動学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		廣田 修平						
授 業 の 目 的	ねらい	競技スポーツ現場や学校体育の指導において、学習者の“動き”を把握し、改善していくことは指導者にとって重要な役目である。運動を覚える、また覚えさせるといった活動は単純に知識の獲得だけで存在するものではなく、動き方の知として実際の運動を通して成立していくものである。この講義では、スポーツにおける運動学習の基礎理論としての学習位相、運動質、運動構造、運動技術、運動観察の概念を、人間学的・現象学的立場から概説し、運動方法論についても認識を深める。そしてスポーツ指導者、保健体育教員としての基本的知識を身につけることがねらいである。						
	到達目標	(1)学習位相、運動質、運動構造、運動技術、運動観察の概念を理解し、実際の運動学習の事例に結び付けて問題点を抽出できるようにする。 (2)運動学習で生じる様々な問題を解決するための視点について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】スポーツ運動学の概要とねらいについて理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んで、今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】運動技術論① 【計画内容】スポーツ運動系における運動技術の概念を理解する。 【授業時間外の学修内容】参考図書を概観しておく。	A・G		
	第2回	【テーマ】運動学習と学習位相① 【計画内容】運動学習の概念と学習位相の概要を理解する。 【授業時間外の学修内容】参考図書を概観しておく。	A・G	第10回	【テーマ】運動技術論② 【計画内容】運動技術の特性を実際の事例に基づいて検討する。 【授業時間外の学修内容】前回の学習記録をまとめておく。	A・G・J		
	第3回	【テーマ】運動学習と学習位相② 【計画内容】事例に基づき、運動の習得に関する基本的理解と、運動の粗協調について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の学習記録をまとめておく。	A・G・J	第11回	【テーマ】運動技術論③ 【計画内容】事例に基づき、運動技術の指導法とその問題点について検討する。 【授業時間外の学修内容】前回の学習記録をまとめておく。	A・G・J		
	第4回	【テーマ】運動学習と学習位相③ 【計画内容】事例に基づき、運動の精協調、運動の安定化について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の学習記録をまとめておく。	A・G・J	第12回	【テーマ】運動観察論① 【計画内容】運動の他者観察の概念を理解する。 【授業時間外の学修内容】参考図書を概観しておく。	A・G		
	第5回	【テーマ】運動質論① 【計画内容】スポーツ運動系における動きの質について理解する。 【授業時間外の学修内容】参考図書を概観しておく。	A・G	第13回	【テーマ】運動観察論② 【計画内容】運動共感能力の概念と、実際の運動指導におけるその必要性を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の学習記録をまとめておく。	A・G・J		
	第6回	【テーマ】運動質論② 【計画内容】運動の局面構造と運動リズムの概念を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の学習記録をまとめておく。	A・G	第14回	【テーマ】運動観察論③ 【計画内容】運動の自己観察の概念と、運動学習におけるその重要性を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の学習記録をまとめておく。	A・G		
	第7回	【テーマ】運動質論③ 【計画内容】マイネルによる運動質カテゴリーの概要を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の学習記録をまとめておく。	A・G	第15回	【テーマ】運動方法論とまとめ 【計画内容】運動学習の基礎理論を踏まえ、運動の指導方法を学習・検討する。また、今後の運動学が目指す方向性と課題を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回までの学習記録をまとめておく。	A・G・L		
	第8回	【テーマ】運動質論④ 【計画内容】運動の質的評価の視点を実際の事例に基づいて考える。 【授業時間外の学修内容】前回の学習記録をまとめておく。	A・G・J					
テキスト		プリントを配付します。						
参 考 書		金子明友・朝岡正雄他、1990年、『運動学講義』、大修館書店 金子明友、2005年、『身体知の形成』、明和出版 金子明友他、1996年、『教師のための運動学』、大修館書店						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足	60%		20%		20%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	経 験 内 容							
	科目との関連							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修						
そ の 他		第16回に最終評価のための試験を行います。						

科 目 名	生理学				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	柴田 啓介							
授 業 の 目 的	ねらい	生理学は、生体の器官や細胞などの機能を研究する学問である。1年次後学期に「運動生理学」を学ぶ足掛かりとなる知識を得ることを目指す。主に運動やトレーニングにつながる部分について学習する。						
	到達目標	(1)筋収縮の仕組みやエネルギー供給機構について説明できる。 (2)神経の種類や役割について説明できる。 (3)呼吸・循環の仕組みや働きについて説明できる。 (4)内分泌系の種類や役割について説明できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義の内容や進め方について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、生理学の概要について、把握しておくこと。	A	第9回	【テーマ】呼吸 【計画内容】呼吸に関わる器官の構造と呼吸の仕組みについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A		
	第2回	【テーマ】栄養とエネルギー 【計画内容】栄養素およびそれらのエネルギーとしての利用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A	第10回	【テーマ】血液と循環 【計画内容】血液の組成や循環の仕組みについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A		
	第3回	【テーマ】消化吸収と代謝 【計画内容】摂取した栄養の吸収と代謝について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A	第11回	【テーマ】内分泌系 【計画内容】ホルモンの種類と作用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A		
	第4回	【テーマ】筋収縮のエネルギー供給機構 【計画内容】筋収縮に関わる3つのエネルギー供給機構について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A	第12回	【テーマ】骨 【計画内容】骨の構造や組成について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A		
	第5回	【テーマ】筋の構造と種類 【計画内容】人体の筋の構造や種類について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A	第13回	【テーマ】体温 【計画内容】体温の調節機構について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A		
	第6回	【テーマ】筋収縮のメカニズムと筋力発揮 【計画内容】筋が収縮する仕組みと筋力発揮様式について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A	第14回	【テーマ】運動による身体機能の適応 【計画内容】運動に伴う長期的な適応について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A		
	第7回	【テーマ】神経組織 【計画内容】神経系の構造や筋との関わりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義のまとめとして内容の確認を行う。 【授業時間外の学修内容】前回までの講義の復習をしておく。	A		
	第8回	【テーマ】感覚 【計画内容】感覚の種類と仕組みについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておく。	A					
テキスト	テキストは使用しない							
参 考 書	中島雅美、2013年、『運動・からだ図解 生理学の基本』、マイナビ、9784839947736 富樫健二、2013年、『スポーツ生理学』、科学同人、9784759817089							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%				40%		
補 足								
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	経 験 内 容							
	科目との関連							
質問への対応	講義前後に口頭で対応します。							
資 格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修							
そ の 他								

科 目 名			運動生理学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			井出 幸二郎					
授 業 の 目 的	ねらい	酸素運搬系(呼吸・循環系を含む)、エネルギー代謝系、健康運動と血液生化学、加齢、生活習慣病と運動、メタボリックシンドロームと運動、などの諸項目を現代社会で進む運動不足の問題に対比させつつ運動の効用の観点から知識化できるように講ずる。						
	到達目標	(1)神経中枢(脳)で運動・スポーツがどのように計画され司令されるかを説明できる。 (2)骨格筋の収縮メカニズムを説明できる。 (3)骨格筋の収縮のためにエネルギーがどのように賄われるかを説明できる。 (4)骨格筋の収縮に必要な酸素を呼吸・循環・内分泌系がどのように連携し、供給するかを説明できる。 (5)骨格筋に代謝基質を呼吸・循環・内分泌系がどのように連携し、供給するかを説明できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】脳・神経系と運動 【計画内容】脳・神経系の基本的構成(中枢神経系と末梢神経系、脳の区分など)について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおいて下さい。前期の「生理学」を復習しておいて下さい。講義に集中できる準備が望まれます。	A	第9回	【テーマ】運動と内分泌1 【計画内容】骨格筋の収縮に必要なエネルギー基質をどのように供給するか、内分泌系の役割についてを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A		
	第2回	【テーマ】脳・神経系と運動 【計画内容】脳・神経系による運動の調節について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A	第10回	【テーマ】運動と内分泌2 【計画内容】運動に伴う体液量の変化に対する内分泌系の役割についてを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A		
	第3回	【テーマ】骨格筋収縮 【計画内容】格筋収縮様式(短縮性収縮、等張性収縮、伸張性収縮)、骨格筋の種類(遅筋、速筋)、骨格筋の収縮メカニズムについて、学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A	第11回	【テーマ】運動と疲労 【計画内容】運動に伴う骨格筋及び中枢の疲労について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A		
	第4回	【テーマ】運動とエネルギー 【計画内容】骨格筋の収縮に必要なエネルギー代謝について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A	第12回	【テーマ】運動と環境 【計画内容】身体的パフォーマンスに対する高所環境、暑熱環境、寒冷環境の影響について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A		
	第5回	【テーマ】運動と呼吸1 【計画内容】骨格筋の収縮に必要な酸素をどのように取り込み、代謝産物である二酸化炭素をどのように排出するかについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A	第13回	【テーマ】運動と生活習慣病 【計画内容】生活習慣病に対して身体運動がどのように有効にはたらくかを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A		
	第6回	【テーマ】運動と呼吸2 【計画内容】運動中の呼吸調節に対する肺疾患や心疾患の影響について、学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A	第14回	【テーマ】加齢による身体機能の低下と健康 【計画内容】加齢による身体的な変化とそれに対する身体運動の可能性について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A		
	第7回	【テーマ】運動と循環1 【計画内容】体内に取り込んだ酸素をどのように骨格筋へ供給するかを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A	第15回	【テーマ】運動と免疫能 【計画内容】運動が免疫能に与える影響について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A		
	第8回	【テーマ】運動と循環2 【計画内容】体内に取り込んだ酸素をどのように骨格筋へ供給するか、血流再分配及び血流調節について学びます。循環調節に対する身体的トレーニングや心疾患の影響についてを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んで考えを持っておきます。	A					
テキスト		資料を配付します						
参 考 書		山地啓司ほか、2012年、『スポーツ・運動生理学概説』、明和出版、9784901933247 上杉尹宏ほか、2016年、『生涯スポーツと運動の科学』、市村出版						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%		25%		25%		
補 足	足							
課題に関するフィードバックの方法		課題等に対するフィードバックは授業時間を通して行います。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		学内メール、講義にて口頭・文書などにて、または講義でアポイントを取ってください。						
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、認定トレーニング指導者_必修、アスレティックトレーナー_必修、レクリエーション・コーディネーター_選必 [健]健康運動指導士_必修						
そ の 他		前学期の「生理学」を単位修得済みであること。						

スポーツ教育学科 学 科 専 門 科 目

科 目 名		スポーツ教育学概論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		大宮 真一、上田 知行、菊地 はるひ、坂谷 充、高田 真吾、竹田 唯史、永谷 稔、松井 由紀夫、森 靖明、吉田 真					
授 業 の 目 的	ねらい	生涯スポーツ社会における、スポーツ教育の意義・役割・対象・目的・内容などの理解を深め、それらに携わる人材となるべく、関係資格取得について理解する。					
	到達目標	(1)スポーツ教育について理解する。 (2)特別支援教育、障がい者スポーツについて理解する。 (3)健康運動指導およびアスレティックトレーナーについて理解する。 (4)競技スポーツについて理解する。 (5)各種資格取得について理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義の概要について説明を行う。 (大宮真一) 【授業時間外の学修内容】 シラバスの内容を精読すること。	A・G	第9回	【テーマ】 保健体育教諭免許について 【計画内容】 保健体育教諭の役割および免許取得について理解する。(森靖明) 【授業時間外の学修内容】 保健体育教諭免許取得について学生便覧等で確認してくること。	A・G	
	第2回	【テーマ】 スポーツ教育とは 【計画内容】 スポーツ教育の内容・概要について理解する。(竹田唯史) 【授業時間外の学修内容】 スポーツ教育の意義・役割・対象・目的について調べてくこと。	A・G	第10回	【テーマ】 特別支援学校教諭免許および障害者スポーツ指導員資格について 【計画内容】 特別支援学校教諭の免許取得および障害者スポーツ指導員資格取得について理解する。 (松井由紀夫) 【授業時間外の学修内容】 特別支援学校教諭免許および障害者スポーツ指導員資格取得について学生便覧等で確認してくること。	A・G	
	第3回	【テーマ】 野外教育について 【計画内容】 野外教育の役割と実習の展開について理解する。(坂谷充) 【授業時間外の学修内容】 学生便覧等でキャンピングストラクター、キャンプディレクター2級について調べておくこと	A・G	第11回	【テーマ】 健康運動指導士資格について 【計画内容】 健康運動指導士の資格取得について理解する。(高田真吾) 【授業時間外の学修内容】 健康運動指導士の資格取得について学生便覧等で確認してくること。	A・G	
	第4回	【テーマ】 教職課程について 【計画内容】 教職課程の内容と履修方法等について理解する。(森靖明) 【授業時間外の学修内容】 学生便覧の教職課程の記載内容について調べてくこと。	A・G	第12回	【テーマ】 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者について 【計画内容】 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の役割および資格取得について理解する。(大宮真一) 【授業時間外の学修内容】 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格取得について学生便覧等で確認してくること。	A・G	
	第5回	【テーマ】 障がい者スポーツについて 【計画内容】 障がい者スポーツの内容・概要について理解する。(松井由紀夫) 【授業時間外の学修内容】 障がい者スポーツについて調べてくこと。	A・G	第13回	【テーマ】 ジュニアスポーツ指導員、幼少年体育指導について 【計画内容】 日本スポーツ協会ジュニアスポーツ指導員、その他幼少年体育指導士など子どもの指導に関わる資格について理解する。(大宮真一) 【授業時間外の学修内容】 ジュニアスポーツ指導員資格取得について学生便覧等で確認してくること。	A・G	
	第6回	【テーマ】 健康運動指導について 【計画内容】 健康運動指導の内容・概要について理解する。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 健康運動指導の内容について調べてくこと。	A・G	第14回	【テーマ】 アスレティックトレーナー資格について 【計画内容】 アスレティックトレーナーの資格取得について理解する。(吉田真) 【授業時間外の学修内容】 アスレティックトレーナーの資格取得について学生便覧等で確認してくること。	A・G	
	第7回	【テーマ】 アスレティックトレーナーについて 【計画内容】 アスレティックトレーナーの内容・概要について理解する。(吉田真) 【授業時間外の学修内容】 アスレティックトレーナーの仕事内容について調べてくこと。	A・G	第15回	【テーマ】 エアロビックコーチ1、アシスタントマネージャー資格について 【計画内容】 エアロビックコーチ1・アシスタントマネージャーの資格取得について理解する。(菊地はるひ) 【授業時間外の学修内容】 エアロビックコーチ1・アシスタントマネージャーの資格取得について学生便覧等で確認してくること。	A・G	
	第8回	【テーマ】 競技スポーツについて 【計画内容】 競技スポーツにおける「選手」に求められる資質について理解する。(永谷稔) 【授業時間外の学修内容】 選手に求められる資質について考えてくこと。	A・G				
テキスト		適宜プリントを用意します					
参 考 書		講義時に説明します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補 足							
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応		各担当教員のオフィスアワー					
資 格		[ス]公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修、レクリエーション・コーディネーター_必修					
そ の 他		適宜、課題(ミニレポート)を課します。 スポーツ教育を学ぶ学生として、また今後指導する立場になる学生として、積極的な受講姿勢であることを期待しています。					

科 目 名			基礎解剖学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			高田 真吾						
授 業 の 目 的		ねらい	人体の組織および器官がどのような構造で成り立ち、どのような機能を持っているかを理解することを目的とする。特に、身体運動の基本となる受動的運動器である骨格系と能動的運動器である筋系の形態と機能を重点的に学ぶ。						
		到達目標	(1)人体の基礎的な構造に関し、その名称と働きを理解する。 (2)身体運動に関わる構造、形態、機能を理解する。						
授 業 の 計 画		第1回	【テーマ】解剖学総論 【計画内容】解剖学の概念および細胞・組織・器官・系統・方向・面について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】解剖学の成り立ちについて理解しておくこと。	A	第9回	【テーマ】脳・神経系 【計画内容】中枢神経・末梢神経の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A		
		第2回	【テーマ】骨格系(1) 【計画内容】骨および関節の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第10回	【テーマ】循環系 【計画内容】心臓・血管の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A		
		第3回	【テーマ】骨格系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部・腹部・上肢・下肢の骨について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第11回	【テーマ】呼吸器系 【計画内容】呼吸、ガス交換の機序と肺の構造について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A		
		第4回	【テーマ】筋系(1) 【計画内容】筋および軟部組織の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第12回	【テーマ】内分泌系 【計画内容】身体の働きの調節機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A		
		第5回	【テーマ】筋系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第13回	【テーマ】感覚器系 【計画内容】感覚受容器の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A		
		第6回	【テーマ】筋系(3) 【計画内容】腹部・背部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第14回	【テーマ】消化器・泌尿器系 【計画内容】消化器・腎臓の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A		
		第7回	【テーマ】筋系(4) 【計画内容】上肢・手の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第15回	【テーマ】基礎解剖学総括・テスト 【計画内容】これまでの学習を振り返り、自己の課題を明らかにする。 【授業時間外の学修内容】テキスト・ノートを熟読し、前回までの授業内容を復習し、理解を深めておくこと。	A		
		第8回	【テーマ】筋系(5) 【計画内容】下肢・足の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A					
テキスト			細田多穂監修、2015年、『シンプル理学療法学 作業療法学シリーズ 運動器系解剖学テキスト』、南江堂						
参 考 書			竹内修二監修、2012年、『カラー図解 人体解剖の基本がわかる事典』、西東社						
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
		配分	60%		30%		10%		
課題に関するフィードバックの方法		補	足						
実務経験と授業の関連			経 験 内 容						
			科目との関連						
質問への対応			講義終了時に具体的な説明をします。						
資 格			[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修 [健]健康運動指導士_必修						
そ の 他			健康運動実践指導者、健康運動指導士、教職希望者は履修することが望ましい。人間の身体の基礎を学ぶ授業であり、学習量も多くなるので、必ず毎回の授業の復習を行って、知識を積み重ねていくことが望ましい。						

科 目 名		機能解剖学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		吉田 真						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は解剖学における人体の基本的構造の知識を基盤に、人体の運動発現がどのような仕組みで行われるのかについて筋骨格系を中心に理解を深めることを目的とする。筋骨格を構成する骨の名称、筋の名称と付着、支配神経、関節および靱帯の基本構造と機能について解説し、各種関節の基本的な関節運動について学ぶ。						
	到達目標	(1)各部位の基礎解剖と運動について理解できる。 (2)各部位の運動時に関与する骨、筋、関節、靱帯、神経支配を同定できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・機能解剖学概論 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を説明します。また、機能解剖学の概論について解説します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。また、テキスト「解剖学総論」を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】足関節、足部、足趾の解剖と運動 【計画内容】足関節、足部、足趾の機能解剖と運動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「足関節、足部、足趾」「骨格系の各論：下肢骨」「筋系の各論：下肢の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。	A・K		
	第2回	【テーマ】骨格系 【計画内容】骨と関節・靱帯について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「骨総論」と「関節・靱帯総論」を読んでおくこと。	A・K	第10回	【テーマ】頸部の解剖と運動 【計画内容】頸部の機能解剖と運動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「頸部」「骨格系の各論：脊柱」「筋系の各論：頸部の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。	A・K		
	第3回	【テーマ】筋系 【計画内容】筋について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「筋系総論」を読んでおくこと。	A・K	第11回	【テーマ】胸部、胸郭の解剖と運動 【計画内容】胸部、胸郭の機能解剖と運動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「胸部、胸郭」「骨格系の各論：脊柱」「筋系の各論：胸部の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。	A・K		
	第4回	【テーマ】肩関節の解剖と運動 【計画内容】肩関節の機能解剖と運動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「肩関節」「骨格系の各論：上肢骨」「筋系の各論：胸部の筋、上肢の筋」「神経系の末梢神経系」「循環器系の鎖骨下動脈と上肢の動脈」を読んでおくこと。	A・K	第12回	【テーマ】腰部、骨盤の解剖と運動 【計画内容】腰部、骨盤の機能解剖と運動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「腰部、骨盤」「骨格系の各論：脊柱」「筋系の各論：腹部の筋、背部の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。	A・K		
	第5回	【テーマ】肘関節の解剖と運動 【計画内容】肘関節、前腕の機能解剖と運動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「肘関節、前腕」「骨格系の各論：上肢骨」「筋系の各論：上肢の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。	A・K	第13回	【テーマ】上肢の解剖と運動 【計画内容】上肢3関節の解剖と運動について振り返ります。 【授業時間外の学修内容】テキスト「肩関節」「肘関節、前腕」「手関節、手指」「骨格系の各論：上肢骨」「筋系の各論：胸部の筋、上肢の筋」「神経系の末梢神経系」「循環器系の鎖骨下動脈と上肢の動脈」を読んでおくこと。	L		
	第6回	【テーマ】手関節、手指の解剖と運動 【計画内容】手関節、手指の機能解剖と運動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「手関節、手指」「骨格系の各論：上肢骨」「筋系の各論：上肢の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。	A・K	第14回	【テーマ】下肢の解剖と運動 【計画内容】下肢3関節の解剖と運動について振り返ります。 【授業時間外の学修内容】テキスト「股関節」「膝関節」「足関節、足部、足趾」「骨格系の各論：下肢骨」「筋系の各論：下肢の筋」「神経系の末梢神経系」「循環器系の大腿動脈と下肢の動脈」を読んでおくこと。	L		
	第7回	【テーマ】股関節の解剖と運動 【計画内容】股関節の機能解剖と運動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「股関節」「骨格系の各論：下肢骨」「筋系の各論：下肢の筋」「神経系の末梢神経系」「循環器系：大腿動脈と下肢の動脈」を読んでおくこと。	A・K	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、本講義の到達度を確認します。 【授業時間外の学修内容】第1回～第14回までの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。	L		
	第8回	【テーマ】膝関節の解剖と運動 【計画内容】膝関節の機能解剖と運動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「膝関節」「骨格系の各論：下肢骨」「筋系の各論：下肢の筋」「神経系の末梢神経系」を読んでおくこと。	A・K					
テキスト		細田多穂監修、2015年、『運動器系解剖学テキスト』、南江堂、9784524262038						
参 考 書		ドナルド・A. ニューマン(著)嶋田智明(監訳)、2012年、『筋骨格系のキネシオロジー』、医歯薬出版株式会社、9784263213957 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2010年、『公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト2 運動器の解剖と機能』、日本スポーツ協会 坂井建雄・松村譲児監訳、2016年、『プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論 / 運動器系 第3版』、医学書院、9784260025348						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			60%		40%		
課題に関するフィードバックの方法		Teams の科目チームやチャットを通して、フィードバックします。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		Teams を利用して対応します。						
資 格		[ス]認定トレーニング指導者_必修、アスレティックトレーナー_必修						
そ の 他		「基礎解剖学」を履修済みであることが望ましい。						

科 目 名			トレーニング論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			山本 敏美					
授 業 の 目 的	ねらい	体力の意義を学び、トレーニング理論と方法を学習する。対象や目的に応じた適切な身体運動のトレーニング方法の知見を広げる。その為にトレーニング全般に関する基礎理論と応用の知識を学ぶ。内容は競技スポーツ分野、フィットネス(一般)分野、高齢者から子どもに対してなどあらゆる対象に適したトレーニング方法の習得を目指す。						
	到達目標	(1)あらゆるニーズに対応したトレーニングプログラムの計画、作成することができる。 (2)トレーニングの原理原則を説明できる。 (3)トレーニングに関する正しい知識の理解と説明を行うことができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 授業の紹介を行い、15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】 トレーナーとは、その役割と仕事内容、トレーニングの基礎知識を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】 持久力向上トレーニングのプログラム作成と計画 【計画内容】 持久力向上トレーニングのプログラム作成の基本を説明し、持久力を向上させる代表的トレーニング手段、方法、計画などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第4節」、「第3章第3節」を読んでおくこと。	A		
	第2回	【テーマ】 体力とトレーニング論 【計画内容】 トレーニングと体力、指導者とはなど、トレーニングの概要について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第1章第1節」を読んでおく、体力の概念について調べておくこと。	A	第10回	【テーマ】 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成と計画 【計画内容】 スピードの概念、要因、スピード向上トレーニングの基本動作、エクササイズ、計画などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第5節」を読んでおくこと。	A		
	第3回	【テーマ】 トレーニング計画の立案と進め方 【計画内容】 トレーニングの原理・原則について説明し、トレーニングプログラム作成の全体的手順について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第1節」を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】 調整力向上トレーニングの理論と計画 【計画内容】 調整力(平衡性、巧緻性、敏捷性)の概念、トレーニングの計画について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第3章第4節」を読んでおくこと。	A		
	第4回	【テーマ】 筋力トレーニングのプログラム作成と計画① 【計画内容】 筋力トレーニングの目的と効果、プログラムを構成する要素など、筋力トレーニングのプログラムの条件設定、計画について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第2節」を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】 調整力向上トレーニングのプログラム作成 【計画内容】 ニュートンの運動3法則、体幹の定義、調整力向上トレーニングの基本動作、エクササイズについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第3章第4節」を読んでおくこと。	A		
	第5回	【テーマ】 筋力トレーニングのプログラム作成と計画② 【計画内容】 筋力トレーニングの実施に当たり、動作スピード、補助方法、呼吸法などについて学びます。また、筋肥大、筋力向上、筋持久力などトレーニング目的に応じた条件設定方法、計画についても学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第2節」を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】 柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成と計画 【計画内容】 柔軟性を規定する要因、関節可動域の制限因子、各関節可動域、ストレッチングの基礎理論、効果、方法について学びます。また、柔軟性プログラムの実施方法、ウォーミングアップとクールダウンの理論と効果、分類、方法、計画についても学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第6節」を読んでおくこと。	A		
	第6回	【テーマ】 パワー向上トレーニングの理論 【計画内容】 パワーの基本概念、力の立ち上がり率、パワー発揮様式の分類などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第3節」を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】 特別な対象のためのトレーニングとプログラム作成と計画 【計画内容】 メタボリックシンドローム、高齢者、妊婦、子どもに対するトレーニングプログラムの概念、効果、実施方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第7節」を読んでおくこと。	A		
	第7回	【テーマ】 パワー向上トレーニングのプログラム作成と計画 【計画内容】 パワー向上トレーニングのプログラム戦略、プログラム変数、反動動作における生理学的基礎、プライオメトリクスなどのパワー向上トレーニングの実施方法、計画について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第3節」、「第3章第2節」を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 これまでの講義のまとめとして内容の振り返りを行い、そしてその確認を行います。 【授業時間外の学修内容】 これまでの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。	A		
	第8回	【テーマ】 持久力向上トレーニングの理論 【計画内容】 持久力に関する基礎理論、有酸素性持久力向上トレーニング及び無酸素性持久力向上トレーニングに対する基本的な適応について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第4節」を読んでおくこと。	A					
テキスト		NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2018年、『トレーニング指導者テキスト「実践編」改訂版』、大修館書店、9784469267549						
参 考 書		公益財団法人健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%				50%		
補 足								
課題に関するフィードバックの方法		毎回の授業の最後に学習のための課題を提示し、学んだ内容の理解度を確認します。						
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	スポーツトレーナー、資格：日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者、NSCA-CSCS					
		科目との関連	スポーツトレーナーとして運動選手やスポーツ愛好家のトレーニング指導を行ってきた経験をもとに実務に即した指導を行う					
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します						
資 格		[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修						
そ の 他								

科 目 名		コーチ学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		大宮 真一、畠中 智志、竹内 雅明						
授 業 の 目 的	ねらい	日本スポーツ協会は、2016年にコーチ育成のために『モデル・コア・カリキュラム』を作成した。グッドコーチに求められる資質能力を習得するために、「人間力」と称する「思考・判断(スポーツの意義と価値の理解、コーチングの理念・哲学等)」と、「態度・行動(対自分力、対他者力)」を理解し、より良い指導方法の基礎を学習する。優れたコーチの資質、役割、技術指導方法、指導計画、評価方法、さらには、競技に応じた指導計画の方法と IT 機器の活用について学ぶ。						
	到達目標	(1)体育・スポーツ指導に関する基礎理論を理解する。 (2)指導計画、指導過程及び指導技術方法を理解する。 (3)各競技の特性を考えた指導法を理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】15回の講義内容を説明し、「コーチ学」という講義で何を学ぶかを明確にする。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておく。今回の授業内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】スキルの学習過程 【計画内容】スポーツスキルを学習させる際の留意点について考える。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G		
	第2回	【テーマ】職業の性質 【計画内容】体育教師・コーチという仕事の性質について考える。(大宮真一) 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を理解しておく。	A・G	第10回	【テーマ】競技力向上のためのチームマネジメント 【計画内容】効果的なチームマネジメント方法およびミーティング方法を考える。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G		
	第3回	【テーマ】優れたコーチの資質 【計画内容】コーチとしての考え方、心構え、個性、プレーヤーとの望ましい関係について考える。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	第11回	【テーマ】個人競技の指導方法 【計画内容】個人競技に関する指導方法について考える。(大宮真一) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G		
	第4回	【テーマ】コーチの役割について 【計画内容】コーチの役割を果たすために必要な事柄(指導計画のたて方など)を考える。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	第12回	【テーマ】個人・集団混合競技の指導方法 【計画内容】個人競技要素と集団競技要素を含む種目に関する指導方法について考える。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G		
	第5回	【テーマ】トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～ 【計画内容】指導者として成功するための着眼点、育成年代のコーチングについて考える。(大宮真一) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	第13回	【テーマ】集団競技の指導方法 【計画内容】集団競技に関する指導方法について考える。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G		
	第6回	【テーマ】スキル指導の準備・安全管理 【計画内容】スキル習得のための事前準備・安全管理について考える。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	第14回	【テーマ】指導理念および指導計画の具体化 【計画内容】自身の経験をもと理想とするコーチ理念および指導計画を作成する。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G		
	第7回	【テーマ】指導上の倫理 【計画内容】体育指導者、コーチとしてふさわしい倫理感とは何かを考える。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	第15回	【テーマ】コーチの具体的指導法まとめ 【計画内容】前回までの授業を振り返り、理解度を確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回までのノート・プリントを熟読し理解を深めておくこと。	A・G		
	第8回	【テーマ】競技スポーツと IT(情報技術) 【計画内容】スポーツに関連する情報技術・分析について考える。(大宮真一) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G					
テキスト		パワーポイントスライド資料を使用します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			70%		30%		
	補足			レポート				
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[ス]認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修						
そ の 他								

科 目 名			生涯スポーツ(水泳・水中運動)		授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名			花井 篤子、高屋敷 亨子、中村 恵、畠山 綾子					
授 業 の 目 的	ねらい	水中運動は、水の特性である水温・浮力・水圧・抵抗など陸上環境と違う環境の中で運動を行うため、年齢を問わず健康づくりに有益な効果をもたらす運動として多くの人に親しまれている。特に水泳においては技能の獲得が必要なことから、基本泳法のスキルを身につけることを第1の目的とする。また教育者・指導者育成という観点から、水泳及び水中運動の指導力を身につけることを第2の目的とする。スキルを高めるための指導プログラムはもちろんのこと、水泳及び水中運動を安全かつ効果的に行うための水の特性や運動時の体の変化等についても学ぶ。						
	到達目標	(1)水の特性と水泳・水中運動がもたらす生理的特性を理解できる。 (2)水泳の基本的スキルを身につける。 (3)水泳・水中運動の指導方法について学ぶ。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】泳力と指導方法① 【計画内容】初級はクロール(キックとブルのコンビネーション)、中級は背泳ぎドリル、上級は50m 泳力練習を学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。	E・G・L		
	第2回	【テーマ】講義：水の特性と効果、水中安全管理 【計画内容】水の特性と水泳・水中運動が身体にもたらす影響や水中安全管理について学び、テーマについてふり返り小レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第10回	【テーマ】泳力と指導方法② 【計画内容】初級はクロール(ブルと呼吸のコンビネーション)、中級はクロールドリル、上級は50m 泳力練習を学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。	E・G・L		
	第3回	【テーマ】水中運動①泳力ごとに3グループ分け 【計画内容】健康づくりのための水中運動と、水泳の技術度に応じて「初級」・「中級」(中村恵)、「上級」(高屋敷亨子)の3グループにわかれ、各クラス別に目標を設定します。初級は50m クロール、中級は50m クロール・25m 背泳ぎ・25m 平泳ぎ、上級は100m 個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】実技に臨む準備を行うこと。	E・G・L	第11回	【テーマ】泳力と指導方法③ 【計画内容】初級はクロール(トータルコンビネーション)、中級はクロールドリル・ターン、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。	E・G・L		
	第4回	【テーマ】水中運動②基礎練習(1) 【計画内容】健康づくりのための水中運動と、初級は水慣れ、中級は基本姿勢、上級はバタフライドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】初級・中級・上級のクラス到達目標を確認しておくこと。	E・G・L	第12回	【テーマ】総合練習① 【計画内容】初級は背泳ぎドリル、中級は背泳ぎ・クロール・総合練習、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。	E・G・L		
	第5回	【テーマ】水中運動③基礎練習(2) 【計画内容】健康づくりのための水中運動と、初級は呼吸練習、中級は基本動作、上級は背泳ぎドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】前回行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。	E・G・L	第13回	【テーマ】総合練習② 【計画内容】初級はターン・総合練習、中級は背泳ぎ・平泳ぎ・総合練習、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。	E・G・L		
	第6回	【テーマ】泳法と技術① 【計画内容】初級はクロール(キック動作)、中級は平泳ぎ(キック)ドリル、上級は平泳ぎドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。	E・G・L	第14回	【テーマ】総合練習③ 【計画内容】初級は背泳ぎドリル・ターン・総合練習、中級は総合練習、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。	E・G・L		
	第7回	【テーマ】泳法と技術② 【計画内容】初級はクロール(ブル動作)、中級は平泳ぎ(ブル)ドリル、上級はクロールドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。	E・G・L	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの技術の総まとめを行い、各自の泳力を確認する。 【授業時間外の学修内容】総まとめに臨む準備を行っておくこと。	E・G・L		
	第8回	【テーマ】泳法と技術③ 【計画内容】初級はクロール(呼吸動作)、中級は背泳ぎドリル、上級は50m 泳力練習を学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。	E・G・L					
テキスト		文部科学省、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 保健体育編』						
参 考 書		2016年、『新版 生涯スポーツと運動の科学』、市村出版、9784902109405C1037						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分		50%	30%		20%		
補 足								
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修						
そ の 他		生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)を履修する者は必ず履修して下さい。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。 各授業後に作成した授業のふり返りのレポートはまとめて第14回授業後に提出して下さい。						

科 目 名		生涯スポーツ(陸上競技)			授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		大宮 真一、北風 沙織、仁井 有介						
授 業 の 目 的	ねらい	陸上競技における走競技種目(短距離走・中長距離走・ハードル競走・リレー競走など)、跳躍競技種目(走幅跳・走高跳・三段跳など)、投てき競技種目(砲丸投・円盤投・やり投など)の特性を理解し、基本的な技術を習得することにより、各種目の技能向上をはかることを目標とする。						
	到達目標	(1)陸上競技各種目の基本的技術を身につける。 (2)陸上競技各種目の概要とルールを学ぶ。 (3)陸上競技各種目における技能向上の指導方法を学ぶ。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 基礎理論 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ハードル競走における概要と基礎技術(前半グループ)/走幅跳における概要と基礎技術(後半グループ) 【計画内容】ハードル競走におけるハードリング技術を学びます。(前半グループ)/走幅跳で遠くに跳ぶための原理、空中フォーム、踏切脚・リード脚の技術を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第2回	【テーマ】短距離走におけるスタートの指導方法(前半グループ)/砲丸投における概要と基礎技術(後半グループ) 【計画内容】短距離走におけるスタートダッシュの技術を学びます。(前半グループ)/投擲種目を行う際の安全に実施するための留意点を学び、砲丸投の投法および速くに飛ばすことの原理を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第10回	【テーマ】ハードル競走における技術向上の指導方法(前半グループ)/走幅跳の技術向上の指導方法(後半グループ) 【計画内容】ハードル競走に必要な体力的要因およびトレーニング方法を学びます。(前半グループ)/走幅跳の助走でのリズム、助走距離決定についての指導方法を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第3回	【テーマ】短距離走における中間疾走の指導方法(前半グループ)/砲丸投における技術向上の指導方法(後半グループ) 【計画内容】短距離走におけるピッチ・ストライドを向上させるトレーニング方法を学びます。(前半グループ)/砲丸投における速くに飛ばすためのトレーニング方法を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第11回	【テーマ】ハードル競走におけるまとめと技能評価(前半グループ)/走幅跳のまとめと技能評価(後半グループ) 【計画内容】50m ハードルのまとめと記録を測定します。(前半グループ)/走幅跳の跳躍距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第4回	【テーマ】短距離走におけるまとめと技能評価(前半グループ)/砲丸投におけるまとめと技能評価(後半グループ) 【計画内容】100m 走タイムを測定します。測定者はストップウォッチの使用法、およびスタート合図の仕方を学びます。(前半グループ)/砲丸投の投距離を測定します。投距離測定方法および競技会のルールを学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第12回	【テーマ】走幅跳における概要と基礎技術(前半グループ)/ハードル競走における概要と基礎技術(後半グループ) 【計画内容】走幅跳で遠くに跳ぶための原理、空中フォーム、踏切脚・リード脚の技術を学びます。(前半グループ)/ハードル競走におけるハードリング技術について学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第5回	【テーマ】砲丸投における概要と基礎技術(前半グループ)/短距離走におけるスタートの指導方法(後半グループ) 【計画内容】投擲種目を行う際の安全に実施するための留意点を学び、砲丸投の投法および速くに飛ばすことの原理を学びます。(前半グループ)/短距離走におけるスタートダッシュの技術を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第13回	【テーマ】走幅跳の技術向上の指導方法(前半グループ)/ハードル競走における技術向上の指導方法(後半グループ) 【計画内容】走幅跳の助走でのリズム、助走距離決定についての指導方法を学びます。(前半グループ)/ハードル競走に必要な体力的要因およびトレーニング方法を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第6回	【テーマ】砲丸投における技術向上の指導方法(前半グループ)/短距離走における中間疾走の指導方法(後半グループ) 【計画内容】砲丸投における速くに飛ばすためのトレーニング方法を学びます。(前半グループ)/短距離走におけるピッチ・ストライドを向上させるトレーニング方法を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第14回	【テーマ】走幅跳におけるまとめと技能評価(前半グループ)/ハードル競走のまとめと技能評価(後半グループ) 【計画内容】走幅跳の跳躍距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技を学びます。(前半グループ)/50m ハードルのまとめと記録を測定します。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第7回	【テーマ】砲丸投におけるまとめと技能評価(前半グループ)/短距離走におけるまとめと技能評価(後半グループ) 【計画内容】砲丸投の投距離を測定します。投距離測定方法および競技会のルールを学びます。(前半グループ)/100m 走タイムを測定します。測定者はストップウォッチの使用法、およびスタート合図の仕方を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】短距離走、砲丸投、ハードル走、走幅跳の実技における総まとめを行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第8回	【テーマ】陸上競技のルール 【計画内容】陸上競技の走、跳、投に関わる公式競技会のルールについて学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】日本陸上競技連盟の公式ルールブックを熟読すること。	K					
テキスト		必要に応じてプリントを配付します						
参 考 書		日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 基礎から身につく陸上競技初級編』、大修館書店 日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 レベルアップの陸上競技上級編』、大修館書店 日本陸上競技学会、2020年、『陸上競技のコーチング学』、大修館書店						
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		30%	30%	
	補足			レポート(Forms)		平時	技能到達度	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	経 験 内 容							
	科目との関連							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		競技種目の順序・内容は変更することもあります。 雨天時は、アリーナ研修室へ集合のこと。必ず室内シューズも用意すること(屋外シューズの代用不可)。 「生涯スポーツ指導演習(陸上競技)」を履修する者は必ず履修してください。						

科 目 名		生涯スポーツ(エアロビック)		授業形態		実技		単 位 数		1	
教 員 名		是枝 亮									
授 業 の 目 的	ねらい	エアロビックは、健康体力づくりを目的とした有酸素運動であるだけでなく、明確で多様な動きの身体表現と技術の向上を楽しむスポーツとしても発展してきている。授業では、エアロビックの基礎理論を学ぶとともに、基本動作を段階的に学習し、音楽にあわせてリズムカルに身体を動かす楽しさを体験する。エアロビックの基本技術、基礎技術を身につけることにより、生涯スポーツとして幅広く親しまれているエアロビックの特性を理解することをねらいとする。									
	到達目標	(1)エアロビックの基本動作を段階的に学習し、明確な動きを行う。 (2)エアロビックのプログラムの基本構成を理解する。 (3)複数で行うエアロビックの発表を通し、表現スポーツとしての理解を深める。									
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス・エアロビック総論 【計画内容】エアロビックの歴史と特性、指導者の資格と役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	E・K	第9回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(5) 【計画内容】音楽、動きのリズム構成に対する理解を深め、リズム変化を伴った基本動作を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K					
	第2回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と実際(1) 【計画内容】エアロビックのプログラム構成と基本姿勢、基本の動きについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第10回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(6) 【計画内容】多様な動きをリズムカルに動く技術およびストレッチングの方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K					
	第3回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と実践(2) 【計画内容】エアロビックの運動強度およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第11回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(7) 【計画内容】多様な動きで作られたルーティンを明確に行う技術を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K					
	第4回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と実践(3) 【計画内容】ウォームアップとクールダウンの意義および音楽の選択について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第12回	【テーマ】チームパフォーマンスの構成(1) 【計画内容】複数で行うエアロビックの基本を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・H・K					
	第5回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(1) 【計画内容】下肢の基本動作、動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第13回	【テーマ】チームパフォーマンスの構成(2) 【計画内容】複数で行うエアロビックを創作する。 【授業時間外の学修内容】前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・H・K					
	第6回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(2) 【計画内容】上肢下肢の組み合わせによる基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第14回	【テーマ】チームパフォーマンスの構成(3) 【計画内容】複数で行うエアロビックを表現スポーツとして完成度を高める。 【授業時間外の学修内容】前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・H・K					
	第7回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(3) 【計画内容】上肢と下肢の複雑な動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第15回	【テーマ】まとめとチームパフォーマンスの発表 【計画内容】実技課題の確認と発表を行う。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容について十分に復習し、チームパフォーマンスを発表する準備をしておくこと。	E・F・H・L					
	第8回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(4) 【計画内容】方向転換、移動を伴った基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K								
テキスト		プリントを使用します									
参 考 書		1995年、『エアロビック指導教本』、(公社)日本エアロビック連盟 1999年、『新・エアロビックダンスエクササイズの実技指導』、(公社)日本フィットネス協会									
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他				
	配 分 補 足		60%	20%		20%					
課題に関するフィードバックの方法											
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	日本スポーツ協会公認エアロビックコーチ4								
		科目との関連	指導経験、資格を活かし、専門知識・技能を教授する。								
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します									
資 格		[ス]健康運動実践指導者_必修、エアロビックコーチ1_必修 [健]健康運動実践指導者_必修									
そ の 他		「生涯スポーツ指導演習(エアロビック)」は、この授業を履修していなければ受講できない。 健康運動指導士取得希望者は履修すること。教職(保健体育)希望者は履修することが望ましい。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。									

科 目 名		生涯スポーツ(バドミントン)			授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		竹内 雅明、北村 優明						
授 業 の 目 的	ねらい	軽スポーツの領域の特徴を生かした内容を盛り込み、その種目の楽しさと効用について理解ならびに初級程度の技術から中級程度の技術を体系的に習得し、その指導法に関する知識を身につけます。また、基本的な審判法、競技運営規則を理解した上、大会の企画・運営方法・授業展開についても学びます。						
	到達目標	(1)基礎知識を理解し、練習により基礎技能を習得する。 (2)学習上のマナーを理解し、指導者としての安全管理を身につける。 (3)審判法、競技規則が理解できる。 (4)大会の企画・運営方法が理解できる。 (5)指導者としての視点に立ち、授業における進め方の理解と流れ等、指導法を習得する。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 15回の授業内容と、ねらい、到達目標、受講上の注意点について説明し、バドミントンの特性及び指導者としての心構えについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A		第9回	【テーマ】 指導法(2) 【計画内容】 中学校における授業展開法(トリプルス導入による活用法)を学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E	
	第2回	【テーマ】 競技の特性と歴史 【計画内容】 課題整理・実践ノートの作成と活用及び競技の特性と歴史を学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	A・E		第10回	【テーマ】 指導法(3) 【計画内容】 中学校における授業展開法(トリプルス導入によるタイマーの活用法)を学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E	
	第3回	【テーマ】 競技場の設置方法及び初級技術の指導(1) 【計画内容】 競技場に関する規則を理解し、用具の企画、用具の準備、競技場の作り方、ラケットワーク、フットワーク、ストロークを学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E		第11回	【テーマ】 指導法(4) 【計画内容】 高等学校におけるバドミントン教材のゲーム運営の工夫等、授業展開について学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E	
	第4回	【テーマ】 初級技術の指導(2) 【計画内容】 ラケットワーク、フットワーク、ストロークを学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E		第12回	【テーマ】 指導法(5) 【計画内容】 高等学校におけるバドミントン教材のゲーム運営の工夫等、授業展開について学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E	
	第5回	【テーマ】 初級技術の指導(3) 【計画内容】 トリプルス導入による実戦に近いストロークを学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E		第13回	【テーマ】 ゲーム運営法(1) 【計画内容】 国内外で開催されている大会を基準とした大会運営法を学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E	
	第6回	【テーマ】 中級技術の指導(1) 【計画内容】 トリプルス導入による各種ストロークの反復練習による技術の上達過程を学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E		第14回	【テーマ】 ゲーム運営法(2) 【計画内容】 ローカル大会など状況に応じた大会運営法を学びます。 【授業時間外の学修内容】 理解・習得の進んでいない課題を整理しておくこと。	E	
	第7回	【テーマ】 中級技術の指導(2) 【計画内容】 サービス(ショート・ロング)及びネットを挟んでの前後・左右の打ち分け方を学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E		第15回	【テーマ】 技術確認とまとめ 【計画内容】 これまで学んできた技術について確認し、学習ノートを作成させ、今後の課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】 配付されたプリント(特に技術・ルール等について)を熟読し理解しておくこと。	E・L	
	第8回	【テーマ】 指導法(1) 【計画内容】 競技運営と規則、審判法、スコアシートの記入法等について学びます。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。	E					
テキスト		(財)日本バドミントン協会、2020年、『2020-2021 BADMINTON 競技規則(諸規程集)』、(財)日本バドミントン協会 (財)日本バドミントン協会、2008年、『見てうまくなるバドミントン教本』、(財)日本バドミントン協会 その他講義時に説明する						
参 考 書		矢部京之助ほか、2004年、『アダブテッド・スポーツの科学』、市村出版、4902109018 小島一夫、2009年、『バドミントン世界 TOP20のワザとシカケ』、講談社、9784062950077 文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領解説 保健体育編』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分		50%	20%		30%		
	補 足		最終	平時		平時		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に連絡手段等を具体的に説明します。						
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_選択						
そ の 他		本講義は、北方圏生涯スポーツ研究センターの被験授業です。 第15回で学習ノートを完成、返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。 第16回に最終評価のための実技テストを行います。 新型コロナウイルス等の影響で授業の計画が変更となる可能性があります。						

科 目 名		生涯スポーツ(バレーボール)				授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		永谷 稔、長尾 明也							
授 業 の 目 的	ねらい	バレーボールにおける基礎からゲームに至るまでのさまざまな技術や方法を実践し、自らの技術向上のみならず、指導方法についても身につけたい。そして、最低限のプレー技術を習得するとともに、ルールや歴史の変遷、審判法についても学習し、教養を深め、何よりチームスポーツの素晴らしさを体得したい。							
	到達目標	(1)オーバーハンド・アンダーハンドパスなどの基礎技術において、一定レベルまでの到達。 (2)ローテーションやフォーメーションの理解。 (3)ルールの理解と審判法の習得。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本実技の紹介をし、15回の展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】バレーボールの特性を理解しておくこと。	E	第9回	【テーマ】ブロックの構え、動き 【計画内容】ブロックの構えおよびその動き。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第2回	【テーマ】ボール慣れの練習 【計画内容】バレーボールを使ってボール慣れの練習。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第10回	【テーマ】ブロックの練習方法 【計画内容】ブロックの練習方法とその実践。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第3回	【テーマ】オーバー・アンダーハンドパスの構え、動き 【計画内容】基本的なパスとトスの構えおよびその動き。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第11回	【テーマ】サービスの種類、練習 【計画内容】サービスの種類およびその練習。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第4回	【テーマ】パスとトスの練習方法 【計画内容】パスとトスの練習方法の実践。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第12回	【テーマ】守備のフォーメーション 【計画内容】守備フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第5回	【テーマ】スパイクの種類、動き 【計画内容】基本的なスパイクの種類およびその動き。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第13回	【テーマ】攻撃のフォーメーション 【計画内容】攻撃フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第6回	【テーマ】スパイクの練習方法 【計画内容】スパイクの練習方法の実践。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第14回	【テーマ】ルールと審判法 【計画内容】ルールと審判法について、実践を交えて解説。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第7回	【テーマ】レシーブの構え、動き 【計画内容】基本的なレシーブの構えおよびその動き。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第15回	【テーマ】まとめとふりかえり 【計画内容】まとめとして実技スキルの確認とふりかえりを行う。 【授業時間外の学修内容】本実技のふりかえり、スキル向上確認を行う。	E			
	第8回	【テーマ】レシーブの練習方法 【計画内容】レシーブの練習方法の実践。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E						
テキスト		必要に応じて資料やプリントを配付します							
参 考 書		日本バレーボール協会、2019年、『バレーボール6人制競技規則(ルールブック)』、日本バレーボール協会 必要に応じて資料やプリントを配付します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分	25%	50%			25%			
補 足									
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回授業時に具体的に説明します							
資 格									
そ の 他		上級者は示範など積極的に行うこと。適宜ゲームを行うが、チームスポーツとして協調性やチームワークを尊重すること。最低限のルール理解やゲーム運営に必要な知識は身につけること。 第16回に確認試験を実施する。教職必修である3年次開講の「生涯スポーツ指導演習(バレーボール)」を履修する者は、必ず履修すること。							

科 目 名		生涯スポーツ(バスケットボール)			授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		畠中 智志、横山 茜理						
授 業 の 目 的	ねらい	授業の目的は、1)バス・ドリブル・シュートなどの基礎技術を習得すること、2)バスケットボールのルールや審判法について理解を深めること、3)試合を楽しみ生涯スポーツにつなげることである。						
	到達目標	(1)24秒間のゴール下のシュートで一定の基準数を越える。 (2)サークルを使ったドリブルシュートを左右連続して決める。 (3)バスケットボールのルールと審判法を理解する。 (4)チームで戦略を考え、協力して試合に臨むことができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスとコーディネーション 【計画内容】バスケットボールに慣れるためにコーディネーションを行う。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	E	第9回	【テーマ】チームオフェンスの学習 【計画内容】3×3(スリー・エックス・スリー)の攻防を通して、チームオフェンスの基本を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習する。	E		
	第2回	【テーマ】ドリブル技術の習得 【計画内容】ドリブルの技術習得に関する様々な練習を行う。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習する。	E	第10回	【テーマ】チーム対抗形式の試合① 【計画内容】バスケットボールのルールを確認してから試合を行う。 【授業時間外の学修内容】バスケットボールのルールについて予習する。	E		
	第3回	【テーマ】シュート技術の習得① 【計画内容】ゴール下シュートとレイアップシュートの技術習得。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習する。	E	第11回	【テーマ】チーム対抗形式の試合② 【計画内容】マンツーマン・ディフェンスの基本を学習する。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習する。	E		
	第4回	【テーマ】シュート技術の習得② 【計画内容】前回のシュート技術の復習とセットシュートの練習。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習する。	E	第12回	【テーマ】チーム対抗形式の試合③ 【計画内容】審判法の学習。 【授業時間外の学修内容】審判法について予習する。	E		
	第5回	【テーマ】動きのなかでのパス技術の習得 【計画内容】様々なパス技術に関する練習を行う。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習する。	E	第13回	【テーマ】チーム対抗形式の試合④ 【計画内容】学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習する。	E		
	第6回	【テーマ】1対1の攻防とリバウンド技術の習得 【計画内容】様々な状況における1対1の練習とリバウンド練習。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習する。	E	第14回	【テーマ】チーム対抗形式の試合⑤ 【計画内容】学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習する。	E		
	第7回	【テーマ】速攻とアウトナンバー(攻撃側の数的有利な状況)の攻め方 【計画内容】速攻と2対1や3対2の練習。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習する。	E	第15回	【テーマ】チーム対抗形式の試合⑥ 【計画内容】学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習の振り返りを復習する。	E		
	第8回	【テーマ】これまでの授業内容の復習と確認 【計画内容】ゴール下シュートとドリブルレイアップシュートの技能達成度について確認する。 【授業時間外の学修内容】ゴール下シュートとレイアップシュートについて復習する。	E					
テキスト		適宜資料を配付します						
参 考 書		文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房 日本バスケットボール協会、2020年、『2020～バスケットボール競技規則』、セキ出版社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分		50%			50%		
	補 足							
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回授業時に説明します						
資 格								
そ の 他		初回から実技を行う予定であり、指定ジャージと室内シューズを準備してください。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。教職必修である3年次開講の「生涯スポーツ指導演習(バスケットボール)」を履修する者は必ず履修すること。						

科 目 名	冬季スポーツボランティア実習				授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名	佐々木 優、竹田 唯史							
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、冬季スポーツイベントのボランティアを実施することにより、事業の企画運営について学ぶとともに、参加者への対応などを身に着け、実践力の育成を図る。						
	到達目標	(1)冬季スポーツイベントの運営能力を身に付ける。 (2)参加者への対応方法について学ぶ。 (3)地域貢献、ボランティアの概念を理解する。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 第1回：ガイダンス1 授業概要の説明 第2回：ガイダンス2 冬季スポーツイベントの理解 第3回：ガイダンス3 冬季スポーツイベントにおけるボランティア方法の理解 第4回～第8回：事前ボランティア 冬季スポーツイベントに参加し冬季スポーツイベントのボランティア方法を学ぶ。(5時間×2回) 第9回～第28回：冬季スポーツ競技会におけるボランティア 冬季スポーツイベントにおいてボランティアを実施する。(40時間) 第29回・第30回：報告会 実施したボランティア活動について報告し、学習者で共有する。 【レポート課題】 ・履修者全員の必修とする。 ・レポートは報告書として編集作成し、関係者に配付する。 【授業時間外の学修内容】 ボランティアの必要性、心構えなどについて考えてくる。							D
テキスト	プリントを使用します							
参 考 書	随時各教員から指示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	50%					50%	
	補 足						レポート	
課題に関するフィードバックの方法	課題実施後に解説します。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	E-Mail(竹田):take@hokusho-u.ac.jp							
資 格								
そ の 他	冬季種目での運営ボランティアや、小学校でのスキー指導ボランティアを実施します。 前学期にオリエンテーションを実施するので、掲示に注意してください。							

科 目 名 特別支援教育総論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名 瀧澤 聡、佐藤 至英、松井 由紀夫、石川 大、石塚 誠之、磯貝 隆之						
授 業 の 目 的	ねらい	はじめに、特殊教育から特別支援教育へ大きく変化した教育の流れについて学ぶ。特別支援教育はこれまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的に遅れない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。 本講義では、「障害」との捉え方や様々な障害種に対応した特別支援教育の在り方と諸課題について学ぶ。				
	到達目標	(1)「障害」、「差別」について理解する。 (2)各障害における特別支援教育の内容と諸課題について理解する。				
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】特別支援教育の諸課題について、全体像を説明し、15回の講義展開を具体的に説明する。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】聴覚障害の特別支援学校の教育 【計画内容】口話法、手話法(日本語対应手話、日本手話)など多様なコミュニケーションの指導の在り方について学ぶ。(佐藤至英) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】障害者差別と特別支援教育の歴史 【計画内容】「障害」者差別を克服するための一翼を担う特別支援教育の歴史について学ぶ。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】重度・重複障害児の教育 【計画内容】特別支援学校に在籍している児童生徒の障害の重度・重複化、多様化の現状と指導上の諸課題について学ぶ。(松井由紀夫) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】特別支援教育の場 【計画内容】特別支援学校や特別支援学級、通級指導における指導・支援の在り方や、通常の学級における発達障害のある児童生徒の指導、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方について学ぶ。(磯貝隆之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】発達障害の理解と通常の学級における特別支援教育の在り方 【計画内容】通常の学級に在籍している発達障害のある児童生徒の支援の在り方について学ぶ。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】特別支援学級の教育 【計画内容】小中学校に併設される特別支援学級の種類や機能、教育の在り方について学校現場における実際の取り組みから学ぶ。(磯貝隆之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】学習障害児への指導・支援 【計画内容】学習障害児の認知特性に応じた指導法・支援の在り方について事例をもとに学ぶ。(石塚誠之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】知的障害の特別支援学校の教育 【計画内容】重度・重複化、多様化している知的障害の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(磯貝隆之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】親の支援の在り方と寄宿舎教育 【計画内容】親の不安、疑問、ストレス、育児不安など様々な課題をかかえた親の支援の在り方について学ぶ。あわせて寄宿舎教育の役割について学ぶ。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】肢体不自由の特別支援学校の教育 【計画内容】重度・重複化、複雑化している肢体不自由の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(松井由紀夫) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】共生社会、ボランティア活動の在り方 【計画内容】障害の有無やその他の個々の違いを認識し、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成、ボランティア活動の在り方について学ぶ。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】病弱の特別支援学校の教育 【計画内容】入院期間の短期化、入退院の繰り返しなど、学習の空白に対応する病弱の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(松井由紀夫) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】様々な期待と課題のある特別支援教育の在り方について振り返りをし、再確認する。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】視覚障害の特別支援学校の教育 【計画内容】全盲、弱視に対する点字や白杖の指導の在り方など視覚障害の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A			
テキスト		プリントを使用します。				
参 考 書		文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚園・小学部・中学部)』、開隆堂出版、4304042297				
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度
	配分	85%				15%
課題に関するフィードバックの方法						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容				
		科目との関連				
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。				
資 格		[ス][教]特支1種_必修				
そ の 他						

科 目 名			アスレティックトレーナー概論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			吉田 真						
授 業 の 目 的	ねらい	本科目では、日本におけるアスレティックトレーナーの歴史について諸外国におけるアスレティックトレーナーに相当する制度と比較しながら、本邦におけるアスレティックトレーナーの社会的位置づけやスポーツ現場におけるチームスタッフ内での位置づけを解説する。さらにアスレティックトレーナーとして活動する上での役割、医科学スタッフの役割や連携・協力の重要性、アスレティックトレーナーチームとしての組織の運営と管理、そして倫理について理解することを目的とする。							
	到達目標	(1)アスレティックトレーナーの役割を理解できる。 (2)アスレティックトレーナー養成の歴史的背景や世界の状況を理解できる。 (3)アスレティックトレーナーの具体的な業務を理解できる。 (4)他の専門スタッフとの連携協力の意義と体制について理解できる。 (5)組織の運営及び管理能力を養うことを理解し、社会的な秩序や倫理規定を理解できる。							
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を説明します。また、アスレティックトレーナーという専門職の社会的位置づけについて概要を学びます。 【授業時間外の学修内容】アスレティックトレーナーの仕事について調べてくること。	A	第9回	【テーマ】スポーツドクターおよびコーチとの連携・協力 【計画内容】スポーツドクターおよびコーチとの連携・協力について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「スポーツドクターとの連携・協力」「コーチとの連携・協力」を読んでおくこと。	A・G			
	第2回	【テーマ】アスレティックトレーナーとは 【計画内容】アスレティックトレーナー制度の歴史、日本・諸外国におけるアスレティックトレーナー制度について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「アスレティックトレーナーとは」を読んでおくこと。	A・G	第10回	【テーマ】アスレティックトレーナーの組織と運営 【計画内容】アスレティックトレーナーの組織と運営について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「アスレティックトレーナーの組織と運営」を読んでおくこと。	A・G			
	第3回	【テーマ】アスレティックトレーナーの任務・役割・業務 【計画内容】アスレティックトレーナーの任務・役割・業務について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「アスレティックトレーナーの任務と役割」「アスレティックトレーナーの業務」を読んでおくこと。	A・G	第11回	【テーマ】競技者におけるコンディショニングに関するデータの管理 【計画内容】競技者におけるコンディショニングに関するデータの管理について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技者におけるコンディショニングに関するデータの管理」を読んでおくこと。	A・G			
	第4回	【テーマ】アスレティックトレーナーの活動 【計画内容】アスレティックトレーナーの活動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「アスレティックトレーナーの活動」を読んでおくこと。	A・G	第12回	【テーマ】アスレティックトレーナーと倫理 【計画内容】アスレティックトレーナーと倫理について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「アスレティックトレーナーと倫理」を読んでおくこと。	A・G			
	第5回	【テーマ】競技別アスレティックトレーナーの活動1 【計画内容】競技別アスレティックトレーナーの活動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「アスレティックトレーナーの活動」を読んでおくこと。	A・G	第13回	【テーマ】グループディスカッション2 【計画内容】医科学スタッフとの連携・協力、組織の運営と管理についてグループディスカッションを行います。 【授業時間外の学修内容】第8回～第12回までの講義内容を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	G・H			
	第6回	【テーマ】競技別アスレティックトレーナーの活動2 【計画内容】競技別アスレティックトレーナーの活動について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「アスレティックトレーナーの活動」を読んでおくこと。	A・G	第14回	【テーマ】アスレティックトレーナーの今後の展望 【計画内容】アスレティックトレーナーの学術レベル、技能レベル、社会的認知度の向上を図るために、今後どのような取組が必要となるかについて議論します。 【授業時間外の学修内容】専門雑誌あるいは図書などから情報収集をすること。	A・G			
	第7回	【テーマ】グループディスカッション1 【計画内容】アスレティックトレーナーの役割についてグループディスカッションを行います。 【授業時間外の学修内容】第2回～第6回までの講義内容を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	G・H	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、本科目の到達度を確認します。 【授業時間外の学修内容】第1回～第14回までの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。	L			
	第8回	【テーマ】医科学スタッフの構成と役割 【計画内容】医科学スタッフの構成と役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「医科学スタッフの構成と役割」を読んでおくこと。	A・G						
テキスト	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2007年、『公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト1 アスレティックトレーナーの役割』、日本スポーツ協会								
参 考 書	講義時に説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分	30%		30%		40%			
	補 足								
課題に関するフィードバックの方法	Teamsの科目チームやチャットを通して、フィードバックします。								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応	オフィスアワーの時間帯に953研究室にて対応します								
資 格	[ス]アスレティックトレーナー_必修								
そ の 他	テキストの購入は次の URL を参照の上、各自で購入してください。 https://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid677.html 日本スポーツ協会 HP: トップページ＞ 広報・出版・ビデオ＞ 指導者用テキスト・書籍 前回の課題を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。								

教科及び 教職に関する科目

科 目 名			教育原理		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			堂徳 将人					
授 業 の 目 的	ねらい	これまでの教育の歴史や思想を概観し、教育の基本的概念・理念を学ぶとともに、教育・学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを学ぶ。						
	到達目標	(1)教育の基本的概念を身に付け、教育を成り立たせる諸要因との関係を説明することができる。 (2)教育の歴史の基礎知識を身に付け、それらと多様な教育理念・教育との関わり及び教育・学校の変遷を説明することができる。 (3)教育に関する思想や理念、それらと今日の教育・学校との関わりについて理解することができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】教育を学ぶ意義と学校の役割について 【計画内容】胎児及び小児、少年の発達過程を理解し、教育を学ぶ意義、学校の果たすべき役割について考えをまとめる。 【授業時間外の学修内容】テキストのはじめにを読み、感想をまとめておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】教育基本法の理念と教育の目的・目標について 【計画内容】法律主義の意味を理解したうえで、教育基本法の各条文から教育の理念、その目的・目標、教育の果たすべき役割を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教育基本法の条文を読んでおくこと。	J・K		
	第2回	【テーマ】教育の基本概念と教育の必要性について 【計画内容】子どもの成長の記録から教育の重要性・必要性を理解し、教育の基本概念を考える。また自己のライフストーリーをみつめ、そのなかでの教育の果たす意義・必要性を考える。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	A・L	第10回	【テーマ】教育制度の成立と展開について 【計画内容】ドイツ、アメリカ等の教育制度を理解し、日本の教育制度の変遷と教育行政(教育委員会)の仕組みを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	G・K		
	第3回	【テーマ】教育の目標、義務としての教育について 【計画内容】教育の目標、教育の義務の必要性を教育思想を踏まえて考え、教育が必要となった理由及び教育に義務が生じた理由を、その過程・歴史を踏まえて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	G・K	第11回	【テーマ】現代社会における教育の課題について(1) 教育課程と課題 【計画内容】学校の教育課程の変遷を概観し、今日の教育の基盤である「生きる力」の内容を理解する。また今日の教育改革の動向や学校の新しい方向性を踏まえながら、そこに横たわる課題を考える。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	G・L		
	第4回	【テーマ】日本の教育の歴史について(1) 終戦まで 【計画内容】明治5年までの教育、明治・大正・昭和初期の教育に関する政策・制度、教育内容の特徴を理解する。また教育勅語の内容と当時の教育のあり方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	G・K	第12回	【テーマ】現代社会における教育の課題について(2) 今日の課題 【計画内容】教育や学校が抱える今日の課題として、子どもの貧困、支援を要する子ども(特別支援教育の充実)、教員の多忙(チーム学校の必要性)の問題を取り上げ、その内容を理解し、解決の方策を考える。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	G・L		
	第5回	【テーマ】日本の教育の歴史について(2) 戦後から現在まで 【計画内容】戦後から高度成長期、現在に至るまでの教育政策・制度と教育内容の特徴を、教育を受ける権利と義務を視点として学ぶ。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	G・K	第13回	【テーマ】子ども・家庭・地域・学校と相互関係について 【計画内容】今日の地域や家庭が抱える課題を理解したうえで、地域・家庭と学校との相互関係について学ぶ。また学校が地域・家庭に理解されるための連携等の方策を考える。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	J		
	第6回	【テーマ】教育思想と子どもの権利について(1) 子どもの発見、産業革命と子どもの生活 【計画内容】子どもの発見、産業革命と子どもの生活を概観したうえで、フレーベル等の教育思想について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	G・J	第14回	【テーマ】教師・子どもとの相互関係について 【計画内容】教育実践における教師と児童生徒との係りから、教員育成指標を含めながら、教育の理念を考える。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	G・K		
	第7回	【テーマ】教育思想と子どもの権利について(2) 新教育運動と子どもの権利 【計画内容】新教育運動などの教育思想・思想家を概観し、人権思想の高まり(世界人権宣言他)を理解したうえで、子どもに関する権利条約の内容、基本的理念を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】当該講義のテキストを読んでおくこと。	G・J	第15回	【テーマ】教育の理念と学校教育について 【計画内容】教育は「子どもの未来をつくるため」に必要な不可欠であることを理解し、「教育とはなにか」について考える。またこの授業で学んだことを、振り返りまとめる。 【授業時間外の学修内容】まとめのレポートを作成すること。	G・L		
	第8回	【テーマ】教育を受ける権利について 【計画内容】日本国憲法における教育に係る条文を確認し、教育を受ける権利、平等主義、個人の尊重他を理解する。また、権利と義務の関係、権利の意味を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日本国憲法の該当条文を確認しておくこと。	G・L					
テキスト		佐々木正治、2019年、『新中等教育原理』、福村出版株式会社、9784571101885 文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領』 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領』						
参 考 書		堂徳将人編著、2019年、『社会に開かれた教育課程を実現する高校』、学事出版、9784761925864						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	70%		10%		20%		
補 足								
課題に関するフィードバックの方法		課題プリントやレポートの作成・提出を指示し、その内容についての講評を行う。						
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	道立高校教諭・校長、道教委、道立教育研究所					
		科目との関連	教育の原理を講じるに当たり、これらの経験を活かし、理論と実践の往還を図って教授する。					
質問への対応		講義終了後に質問に対応する。また、課題レポートへの質問などには、講義中に講評する。						
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修						
そ の 他		授業への出席と受講への意欲、授業中に提出する課題プリントやレポートなどに積極的に取り組むこと。出席登録を忘れないこと。						

科 目 名		教職概論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		西村 貴之						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、教職の社会的意義・職務内容(チーム学校運営を含む)について理解を深め、教師の役割・資質能力を身に付けることを目標にします。また、この講義を通して適性の判断を履修者自らが考え、教職を目指すかどうか見極める機会とします。						
	到達目標	(1)教職の社会的意義、教師の具体的職務内容・義務を理解できる。 (2)教師の役割と資質能力を理解し、自らの適性について自覚を持てる。 (3)多職種連携の必要性を理解できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の全体像を説明します。また教職課程の履修をはじめるにあたって、聴講するにあたっての態度の留意点等を説明します。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A	第9回	【テーマ】教育の仕事⑤ 【計画内容】教科教育「保健」に関して、自分たちが受けてきた保健の授業をふり振り返りながら、どのように実践したらいいいのか理論と指導案の事例を通して考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A		
	第2回	【テーマ】公教育と教師という専門職の誕生 【計画内容】公教育制度の社会的意義と子どもの教育に関わる専門職である教師の存在意義について考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】教科等における見方・考え方 【計画内容】新学習指導要領で求められる教科等の「見方・考え方」について、教科教育と学問との関係から学びます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A		
	第3回	【テーマ】子どもを取り巻く社会情勢と学校教育の関連 【計画内容】教育がどのように社会の変容と関連しながら営まれているのかについて考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A	第11回	【テーマ】教育とは何か 【計画内容】教師はメタ思考によって自らの教育実践を反省的にふり返ることの重要性を学びます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A		
	第4回	【テーマ】今日の教師の仕事・学校における役割 【計画内容】教師の職務内容の理解と、働き方についての現状と課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A	第12回	【テーマ】チームとしての学校を考える 【計画内容】複雑化・多様化した教育課題に対応していくために「チームとしての学校」という在り方について考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A		
	第5回	【テーマ】教師の仕事① 【計画内容】教師の専心すべき仕事である学習指導に関して、授業とは何かを考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A	第13回	【テーマ】教師の服務と身分保障 【計画内容】教育基本法、学校教育法、地方公務員法ならびに教育公務員特例法などに触れながら、教員の服務や身分保障について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A		
	第6回	【テーマ】教師の仕事② 【計画内容】教師の専心すべき仕事である生徒指導について、子ども理解を関連させて考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A	第14回	【テーマ】子どもの抱える現代的課題 【計画内容】子どもの貧困や教育格差といった子どもの抱える現代的課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A		
	第7回	【テーマ】教師の仕事③ 【計画内容】教科教育「体育」に関して、現代社会における学校体育の役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A	第15回	【テーマ】授業全体のふり振り返り 【計画内容】教員や教育についての理解を確認しながら2年次以降の養成の学びに向かうように授業全体のふり振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を見直し授業に臨むこと。	A		
	第8回	【テーマ】教育の仕事④ 【計画内容】教科教育「体育」に関して、運動能力や生育環境の異なる一人ひとりにあわせた授業とはどのように実践できるのかについて考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された課題に取り組むこと。	A					
テキスト		適宜プリントを配付します。						
参 考 書		文部科学省、『中学校学習指導要領』 文部科学省、『高等学校学習指導要領』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足	80%				20%		
課題に関するフィードバックの方法		課題については適宜講義中に解説をする。試験の結果については次回の講義にて出題意図などの解説を行い理解を深める。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		オフィスアワーと Teams による質問を受け付けます。詳しくは初回講義時に説明します。						
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修						
そ の 他		この授業では、教員という職業の適性を自分自身で見極める機会になります。また、これまでの自分自身が受けてきた学校教育の内容・方法・評価といった在り方を相対化する作業に努めてもらいます。						

科 目 名		教育心理学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		西塚 拓海					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、教育心理学領域の基礎理論や最新の知見を通じて、児童生徒の心理を多角的に理解するための理論的枠組みを解説し、教育心理学を応用した教育実践の具体的な方法およびその評価プロセスについて理解を深める。少子化や格差などの今後の社会的課題との接点や多様なニーズに応じた教育実践を行うための引き出しを備えることを目的とする。					
	到達目標	(1)教育心理学に関する基礎的な用語を説明できる。 (2)児童生徒の心の発達過程を理論的な枠組みを用いて説明できる。 (3)行動問題や障害を個人と環境の相互作用の観点から理解できる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】教育心理学とは何かを概観し、15回の授業展開、成績評価について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】児童期の発達 【計画内容】社会性、仲間関係の発達について、認知発達の観点から理解を深め、社会性を伸ばす教育実践を学びます。 【授業時間外の学修内容】学んだ内容と自身の経験との重なりについて家族などと理解を深める学習を推奨します。	A	
	第2回	【テーマ】学習の行動理論的アプローチ 【計画内容】古典的条件づけ、オペラント条件づけについて学び、ヒトの行動の学習形態に関する理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】学んだ内容と自身の経験との重なりについて理解を深める学習を推奨します。	A	第10回	【テーマ】青年期の発達 【計画内容】道徳性、アイデンティティの発達について理解を深め、高校生を対象とした心理的援助の実践を学びます。 【授業時間外の学修内容】自身や友人の経験と本回で学んだ内容との重なりについて理解を深める学習を推奨します。	A	
	第3回	【テーマ】学習への認知論的アプローチ 【計画内容】情報処理過程、記憶の構造について学び、簡単な認知実験を通じて、ヒトの認知過程に関する理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】学んだ内容と自身の経験との重なりについて理解を深める学習を推奨します。	A	第11回	【テーマ】教師と児童生徒 【計画内容】学級集団の構造、カウンセリング技術、コーチングについて学び、教師や指導者に求められるコミュニケーションを考えます。 【授業時間外の学修内容】自分が教える立場になった体験などを振り返り学習内容について振り返る学習を推奨します。	A	
	第4回	【テーマ】個人差 【計画内容】パーソナリティ、知能について、心理テストや心理検査を通じて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】個人差と共通性(一貫性)のそれぞれのメリット・デメリットについて理解する学習を推奨します。	A	第12回	【テーマ】学校生活への不適応 【計画内容】不登校、いじめなどの学校不適応の実態について理解を深め、事例に基づいて支援の組み立て方を学びます。 【授業時間外の学修内容】実際の対応方法やリスク評価、支援のあり方について知識を広げる学習を推奨します。	A	
	第5回	【テーマ】動機づけ 【計画内容】多様な動機づけ理論を学び、外発的動機づけと内発的動機づけの違い、帰属について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】学んだ内容と自身の経験との重なりについて理解を深める学習を推奨します。	A	第13回	【テーマ】発達障害の理解と支援 【計画内容】障害の定義やインクルーシブ教育の発想について理解を深め、合理的配慮の多様な実践例を学びます。 【授業時間外の学修内容】広がりを見せる教育のニーズと発達障害の支援について時事的な事柄とのつながりで考える学習を推奨します。	A	
	第6回	【テーマ】学習過程 【計画内容】学習方略や適性処遇交互作用について学び、個々の学習スタイルに応じた教育方法について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】さまざまな学習方略の特徴について深める学習を推奨します。	A	第14回	【テーマ】心理教育的援助サービスの実際 【計画内容】予防的支援としての集団心理教育プログラムを実際に体験し、その具体的方法と評価プロセスについて学びます。 【授業時間外の学修内容】実際の体験を通して感じた振り返りと、教師と多職種との繋がりについて知る学習を推奨します。	A	
	第7回	【テーマ】発達と教育 【計画内容】遺伝か環境かというテーマについて考え、多様な発達理論を比較することを通じて、発達に応じた教育の在り方に関する理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】「発達」と「教育」の発想と捉え方についての理解を深める学習を推奨します。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでに学習した内容を振り返り、教育心理学の発想について総括します。 【授業時間外の学修内容】内容の整理と関心を持った内容について、今後受講していく科目とのキーワードを整理する学習を推奨します。	A	
	第8回	【テーマ】乳幼児期の発達 【計画内容】運動・ことばの発達、愛着形成について理解を深め、発達を促す働きかけを学びます。 【授業時間外の学修内容】学んだ内容と自身の経験との重なりについて家族などと理解を深める学習を推奨します。	A				
テキスト		西村純一・井森澄江、2010年、『教育心理学エッセンシャルズ 第2版』、ナカニシヤ出版					
参 考 書		スライド資料を配付します 内容に応じて適宜紹介します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	70%		20%			10%
補 足							
課題に関するフィードバックの方法		課題、試験の振り返りは授業内(補講)で行う。					
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	公認心理師				
		科目との関連	担当教員はスクールカウンセラーの実務経験がある。教育場面における心理学的視点について経験も交えながら本科目を教授する。				
質問への対応		原則 Teams チャット、もしくはメールでの連絡。オリエンテーション時説明します。					
資 格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修					
そ の 他		成績評価: 毎回の講義終了後、コメントカードの提出を求めます。「課題評価」と「その他」カードはルーブリック評価(計30%)とします。詳細は授業内にて提示します。					

健康福祉学科
学科専門科目

科 目 名			健康福祉学概論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			小田 史郎、阿部 豊、黒澤 直子、古市 孝義、吉田 修大					
授 業 の 目 的	ねらい	これからの長寿社会で求められる概念・事象を健康とスポーツ、社会福祉、介護福祉という三つの視野で学び、健康福祉学科で学ぶ意識を高める。健康福祉学科での学びを通して取得できる諸資格について理解する。その上で、自らの将来像を明確にし、志望する進路に沿った学習計画を立てる力量を身に付けることを目指す。						
	到達目標	(1)相談援助、介護福祉、健康づくりで活躍する専門職の仕事の魅力について理解する。 (2)専門職として仕事をするために必要な知識や技能、資格について理解する。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】健康福祉学科の沿革や本授業の位置づけについて説明します。 講義の展開予定および各資格の取得に向けた今後の流れについて説明をします。(小田史郎・古市孝義・吉田修大) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ④ 【計画内容】介護福祉の現場で活躍している卒業生をお招きして、支援の実際にふれます。 (古市孝義) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	A・G・J		
	第2回	【テーマ】介護福祉士や健康運動指導士の活躍場所の理解 【計画内容】健康・介護福祉コースで養成する介護福祉士や健康運動指導士の活躍場所や学びをイメージするために介護実習室やスポルの見学を行います。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】オリエンテーションや講義で配付した資料をもとに予習・復習する。	A	第10回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ⑤ 【計画内容】実践者の講話内容をふまえ、テーマに関するレポート課題に取り組む(古市孝義) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	G		
	第3回	【テーマ】体験して分かる社会福祉士のスキル～社会福祉士が担う価値の理解～ 【計画内容】社会福祉コースで養成する社会福祉士の仕事スキルを実際に体験しながら理解します。 (黒澤直子) 【授業時間外の学修内容】オリエンテーションや講義で配付した資料をもとに予習・復習する。	B	第11回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ⑥ 【計画内容】健康づくりの現場で活躍している卒業生をお招きして、支援の実際にふれます。 (小田史郎) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	A・G・J		
	第4回	【テーマ】スポーツ系資格の理解 【計画内容】レクリエーション・インストラクター、初級障がい者スポーツ指導員などのスポーツ系資格について理解し、運動指導者としての仕事の魅力ややりがいについて学びます。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	A・G・K	第12回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ⑦ 【計画内容】実践者の講話内容をふまえ、テーマに関するレポート課題に取り組む(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	G		
	第5回	【テーマ】公務員と社会教育主事の理解 【計画内容】社会教育主事について理解し、公務員としての仕事の魅力ややりがいについて学びます。(阿部豊) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	A・G・J	第13回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ⑧ 【計画内容】何らかの支援を必要とする当事者をお招きして、日々のかかわりや生活の様子を講義していただき、その思いにふれます。(吉田修大) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	A・G・J		
	第6回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ① 【計画内容】当事者・実践者の講話を聞くにあたっての事前ガイダンスを行う。講話を聞くにあたっての心構えについて講義する。また講話をいただく臨時講師について紹介し、聞いてみたいことについてレポートにまとめる。 (小田史郎・古市孝義・吉田修大) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	A・G・K	第14回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ⑨ 【計画内容】当事者の講話内容をふまえ、テーマに関するレポート課題に取り組む(吉田修大) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	G		
	第7回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ② 【計画内容】社会福祉の現場で活躍している卒業生をお招きして、支援の実際にふれます。 (吉田修大) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	A・G・J	第15回	【テーマ】学習のまとめ 【計画内容】これまでの学習内容をもとに今後の学習計画や進路選択などの見通しをたてます。 (小田史郎・古市孝義・吉田修大) 【授業時間外の学修内容】これまでの講義で配付された資料を読み返して復習し、自分の進路について考えておく。	G・L		
	第8回	【テーマ】当事者・実践者から学ぶ③ 【計画内容】当事者の講話内容をふまえ、テーマに関するレポート課題に取り組む(吉田修大) 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料や記録したノートをもとに予習・復習する。	G					
テキスト		講義内で提示します						
参 考 書		講義内で提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			30% 最終レポート		60%	10%	
課題に関するフィードバックの方法		課題については第15回の講義時に講評をします。						
実務経験と授業の関連	経 験 内 容							
	科目との関連							
質問への対応		講義全体にかかわることについては小田先生、個別の回の内容にかかわることはそれぞれの担当教員が対応します。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		岩本 希						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は社会福祉士やソーシャルワーカーに求められる人間の多面的理解と尊厳の保持、自立・自律した生活を支える必要性について理解することを目的とします。さらに、ソーシャルワークの形成過程を踏まえつつ、相談援助に必要な理念について学ぶことによって社会福祉およびソーシャルワークの基礎的概念を理解します。						
	到達目標	(1)社会福祉専門職である社会福祉士の役割や意義について説明することができる。 (2)社会福祉士およびソーシャルワーカーに必要な資格制度の歴史、法制度、ソーシャルワークの定義など相談援助の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。 (3)社会福祉士およびソーシャルワーカーに必要な人権尊重や社会正義など相談援助の理念を理解する。 (4)総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、ソーシャルワークとは何か 【計画内容】講義展開などの説明を行います。また、ソーシャルワークの概念を踏まえ、ソーシャルワークの視点に沿ったクライアントを理解する考え方について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読すること。テキスト p.2-p.6を確認すること。	A	第9回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(3)～ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワーク～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.145-p.170を確認すること。	A		
	第2回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(1)～社会福祉士とは～ 【計画内容】社会福祉士の法的根拠や関連する法制度、仕事内容や活躍している施設・機関について学びます。さらに社会福祉士が社会に対して果たすべき役割や意義について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.7-p.22を確認すること。	A	第10回	【テーマ】相談援助の理念(1)～ソーシャルワーク実践と価値～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。原理についても再度確認します。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.86-p.102及び p.103-p.118を確認すること。	A		
	第3回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(2)～社会福祉士の専門性～ 【計画内容】社会福祉士としてクライアントを支援する場合、どのような専門的な知識、技術、価値・倫理を用いているのが倫理綱領から学びます。併せて、生じる倫理的ジレンマについて学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.23-p.35を確認すること。社会福祉士倫理綱領を調べてみる。	A	第11回	【テーマ】相談援助の理念(2)～ソーシャルワーク実践と権利擁護～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.103-p.118の該当箇所を確認すること。	A		
	第4回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(3)～社会的背景～ 【計画内容】ソーシャルワークを必要とする背景として、現代社会の特徴や地域生活における諸問題を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.36-p.50を確認すること。	A・K	第12回	【テーマ】相談援助の理念(3)～クライアントの尊厳及び当事者主権と自己決定～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.103-p.118の該当箇所を確認すること。	A		
	第5回	【テーマ】相談援助の概念と範囲(1)～ソーシャルワークの定義～ 【計画内容】ソーシャルワークの概念や定義について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.51-p.67を確認すること。	A	第13回	【テーマ】相談援助の理念(4)～ソーシャルワークと自立支援～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.103-p.118の該当箇所を確認すること。	A		
	第6回	【テーマ】相談援助の概念と範囲(2)～ソーシャルワークの原理と構成要素～ 【計画内容】ソーシャルワークの構成要素の内容と相互の影響について学びます。ソーシャルワークの原理についても理解を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.68-p.83を確認すること。テキスト p.86-p.102にも目を通しておくこと。	A	第14回	【テーマ】相談援助の理念(5)～ノーマライゼーション、社会的包摂～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.103-p.118の該当箇所を確認すること。	A		
	第7回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(1)～ソーシャルワークの源流、基礎確立期～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.120-p.131を確認すること。	A	第15回	【テーマ】総括と確認 【計画内容】今日的なソーシャルワーク(相談援助)と専門職のありかたについての整理と理解度の確認をします。 【授業時間外の学修内容】これまで取り扱ったテキスト該当箇所及び配付資料を確認しておくこと。	A		
	第8回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(2)～ソーシャルワークの発展期・展開期～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.132-p.144を確認すること。	A					
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟、2021年、『最新ソーシャルワークの基盤と専門職(共通・社会専門)』、中央法規出版							
参 考 書	プリントを使用する。							
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	補 足	50%		20%		30%	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連			経 験 内 容					
			科目との関連					
質問への対応	全体への周知が望ましい質問を受けた場合は全体に向けて回答します。質問がある場合は講義時に直接または teams チャット及びメール(iwamoto@wm.hokusho-u.ac.jp)で受け付けます。							
資 格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必							
そ の 他								

科 目 名			介護の基本Ⅰ		授業形態	講義・演習	単 位 数	2
教 員 名			本間 美幸、佐藤 郁子、田中 美雪、橋本 抄苗					
授 業 の 目 的	ねらい	本科目では、介護及び介護福祉にかかわる基本的な考え方等について学ぶことを目的とする。 また、介護職に求められる専門性や職業倫理、多職種との連携について学び、介護における安全確保、介護職の安全等について理解を深めてゆく。利用者の理解として老化に伴う心身の変化や疾病について、介護に関することのしくみやからだのしくみについての基本的な理解やその必要性について学ぶ。						
	到達目標	(1)多様なサービス、介護を提供する現場について列挙できる。 (2)介護職の役割、専門性、職業倫理について概説できる。 (3)介護職の役割を多職種との連携を踏まえ理解する。 (4)介護における安全確保やリスクマネジメントの視点、介護職の安全について理解する。 (5)介護にかかわるからだのしくみや老化に伴う心身の変化について基本的な事柄を理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】多様なサービスの理解1 【計画内容】介護保険による居宅サービスと施設サービスについて、その提供の場と特性について学びます。 (本間美幸) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第1章第1節を読むこと。	A・B	第9回	【テーマ】医療との連携とリハビリテーション1 【計画内容】医行為と介護、看護と介護の連携について学びます。(佐藤郁子) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第4章第2節を読むこと。	A・B		
	第2回	【テーマ】多様なサービスの理解2 【計画内容】介護ニーズに対応する介護保険外のサービスとその実際を学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第1章第1節を読むこと。	A・B	第10回	【テーマ】医療との連携とリハビリテーション2 【計画内容】施設における看護と介護の役割、リハビリテーションについて学びます。(佐藤郁子) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第4章第2節を読むこと。	A・B		
	第3回	【テーマ】介護職の仕事内容や働く現場の理解1 【計画内容】介護サービスを提供する多様な現場の実際とその仕事内容を学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第1章第2節を読むこと。	A・B	第11回	【テーマ】老化に伴うところからだの変化と日常1 【計画内容】老化による変化の特徴、社会的環境との関係、日常生活への影響等について学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第6章第1節を読むこと。	A・B		
	第4回	【テーマ】介護職の仕事内容や働く現場の理解2 【計画内容】介護サービスの提供に至るまでの流れ、介護過程とチームアプローチについて学びます。 (本間美幸) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第1章第2節を読むこと。	A・B	第12回	【テーマ】老化に伴うところからだの変化と日常2 【計画内容】高齢者に多い疾患と日常生活の留意点等について学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第6章第1節を読むこと。	A・B		
	第5回	【テーマ】介護職の役割、専門性と多職種との連携 【計画内容】居宅と施設という介護環境ごとの特徴を学び、介護の専門性とチームケアについて考えます。 (橋本抄苗) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第3章第1節を読むこと。	A・B	第13回	【テーマ】介護の基本的な考え方1 【計画内容】介護の概念・定義を通して、理論に基づく介護を学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第2巻)の第1章第1節を読むこと。	A・B		
	第6回	【テーマ】介護職の職業倫理 【計画内容】専門職の倫理の意義、介護福祉士の倫理を学び、介護職としての社会的責任を考えます。 (田中美雪) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第3章第2節を読むこと。	A・B	第14回	【テーマ】介護の基本的な考え方2 【計画内容】ICFの視点に基づく生活支援について学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第2巻)の第1章第1節を読むこと。	A・B		
	第7回	【テーマ】介護における安全の確保とリスクマネジメント 【計画内容】介護における安全の確保、事故予防、安全対策、感染対策について学びます。(橋本抄苗) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第3章第3節を読むこと。	A・B	第15回	【テーマ】介護の基本的な考え方3 【計画内容】介護の法的根拠について学び、介護福祉士が行う「介護」とは何かを考えます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第2巻)の第1章第1節を読むこと。	A・B		
	第8回	【テーマ】介護職の安全 【計画内容】介護職の心身の健康管理、感染予防について学びます。(田中美雪) 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト(第1巻)の第3章第4節を読むこと。	A・B					
テキスト		太田貞司他編、2020年、『介護職員初任者研修テキスト1』、中央法規出版、9784805881873 太田貞司他編、2020年、『介護職員初任者研修テキスト2』、中央法規出版、9784805852705						
参 考 書		講義時に説明します。						
成績評価の方法	配 分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
				50%		50%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	田中美雪・橋本抄苗・本間美幸／介護福祉士、佐藤郁子／保健師					
		科目との関連	田中美雪・橋本抄苗・本間美幸・佐藤郁子／介護福祉士・保健師としての経験を活かし、介護の基本について教授する。					
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[健]介護職員初任者研修_必修						
そ の 他		介護職員初任者研修課程のオリエンテーションに必ず出席して下さい。原則、1回でも欠席すると、資格取得できなくなる可能性がありますので、十分注意して下さい。						

科 目 名		介護の基本Ⅱ			授業形態	講義・演習	単 位 数	2
教 員 名		高橋 銀司、牧田 俊樹						
授 業 の 目 的	ねらい	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職として、介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及び倫理を理解する。高齢者や障害者のコミュニケーションについて理解し、一人ひとりに適したコミュニケーションをとるための行動例を理解している。また、介護保険制度や障害福祉制度の基本的な理解と各専門職の役割・責務について、その概要がわかる。						
	到達目標	(1)介護の目標や展開について、尊厳の保持、ＱＯＬ、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。 (2)虐待の定義、身体拘束、およびサービス利用者の尊厳、プライバシーの保持についての基本的なポイントを列挙できる。 (3)介護保険制度や障害福祉制度の理念、代表的なサービスの種類と内容、権利擁護の制度について列挙できる。 (4)基本的なコミュニケーション上のポイント、介護職としてもつべき相談援助の視点を列挙できる。 (5)言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点、記録のポイントを列挙できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】人権と尊厳を支える介護1 【計画内容】介護を必要とする人が有する権利とは何か、人権と尊厳の保持について学びます。(高橋銀司) 【授業時間外の学修内容】人権や尊厳に関する新聞記事やニュースを見ておくこと。	A・F	第9回	【テーマ】障害福祉制度1 【計画内容】障害者福祉制度における障害の概念、理念について、その歩みをふまえて学ぶ。(牧田俊樹) 【授業時間外の学修内容】障害者に対する自分のもつイメージを整理してくる。	A		
	第2回	【テーマ】人権と尊厳を支える介護2 【計画内容】介護に関する基本的な視点、ICFについて学びます。(高橋銀司) 【授業時間外の学修内容】人権や尊厳に関する新聞記事やニュースを見ておくこと。	A・H	第10回	【テーマ】障害福祉制度2およびその他の制度 【計画内容】障害者自立支援制度の基本的なしくみについて学びます。(牧田俊樹) 【授業時間外の学修内容】障害者に関する制度をパンフレット等で確認してくる。	A・H		
	第3回	【テーマ】人権と尊厳を支える介護3 【計画内容】介護に関する基本的な視点であるＱＯＬとノーマライゼーションについて学びます。(高橋銀司) 【授業時間外の学修内容】ノーマライゼーションに関する新聞記事やニュースを見ておくこと。	A・H	第11回	【テーマ】介護におけるコミュニケーション1 【計画内容】対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解します。 介護におけるコミュニケーションの役割と技法、道具を用いた言語的コミュニケーションについて学びます。(高橋銀司) 【授業時間外の学修内容】コミュニケーションの効果について調べておくこと。	A・H		
	第4回	【テーマ】人権と尊厳を支える介護4 【計画内容】虐待防止、身体拘束禁止、など、利用者の権利を擁護するための制度の種類や内容について説明します。(高橋銀司) 【授業時間外の学修内容】虐待防止や身体拘束に関する新聞記事やニュースを見ておくこと。	A・H	第12回	【テーマ】介護におけるコミュニケーション2 【計画内容】利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションおよび家族とのコミュニケーションの実際を学びます。(高橋銀司) 【授業時間外の学修内容】介護に携わる者に関する新聞記事やニュースを見ておくこと。	A・H		
	第5回	【テーマ】自立に向けた介護1 【計画内容】介護における自立とは何か、「その人らしさ」を尊重した自立支援について学びます。(高橋銀司) 【授業時間外の学修内容】自立の概念を学習しておくこと。	A・H	第13回	【テーマ】介護におけるチームのコミュニケーション1 【計画内容】介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学び、情報の共有化について学びます。(高橋銀司) 【授業時間外の学修内容】介護職以外の専門職について調べておくこと。	A・H		
	第6回	【テーマ】自立に向けた介護2 【計画内容】介護予防についてその考え方と方法等について学びます。(高橋銀司) 【授業時間外の学修内容】介護予防に関する新聞記事やニュースを見ておくこと。	A・H	第14回	【テーマ】介護におけるチームのコミュニケーション2 【計画内容】チームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学びます。また、コミュニケーションを促す環境について、会議の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学びます。(高橋銀司) 【授業時間外の学修内容】報告、連絡、相談の意味を調べておくこと。	A・H		
	第7回	【テーマ】介護保険制度1 【計画内容】介護保険制度が創設された背景を理解し、制度の目的と動向について学びます。その上で、介護保険制度の基本的なしくみを学びます。(牧田俊樹) 【授業時間外の学修内容】介護に対するイメージを整理してくる。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの内容について振り返りを行います。(牧田俊樹) 【授業時間外の学修内容】今までの授業を自分なりに振り返っておく。	A・L		
	第8回	【テーマ】介護保険制度2 【計画内容】介護保険制度にかかわる組織とその役割を理解するとともに、制度の財政について学びます。(牧田俊樹) 【授業時間外の学修内容】介護保険制度についてホームページなどで大まかに確認してくる。	A・H					
テキスト		太田貞司他編、2020年、『介護職員初任者研修テキスト1(第3版)』、中央法規、978-4-8058-8187-3						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			50%		50%		
	補 足							
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	高橋銀司 / 介護福祉士として介護業務					
		科目との関連	高橋銀司 / 介護福祉士としての経験を活かし、介護における尊厳の保持と自立支援、コミュニケーションを教授する					
質問への対応		初回の授業時にお知らせ致します。						
資 格		[健]介護職員初任者研修_必修						
そ の 他		介護職員初任者研修課程のオリエンテーションに必ず出席して下さい。 原則、1回でも欠席すると資格取得ができなくなる可能性がありますので十分注意してください。						

科目名		生活支援技術		授業形態		講義・演習		単位数		2		
教員名		本間 美幸、相沢 和臣、五十嵐 修平、山道 祐子										
授業の目的	ねらい	生活支援技術では、介護を必要とする方(要介護者)の尊厳を保持し、その人らしい自立した生活を支えるための介護技術や知識を学びます。要介護者の持てる力を最大限に発揮し生活していただくために、介護技術の原理・原則およびその根拠となる知識の修得が必要です。それらとともに、初任者研修関連科目の学びを統合して、総合的な実践力を身につけることをねらいとします。										
	到達目標	(1)家事援助の機能と基本原則について説明できる。 (2)生活支援技術で学ぶ基本的な介護技術を実践できる。 (3)要介護者個々の状況と意向を踏まえた介護技術を考えることができる。 (4)生活場面における環境整備について、要介護者の尊厳と自立の視点で列挙できる。 (5)人生の最終段階「尊厳ある死」について、その考え方や対応の仕方などを概説できる。										
授業の画	第1回	【テーマ】生活と家事1 【計画内容】生活を継続していくための家事の重要性を学び、家事援助は利用者にとってどのような意味があるかを理解します。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第1節および第8節を読んでおくこと。	A・B・E	第16回	【テーマ】整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護2 【計画内容】洗面・整容などについてその支援方法を学びます。 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。	A・B・E	第31回	【テーマ】睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護3 【計画内容】快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法を学びます。 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。	A・B・E			
	第2回	【テーマ】生活と家事2 【計画内容】調理・洗濯・掃除などの家事援助に関する基本的技術を実践的に学びます。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第1節および第8節を読んでおくこと。	A・B・E	第17回	【テーマ】整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護3 【計画内容】衣履の種類と選択に必要な視点、着脱介助の留意点を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。	A・B・E	第32回	【テーマ】死にゆく人に関連したところからだのしくみと終末期介護1 【計画内容】終末期から死までの身体機能の変化を理解し、状況に合わせた対応を学びます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。	A・B・E			
	第3回	【テーマ】快適な居住環境と介護1 【計画内容】安心して快適に生活するために必要な環境の整備とは何か、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学びます。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第2節を読んでおくこと。	A・B・E	第18回	【テーマ】整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護4 【計画内容】自立に向けた衣履の着脱について、その支援方法を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。	A・B・E	第33回	【テーマ】死にゆく人に関連したところからだのしくみと終末期介護2 【計画内容】死に直したときの人の心理状況について理解し、心の変化の受け止め方を学びます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。	A・B・E			
	第4回	【テーマ】快適な居住環境と介護2 【計画内容】住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について、実践的に学びます。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第2節を読んでおくこと。	A・B・E	第19回	【テーマ】整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護5 【計画内容】整容に関する福祉用具の活用方法について学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。	A・B・E	第34回	【テーマ】介護過程の基本的理解1 【計画内容】介護過程の目的と意義、その展開方法を学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章第1節を読んでおくこと。	A・B			
	第5回	【テーマ】移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護1 【計画内容】移動・移乗に関する基礎知識を学びます。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第4節を読んでおくこと。	A・B・E	第20回	【テーマ】入浴・清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護1 【計画内容】入浴・清潔保持に関連する基礎知識を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第6節を読んでおくこと。	A・B・E	第35回	【テーマ】介護過程の基本的理解2 【計画内容】事例演習により、介護過程の展開方法を学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章第1節を読んでおくこと。	A・B			
	第6回	【テーマ】移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護2 【計画内容】移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法について学びます。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第4節を読んでおくこと。	A・B・E	第21回	【テーマ】入浴・清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護2 【計画内容】「気持ちの良い入浴」を支援するための方法を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第6節を読んでおくこと。	A・B・E	第36回	【テーマ】介護過程の基本的理解3 【計画内容】事例演習により、介護過程の展開方法を学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章第1節を読んでおくこと。	A・B			
	第7回	【テーマ】移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護3 【計画内容】利用者・介護者にとって負担の少ない移動・移乗の支援について学びます。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第4節を読んでおくこと。	A・B・E	第22回	【テーマ】入浴・清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護3 【計画内容】手浴・足浴などの部分浴や全身の介護方法を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第6節を読んでおくこと。	A・B・E	第37回	【テーマ】介護過程の基本的理解4 【計画内容】介護過程とチームアプローチについて学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章第1節を読んでおくこと。	A・B			
	第8回	【テーマ】移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護4 【計画内容】移動・移乗を阻害する要因を理解し、その支援方法を学びます。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第4節を読んでおくこと。	A・B・E	第23回	【テーマ】入浴・清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護4 【計画内容】楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第6節を読んでおくこと。	A・B・E	第38回	【テーマ】総合生活支援技術演習1 【計画内容】事例を通して、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を学びます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章第2節を読んでおくこと。	A・B・E			
	第9回	【テーマ】移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護5 【計画内容】移動に関連する社会参加の留意点を学び、その支援方法を理解します。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第4節を読んでおくこと。	A・B・E	第24回	【テーマ】排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護1 【計画内容】排泄に関する基礎知識を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第7節を読んでおくこと。	A・B・E	第39回	【テーマ】総合生活支援技術演習2 【計画内容】事例を通して、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を学びます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章第2節を読んでおくこと。	A・B・E			
	第10回	【テーマ】食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護1 【計画内容】食事に必要な基礎知識、食事の必要と心身機能の低下が食事に及ぼす影響を理解します。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第5節を読んでおくこと。	A・B・E	第25回	【テーマ】排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護2 【計画内容】排泄の自立に向けたトイレでの支援方法、ポータブルトイレでの介護方法を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第7節を読んでおくこと。	A・B・E	第40回	【テーマ】総合生活支援技術演習3 【計画内容】事例を通して、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を学びます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章第2節を読んでおくこと。	A・B・E			
	第11回	【テーマ】食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護2 【計画内容】食事に必要な基礎知識と食事に関連する用具の活用方法を身につけます。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第5節を読んでおくこと。	A・B・E	第26回	【テーマ】排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護3 【計画内容】ベッド上でのおむつ交換や尿便器での介護方法を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第7節を読んでおくこと。	A・B・E	第41回	【テーマ】総合生活支援技術演習4 【計画内容】事例を通して、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を学びます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章第2節を読んでおくこと。	A・L			
	第12回	【テーマ】食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護3 【計画内容】食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法について学びます。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第5節を読んでおくこと。	A・B・E	第27回	【テーマ】排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護4 【計画内容】排泄環境の整備と関連する用具の活用方法を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第7節を読んでおくこと。	A・B・E	第42回	【テーマ】振り返り1 【計画内容】初任者研修全体を通して学びを振り返り、介護職に求められるものは何かを考えます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H			
	第13回	【テーマ】食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護4 【計画内容】口腔ケアの必要性とその方法を学びます。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第5節を読んでおくこと。	A・B・E	第28回	【テーマ】排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護5 【計画内容】爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第7節を読んでおくこと。	A・B・E	第43回	【テーマ】振り返り2 【計画内容】初任者研修全体を通して学びを振り返り、介護職に求められるものは何かを考えます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H			
	第14回	【テーマ】食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護5 【計画内容】楽しい食事を阻害する要因と食事に関連する社会参加の留意点を学び、その支援方法を理解します。(山道祐子) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第5節を読んでおくこと。	A・B・E	第29回	【テーマ】睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護1 【計画内容】睡眠の必要性と睡眠に関する基礎知識を学びます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第8節を読んでおくこと。	A・B・E	第44回	【テーマ】就業への備えと研修終了後における継続的な研修 【計画内容】介護職として継続的に学ぶべきことを考え、研修終了後における継続的な研修の事例を紹介し、介護職として継続的に学ぶべきことを考えます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第3章該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H			
	第15回	【テーマ】整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護1 【計画内容】睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法を学びます。(相沢和臣) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第8節を読んでおくこと。	A・B・E	第30回	【テーマ】睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護2 【計画内容】睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法を学びます。(五十嵐修平) 【授業時間外の学習内容】指定したテキストの第2章第8節を読んでおくこと。	A・B・E	第45回	【テーマ】初任者研修修了試験 【計画内容】初任者研修関連4科目で学んだことの修得状況を確認します。(本間美幸) 【授業時間外の学習内容】指定したテキスト第1巻、第2巻を読み、初任者研修関連4科目全体の復習をすること。	L			
テキスト		太田貞司他編、2020年、『介護職員初任者研修テキスト1』、中央法規出版、9784805881873 太田貞司他編、2020年、『介護職員初任者研修テキスト2』、中央法規出版、9784805852705										
参考書		講義時に説明します										
成績評価の方法	配分補足	筆記試験		実技試験		課題評価		作品評価		受講態度		その他
		分足		30%		30%				40%		
課題に関するフィードバックの方法		授業進行に合わせて、修得した介護技術の確認と講評をします。										
実務経験と授業の関連	該当	経験内容		相沢和臣・五十嵐修平・山道祐子・本間美幸／介護福祉士								
		科目との関連		相沢和臣・五十嵐修平・山道祐子・本間美幸／介護福祉士としての経験を活かし、生活支援技術を教授する。								
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。										
資格		[健]介護職員初任者研修_必修										
その他		介護職員初任者研修課程のオリエンテーションに必ず出席して下さい。 原則、1回でも欠席すると資格取得ができなくなる可能性がありますので十分注意してください。 生活支援技術の確実な習得のために、学生同士で協力して自主練習に励んでください。										

科 目 名		介護を必要とする人の理解			授業形態	講義・演習	単 位 数	2
教 員 名		竹内 美幸、佐藤 郁子						
授 業 の 目 的	ねらい	加齢・老化に伴う変化や疾病について、生理的側面から理解する。 認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則を理解する。 障害の概念と ICF、障害福祉の基本的な考えについて理解し、介護における基本的な考え方について理解する。 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。						
	到達目標	(1)高齢者に多い疾病の種類、症状や特徴、治療・生活上の留意点について列挙できる。 (2)認知症ケアの理念、症状の基本的特性と行動のポイント、認知症の方への介護の原則が理解できる。 (3)認知症の方へのコミュニケーションの原則、具体的なかわり方を概説できる。 (4)障がいの概念と ICF について概説でき、各障害の内容・特徴および障害に応じた社会支援の考え方について列挙できる。 (5)人の記憶や意欲、人体の構造や機能が列挙できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】老化の理解1 【計画内容】骨折、筋力の低下と動き・姿勢の変化、関節痛など高齢者の疾病と生活上の留意点について学びます。 (佐藤郁子) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A	第9回	【テーマ】介護に関するこころのしくみ1 【計画内容】学習と記憶、感情と意欲などの基礎知識を学びます。自己概念と生きがいについて学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A		
	第2回	【テーマ】老化の理解2 【計画内容】循環器障害、老年期うつ病症状、誤嚥性肺炎、感染症など高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点について学びます。(佐藤郁子) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A	第10回	【テーマ】介護に関するこころのしくみ2 【計画内容】こころの持ち方が行動に与える影響や防衛機制、からだの状態がこころに与える影響などを学びます。 (竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A		
	第3回	【テーマ】認知症の理解1 【計画内容】認知症ケアの理念として、パーソンセンタードケア・認知症ケアの視点を学びます。(佐藤郁子) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A	第11回	【テーマ】介護に関するからだのしくみ1 【計画内容】人体の各部の名称と動きに関する基礎知識を学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントとテキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A		
	第4回	【テーマ】認知症の理解2 【計画内容】認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理について学びます。 (佐藤郁子) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A	第12回	【テーマ】介護に関するからだのしくみ2 【計画内容】骨・関節・筋肉に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントとテキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A・B		
	第5回	【テーマ】認知症の理解3 【計画内容】中核症状、BPSD に伴う生活障害や不適切なケア、生活環境での改善について学びます。 プライドを傷つけず、利用者の様子・表情・視線・姿勢などから相手の気持ちを洞察し、適切なコミュニケーションを取り、利用者への対応方法を学びます。(佐藤郁子) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A	第13回	【テーマ】介護に関するからだのしくみ3 【計画内容】中枢神経系と体性神経に関する基礎知識と自律神経系と内部機関に関する基礎知識を学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントとテキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A・K		
	第6回	【テーマ】認知症の理解4 【計画内容】認知症の受容過程での援助や介護負担の軽減など家族への軽減など家族への支援について学びます。 (佐藤郁子) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A	第14回	【テーマ】介護に関するからだのしくみ4 【計画内容】こころとからだを一体的にとらえ、利用者の様子から普段との違いに気づく視点について学びます。 (竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A		
	第7回	【テーマ】障害の理解1 【計画内容】障害福祉の基本理念として、ICF の考え方やノーマライゼーションの概念について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】全体の振り返りと理解が進んでいないところを再確認します。(佐藤郁子) 【授業時間外の学修内容】全体の振り返りと理解が進んでいない問題を整理しておくこと。	A・L		
	第8回	【テーマ】障害の理解2 【計画内容】身体障害、知的障害、精神障害、その他の心身機能障害について学ぶとともに家族の心理や介護負担など家族への支援について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	A・H					
テキスト		太田貞司他編、2020年、『介護職員初任者研修テキスト1』、中央法規出版、978-4-8058-8187-3 太田貞司他編、2020年、『介護職員初任者研修テキスト2』、中央法規出版、978-4-8058-8188-0						
参 考 書		プリントを使用する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足	80%				20%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	竹内美幸 / 看護師 佐藤郁子 / 保健師					
		科目との関連	看護師の経験を活かし、介護を必要とする人を理解できるよう教授する。					
質問への対応		授業終了時、直接担当者まで						
資 格		[健]介護職員初任者研修_必修						
そ の 他		第16回に筆記試験を行います。 原則、1回でも欠席すると資格取得ができなくなります。						

科 目 名		医学概論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		大宮司 信					
授 業 の 目 的	ねらい	科学と医学の進歩により、例えばヒトの遺伝情報の全貌が明らかにされつつある。このような現代医学の進歩を踏まえて、健康と長寿をキーワードとし、介護や福祉に従事するために必要なからだのしくみを習得する。また心身機能と身体機能及び疾病や傷害について、人間の成長・発達と日常生活との関係を踏まえて理解する。さらに国際生活機能分類(ICF)に基づきリハビリテーションの概要を理解する。					
	到達目標	(1)健康と長寿をキーワードとし、身体の構造と生理機能及び心身機能を学ぶ。 (2)介護や福祉に従事するために、必要なからだのしくみ、健康、疾病の捉え方、疾病と障害の成り立ち及び回復過程を習得する。 (3)国際生活機能分類(ICF)に基づきリハビリテーションの概要を理解する。 (4)人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 (5)公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義全体のオリエンテーション及び人体の解剖・生理の基礎 【計画内容】人体の主要部位の名称、人体を構成する細胞の構造と機能、そして全体としてのからだの働きを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】今、日本で問題になっている医療問題が何かを考えておくこと。	A	第9回	【テーマ】ICFの基本的な考え方と概要 【計画内容】WHOの疾病の把握の仕方や取り組みの概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	
	第2回	【テーマ】がん(総論) 【計画内容】がんとはどのようなものかについて理解する。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】健康のとらえ方 【計画内容】健康・病気・未病などの考え方を西洋と東洋を比較しながら、からだのしくみを理解する。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	
	第3回	【テーマ】がん(各論) 【計画内容】現代問題にされているがんについて理解し、その社会的な影響について考える。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】リハビリテーション(1) 【計画内容】第8回で学んだ脳血管疾患を例にとり、リハビリテーションの概略を知る。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	
	第4回	【テーマ】感染症(1) 【計画内容】結核を中心に、感染症に対する公衆衛生を踏まえた社会の取り組みについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】リハビリテーション(2) 【計画内容】地域リハビリテーションやエンパワーメントなどのリハビリテーションについて最近の知見を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	
	第5回	【テーマ】感染症(2) 【計画内容】エイズ、ノロウイルス感染症などの新しい感染症とその社会に与える影響について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】話題の病気 【計画内容】これからパンデミックな広がりが懸念される、鳥インフルエンザ感染症などについて取り上げる。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	
	第6回	【テーマ】人の成長と発達(1) 【計画内容】出生から死亡までの人の一生とその各時期の特徴から、からだのしくみを理解する。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】日本の医療 【計画内容】他の国々と比較した際の我が国の疾病の特徴や取り組みについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	
	第7回	【テーマ】人の成長と発達(2) 【計画内容】若者にすでにみられるメタボリック症候群、その結果中年以降に問題となる生活習慣病について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】全体のまとめ：病気からみた健康と人間の一生 【計画内容】疾病をとらえてみた健康や人の成長と一生を全体として考える。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだことをあらかじめ復習しておくこと。	A	
	第8回	【テーマ】人の成長と発達(3) 【計画内容】生活習慣病の結果として高血圧・脳血管疾患について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『人体の構造と機能及び疾病(新・社会福祉養成講座-1)』、中央法規出版、9784805851005						
参 考 書	講義時に適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
補 足				毎回の小レポート			
課題に関するフィードバックの方法	課題等については、その次の講義時にコメント・解説します。						
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	医師				
		科目との関連	医師としての臨床体験を講義のなかでお話します。				
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資 格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
そ の 他	欠席時は事後でもよいので必ず欠席届を提出すること。						

科 目 名		医学知識		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		大宮司 信					
授 業 の 目 的	ねらい	死・ターミナルケア・緩和医療などを念頭に、からだのしくみの基礎、すなわち身体の構造並びに生理機能、特に死にゆくひとのこころとからだのしくみを理解するために医療の各分野を全般的に紹介し、現代に特徴的な疾病についての講義をねらいとする。特に死の捉え方、終末期から危篤の時期・死亡期の身体的・精神的諸問題の理解など、医療職との連携をふまえ、疾病を広く理解できることを目標とする。					
	到達目標	(1)介護・心理領域を中心に会ふことの多い疾患とその背景にある身体の仕組みを説明できる。 (2)臨死・緩和ケアに関する考え方の基礎を理解している。 (3)他の医療機関との関係・協力、それぞれの果たす役割が理解できている。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、医療の倫理 【計画内容】福祉・心理に携わる立場の専門家として必要な医療の倫理を学ぶ。 【授業時間外の学習内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】消化の異常と病気 【計画内容】介護・心理場面で問題となる嚥下障害をはじめ、主な消化器の病気について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	
	第2回	【テーマ】医療の中の福祉と心理 【計画内容】他の医療機関との関係、連携の仕方、役割分担などを知ることを通して、からだのしくみを理解する重要性を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】呼吸のしくみと構造、その病気 【計画内容】外呼吸と内呼吸、肺の構造とはたらき、肺炎や誤嚥による気道閉塞の危険性などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	
	第3回	【テーマ】人の身体の恒常性の維持機能(1) 【計画内容】人が外界の変化に関わらず身体を恒常的に維持できる機能、すなわちホメオスタシスについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】排泄のしくみと構造 【計画内容】腎臓における尿の生成のしくみ、排尿のしくみ、泌尿器系の病気について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	
	第4回	【テーマ】人の身体の恒常性の維持機能(2) 【計画内容】ホメオスタシスの具体的な機能である内分泌や免疫系について学び、からだのしくみを理解する。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】皮膚の構造と病気 【計画内容】褥瘡のできるしくみ・治療・予防を中心に皮膚の病気について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	
	第5回	【テーマ】脳・神経の構造と機能 【計画内容】神経系のしくみと働きを脊髄反射などを通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】臨死(1) 【計画内容】死にゆく人のこころとからだのしくみを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	
	第6回	【テーマ】循環のしくみと構造 【計画内容】心臓を中心とする体循環・肺循環・抹消循環、動脈と静脈、リンパの循環などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】臨死(2) 【計画内容】ターミナルケアと緩和医療を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を読んでおくこと。	A	
	第7回	【テーマ】循環の異常と病気 【計画内容】高血圧、心筋梗塞などの虚血性心疾患とその治療について学ぶ。AEDの使用法についても実習する。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめ：医療の中の介護と福祉の役割 【計画内容】医療の中において福祉・心理が置かれている現在の状況やこれからの可能性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を読んでおくこと。	A	
	第8回	【テーマ】消化のしくみと構造 【計画内容】口から肛門へ至る消化器の構造と機能、消化・吸収の意義などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A				
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『人体の構造と機能及び疾病（新・社会福祉士養成講座-1）』、中央法規出版						
参 考 書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			毎回の小レポート			
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	医師としての臨床経験を有する。				
		科目との関連	これまでの臨床経験に基づいて講義する。				
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資 格	[健]介護福祉士_必修						
そ の 他	講義の順序が変更される可能性あり。						

科目名		精神保健			授業形態	講義	単位数	2
教員名		杉岡 子子						
授業の目的	ねらい	精神保健とは、精神障害の予防と治療のみならず、人間の発達過程や社会生活における環境への適応に関わる学問であり、メンタルヘルスに関わる全ての人に必要な知識である。 ここでは、精神保健の概念や歴史について基礎的知識を得たのち、ライフサイクルと個別課題に沿って、主要な精神保健上の課題と対応について実践例を交えながら学ぶ。そして、講義を通して知識だけでなく、生涯にわたって関連する自らの精神保健について考える機会を持つことを目的とする。						
	到達目標	(1)精神保健及び精神疾患についての基礎的知識を理解する。 (2)メンタルヘルスを自分のこととして捉えることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の目的、目標、展開内容、評価方法などについて説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】個別課題への理解と対応(2) 【計画内容】精神疾患について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G		
	第2回	【テーマ】精神保健の基礎(1) 【計画内容】精神保健の概論について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】精神保健とは何かを調べておくこと。	A・G	第10回	【テーマ】個別課題への理解と対応(3) 【計画内容】精神疾患について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G		
	第3回	【テーマ】精神保健の基礎(2) 【計画内容】精神保健の歴史について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G	第11回	【テーマ】家庭における精神保健 【計画内容】家庭における精神保健について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G		
	第4回	【テーマ】人間の成長と発達の基礎的理解及びライフサイクルと精神保健(1) 【計画内容】人間の成長と発達を学び、また、乳児期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G	第12回	【テーマ】学校における精神保健 【計画内容】学校における精神保健について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G		
	第5回	【テーマ】ライフサイクルと精神保健(2) 【計画内容】幼児期・学童期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G	第13回	【テーマ】職場・地域における精神保健 【計画内容】職場・地域における精神保健について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G		
	第6回	【テーマ】ライフサイクルと精神保健(3) 【計画内容】青年期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G	第14回	【テーマ】精神保健福祉制度等について 【計画内容】精神保健福祉制度、精神障害者の人権・社会復帰に向けた支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G		
	第7回	【テーマ】まとめと確認(中間)・ライフサイクルと精神保健(4) 【計画内容】振り返りと確認(中間)を行う。また、成人期・壮年期・老年期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G	第15回	【テーマ】まとめと確認(最終) 【計画内容】これまでの講義を振り返り、まとめと確認(最終)を行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G		
	第8回	【テーマ】個別課題への理解と対応(1) 【計画内容】精神疾患について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・G					
テキスト	プリントを使用します							
参考書	十束士朗他、2004年、『あたらしい精神保健』、医学出版社							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		30%	30%	
	補足			レポート			小レポート取組み	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	臨床心理士、公認心理師、看護師					
		科目との関連	臨床心理士、公認心理師、看護師の経験を活かし、精神保健について教授する。					
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格	[健]介護福祉士_必修							
そ の 他	成績評価は、各項目の60%以上取得した場合を合格とする。 大学生としてのマナー、受講態度で受講すること。意欲的、積極的に学ぶ姿勢を重視するので、講義に集中できない学生はよく熟考して履修を決めること。							

科 目 名		心理学概論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		澤 聡一					
授 業 の 目 的	ねらい	人間の心のはたらきについて、乳幼児期から高齢期に至るまでの生涯発達の観点から捉え、心理学の基礎的知識を得ることは、自己洞察や他者理解を深めるための大切な営みです。サイエンスとアートの両面から、社会のニーズに応じて裾野を広げ続ける心理学の基本的知識の習得とその学習姿勢の醸成を目指すと共に、関連領域である教育や介護等の実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養うことを本講義の目標とします。					
	到達目標	(1)心理学の成立の背景を知り、人間の心のはたらきについての基本的な知識を習得する。 (2)生涯発達の観点から人間の成長のプロセスを理解する。 (3)日常生活における心の健康の維持についての理論を学び実践につなげる。 (4)福祉や教育等との関連をふまえながら心理的支援の方法と実際についての知識を得る。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】心理学の成り立ち 【計画内容】講義全体の流れを説明すると共に、心理学の成立の背景と、心を探究する方法をどのように発展させてきたかを知ること、心の学びのイントロダクションとします。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をあらかじめ読み、自身が学びたいことを整理しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】心と脳 【計画内容】心の生物学的基盤としての脳の構造や機能を知り、心のはたらきとどのように関連しているかを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第2回	【テーマ】集団心理・人と環境 【計画内容】人間は社会的存在であり、他者とかかわりあいながら生きています。ここでは、人間の行動が集団の中にあることで受ける影響や対人関係等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第10回	【テーマ】感情・動機づけ 【計画内容】感情についての理論、感情の発達、感情と表情、感情と文化、動機づけや様々な欲求等について概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第3回	【テーマ】パーソナリティ 【計画内容】類型論、特性論などの代表的なパーソナリティ理解の視点について学び、心理テストの体験学習等を通して自己理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第11回	【テーマ】心の健康と臨床心理学 【計画内容】臨床心理学の適用領域を通して心の健康について考えると共に、心理的支援の基本的技法と、認知行動療法や精神分析などの心理療法の主要な理論を概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第4回	【テーマ】自己理解・他者理解 【計画内容】環境との関係の中で生きる人の側面に注目し、自分や他人を理解するために有用な様々な概念を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第12回	【テーマ】心の問題への心理的支援 【計画内容】心理アセスメントや心理教育等、心理療法以外の心理援助職の職務や、さまざまな現場における実践について概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第5回	【テーマ】感覚・知覚 【計画内容】視覚、聴覚、知覚の体制化、錯視、文脈効果などの体験学習を通して、人間が外界からどのように情報を得て、用いているかを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第13回	【テーマ】心の発達の基盤と乳幼児期・児童期の発達 【計画内容】遺伝と環境、認知発達理論、発達段階説などをふまえて、アタッチメントや言語発達の様相などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第6回	【テーマ】記憶 【計画内容】記憶の仕組みに関する心理学的モデルや、記憶の種類、記憶の方略について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第14回	【テーマ】青年期以降の生涯発達 【計画内容】アイデンティティなどの青年期のテーマのほか、成人期、高齢期について学び、生涯発達の視点を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第7回	【テーマ】学習・行動 【計画内容】新しい行動の学習や、一度学習した行動の変容について、学習理論を中心に学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第15回	【テーマ】心理学と現代社会 【計画内容】ここまでの講義の内容を振り返ると共に、ストレスやレジリエンス等を題材に、現代社会のなかで心理学をどのように活かすかを考えます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	
	第8回	【テーマ】思考と言語 【計画内容】思考と推論の心理的プロセスについて学び、次いで言語やコミュニケーションに関わる心理学的知見を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K				
テキスト		プリント等を適宜配付します					
参 考 書		平田裕美・伊藤美奈子編、2010年、『心理学入門 - こころの仕組みを理解する -』、建帛社、9784767940137 繁樹算男編、2018年、『心理学概論（公認心理師の基礎と実践）』、遠見書房、9784866160528					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			40%		30%	30%
	補 足			最終課題		平時	毎回の感想・考察シート
課題に関するフィードバックの方法		最終評価は課題提出で行います。希望者には、個別に解説と講評を行います。					
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	臨床心理士、公認心理師等の心理援助職				
		科目との関連	心理援助職としての勤務経験を活かし、基礎から応用まで幅広い心理学の専門的知識の教授を行う。				
質問への対応		リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jp を用いてください。					
資 格		[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [教]社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_必修、認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必					
そ の 他		課題提出など、積極的な受講態度を期待します。					

科 目 名				高 齢 者 福 祉		授 業 形 態	講 義	単 位 数	2
教 員 名				吉田 修大					
授 業 の 目 的	ねらい	高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者と家族等とこれを取り巻く社会環境について理解する。また、高齢者福祉の歴史、高齢者観の変遷、高齢者福祉制度の発展過程について理解する。さらに、高齢者および家族等への支援に必要な法制度や支援の仕組みについて理解する。これらの授業目的に沿って、高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士として高齢者およびその家族への適切な支援のあり方を理解することをねらいとする。							
	到達目標	(1)高齢者の定義と特性、生活実態を多方面から理解する。 (2)高齢者福祉の歴史と発展過程、法制度について理解する。 (3)高齢者と家族等の支援における関係機関の役割と専門職の役割を理解する。							
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 高齢者の社会的理解を定義とイメージ、家族と社会関係、社会参加と生きがい、安全と差別のキーワードから考え理解する。 【授業時間外の学修内容】 シラバスの内容を熟読すること。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】 高齢者福祉の発展過程3 【計画内容】 高齢者福祉の理念(人権の尊重、尊厳の保持)、高齢者観の変遷(敬老思想、エイジズム、社会的弱者、アクティブエイジング)について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K			
	第2回	【テーマ】 高齢者の定義と特性1 【計画内容】 高齢者の定義や少子高齢社会の現状やその要因、地域間格差をキーワードにして、国内外の状況を理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第10回	【テーマ】 高齢者に対する法制度1 【計画内容】 介護保険法と介護保険制度の概要について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K			
	第3回	【テーマ】 高齢者の定義と特性2 【計画内容】 高齢者を取り巻く社会情勢について学び社会的特性について理解を深めるとともに、高齢者の身体的・精神的特性について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第11回	【テーマ】 高齢者に対する法制度2 【計画内容】 介護保険の保険者と被保険者、保険料、介護報酬の概要について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K			
	第4回	【テーマ】 高齢者の生活実態1 【計画内容】 高齢者の暮らし(住居や世帯、所得をめぐる変化、産業別従事者の推移、雇用・就労の実態、介護需要、介護予防について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第12回	【テーマ】 高齢者に対する法制度3 【計画内容】 老人福祉法、高齢者の医療等の確保に関する法律、高齢者虐待防止法について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K			
	第5回	【テーマ】 高齢者の生活実態2 【計画内容】 高齢者介護と家族の関係について、ライフサイクルの変化、扶養に関する変化から介護の問題と家族関係の変化について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第13回	【テーマ】 高齢者に対する法制度4 【計画内容】 バリアフリー法、高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K			
	第6回	【テーマ】 高齢者の生活実態3 【計画内容】 家族等の介護問題(老老介護、ダブルケア、介護者の離職、高齢者虐待など)について理解する。また、8050問題、独居など高齢者を取り巻く社会環境について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第14回	【テーマ】 関係機関と専門職の役割 【計画内容】 高齢者と家族等の支援における関係機関の役割、関連する専門職等の役割について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K			
	第7回	【テーマ】 高齢者福祉の発展過程1 【計画内容】 高齢者福祉の歴史について、古代の養老律令から四箇院、恤救規則といった制度とその背景を考えることにより理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第15回	【テーマ】 高齢者と家族等に対する支援の実際 【計画内容】 これまで学んできた知識を踏まえ、高齢者と家族等に対する支援の実際について、事例を用いて具体的な実践のあり方(社会福祉士の役割、他職種連携)について理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K			
	第8回	【テーマ】 高齢者福祉の発展過程2 【計画内容】 老人福祉法制定以降の歴史 昭和40年代から60年代、平成元年から7年、平成7年以降現代に至るまでの特徴から理解する。 【授業時間外の学修内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K						
テキスト		一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集、2021年、『最新 社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉』、中央法規出版、978-4-8058-8245-0							
参 考 書		講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			70%		30%			
課題に関するフィードバックの方法		課題等に対するフィードバックは、随時、授業内において行う。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明する。							
資 格		[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必							
そ の 他									

科 目 名			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			尾形 良子						
授 業 の 目 的	ねらい	相談援助の過程とそれに関わる知識と技術について理解します。相談援助における援助関係のあり方や面接技術の知識などの理解を通して、人間関係形成のための基礎的なコミュニケーションや対人援助の技法を学びます。 ①社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解します。 ②支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解します。 ③社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解します。							
	到達目標	(1)実践のために必要な人間理解や、他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーションに関する知識を習得します。 (2)ソーシャルアクション、ネットワーキング、コーディネーションについて理解します。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のオリエンテーション 【計画内容】科目の目的および目標の説明。授業の概要について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ネットワークの形成 【計画内容】ネットワーキングの意義・目的・方法、留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A			
	第2回	【テーマ】ソーシャルワークにおける援助関係の形成① 【計画内容】援助関係の意義と概念について学び、相談援助のあり方について考えます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業資料を復習しておくこと。	A・K	第10回	【テーマ】ネットワークの形成 【計画内容】セーフティネットの構築とネットワーキングについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A			
	第3回	【テーマ】ソーシャルワークにおける援助関係の形成② 【計画内容】援助関係を築く際の人間関係形成の方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A・K	第11回	【テーマ】ネットワークの形成 【計画内容】家族や住民、サービス提供者間のネットワーキングについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A			
	第4回	【テーマ】ソーシャルワークにおける援助関係の形成③ 【計画内容】援助関係に必要な面接技術について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A・K	第12回	【テーマ】ネットワークの形成 【計画内容】重層的な範囲(ミクロ・メゾ・マクロ)におけるネットワーキングについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A			
	第5回	【テーマ】ソーシャルワークにおける援助関係の形成④ 【計画内容】アウトリーチの意義と方法、留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A・K	第13回	【テーマ】ネットワークの形成 【計画内容】多様な分野の支援機関とのネットワーキングについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A			
	第6回	【テーマ】ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 【計画内容】社会資源の活用・調整・開発の意義、目的、方法、留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】ネットワークの形成 【計画内容】コーディネーションの意義、目的、方法、留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A			
	第7回	【テーマ】ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 【計画内容】ニーズの集約、提言、計画策定、実施、評価について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】さまざまな実践アプローチのまとめを行います。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A			
	第8回	【テーマ】ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 【計画内容】ソーシャルアクションの意義、目的、方法、留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を復習しておくこと。	A						
テキスト		プリントを使用します							
参 考 書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	40%				60%			
補 足									
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		授業後に質問を受け付けます。							
資 格		[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修							
そ の 他									

科 目 名		健康運動実践論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		小田 史郎、新開谷 深					
授 業 の 目 的	ねらい	健康づくり運動の指導者に必要となる「運動生理学」「機能解剖学」「スポーツバイオメカニクス」の3分野についての基礎知識を身につけることを目的とする。					
	到達目標	(1)運動生理学の基本的な内容について理解する。 (2)機能解剖学の基本的な内容について理解する。 (3)スポーツバイオメカニクスについての基本的な内容について理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】ガイダンス、運動が発現する仕組み 【計画内容】運動が発現する仕組みについて学ぶ。 (小田史郎) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】運動と免疫、体温調節 【計画内容】運動と免疫、体温調節について学ぶ。 (小田史郎) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	
	第2回	【テーマ】骨格筋の構造と収縮 【計画内容】骨格筋の構造と収縮のメカニズムについて学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	第10回	【テーマ】年齢に応じた体力変化と体力を決める要因 【計画内容】年齢に応じた体力変化と体力を決める要因について学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	
	第3回	【テーマ】筋線維の収縮特性 【計画内容】筋線維の収縮特性について学ぶ。 (小田史郎) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	第11回	【テーマ】身体運動に関係する骨、筋、関節 【計画内容】身体運動に関係する骨、筋、関節について学ぶ。(新開谷深) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	
	第4回	【テーマ】運動時の呼吸器応答 【計画内容】運動時の呼吸器応答について学ぶ。 (小田史郎) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	第12回	【テーマ】単関節運動と多関節運動 【計画内容】単関節運動と多関節運動について学ぶ。 (新開谷深) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	
	第5回	【テーマ】運動時の循環応答① 【計画内容】運動時の循環応答について学ぶ。 (小田史郎) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	第13回	【テーマ】筋と腱の弾性エネルギー 【計画内容】筋と腱の弾性エネルギーについて学ぶ。 (新開谷深) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	
	第6回	【テーマ】運動時の循環応答② 【計画内容】運動時の循環応答について学ぶ。 (小田史郎) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	第14回	【テーマ】着地衝撃とその緩和法 【計画内容】着地衝撃とその緩和法について学ぶ。 (新開谷深) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	
	第7回	【テーマ】最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値 【計画内容】最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値について学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	第15回	【テーマ】基本的な動作の力学的特徴 【計画内容】基本的な動作の力学的特徴について学ぶ。 (新開谷深) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G	
	第8回	【テーマ】運動トレーニングの効果について 【計画内容】運動トレーニングの効果について学ぶ。 (小田史郎) 【授業時間外の学修内容】関連する部分についてのプリントを読んでおく。	A・G				
テキスト		プリントを使用します					
参 考 書		講義時に説明します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	50%		50%			
	補 足	第16回に実施		毎回の 小レポート提出			
課題に関する フィードバックの方法		第16週の試験終了後に、その内容について解説します。					
実務経験と 授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応		研究室での対応のほか、メールでも対応します。E-Mail(小田):os@hokusho-u.ac.jp					
資 格		[健]健康運動実践指導者_必修					
そ の 他							

科 目 名		コーチ学		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		大宮 真一、畠中 智志、竹内 雅明					
授 業 の 目 的	ねらい	日本スポーツ協会は、2016年にコーチ育成のために『モデル・コア・カリキュラム』を作成した。グッドコーチに求められる資質能力を習得するために、「人間力」と称する「思考・判断(スポーツの意義と価値の理解、コーチングの理念・哲学等)」と、「態度・行動(対自分力、対他者力)」を理解し、より良い指導方法の基礎を学習する。優れたコーチの資質、役割、技術指導方法、指導計画、評価方法、さらには、競技に応じた指導計画の方法と IT 機器の活用について学ぶ。					
	到達目標	(1)体育・スポーツ指導に関する基礎理論を理解する。 (2)指導計画、指導過程及び指導技術方法を理解する。 (3)各競技の特性を考えた指導法を理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】15回の講義内容を説明し、「コーチ学」という講義で何を学ぶかを明確にする。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておく。今回の授業内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】スキルの学習過程 【計画内容】スポーツスキルを学習させる際の留意点について考える。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	
	第2回	【テーマ】職業の性質 【計画内容】体育教師・コーチという仕事の性質について考える。(大宮真一) 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を理解しておく。	A・G	第10回	【テーマ】競技力向上のためのチームマネジメント 【計画内容】効果的なチームマネジメント方法およびミーティング方法を考える。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	
	第3回	【テーマ】優れたコーチの資質 【計画内容】コーチとしての考え方、心構え、個性、プレーヤーとの望ましい関係について考える。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	第11回	【テーマ】個人競技の指導方法 【計画内容】個人競技に関する指導方法について考える。(大宮真一) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	
	第4回	【テーマ】コーチの役割について 【計画内容】コーチの役割を果たすために必要な事柄(指導計画のたて方など)を考える。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	第12回	【テーマ】個人・集団混合競技の指導方法 【計画内容】個人競技要素と集団競技要素を含む種目に関する指導方法について考える。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	
	第5回	【テーマ】トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～ 【計画内容】指導者として成功するための着眼点、育成年代のコーチングについて考える。(大宮真一) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	第13回	【テーマ】集団競技の指導方法 【計画内容】集団競技に関する指導方法について考える。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	
	第6回	【テーマ】スキル指導の準備・安全管理 【計画内容】スキル習得のための事前準備・安全管理について考える。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	第14回	【テーマ】指導理念および指導計画の具体化 【計画内容】自身の経験をもと理想とするコーチ理念および指導計画を作成する。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	
	第7回	【テーマ】指導上の倫理 【計画内容】体育指導者、コーチとしてふさわしい倫理感とは何かを考える。(畠中智志) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G	第15回	【テーマ】コーチの具体的指導法まとめ 【計画内容】前回までの授業を振り返り、理解度を確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回までのノート・プリントを熟読し理解を深めておくこと。	A・G	
	第8回	【テーマ】競技スポーツと IT(情報技術) 【計画内容】スポーツに関連する情報技術・分析について考える。(大宮真一) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておく。	A・G				
テキスト		パワーポイントスライド資料を使用します					
参 考 書		講義時に説明します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補 足			70% レポート		30%	
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格		[ス]認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修					
そ の 他							

科 目 名			基礎解剖学			授業形態		講義		単 位 数		2	
教 員 名			高田 真吾										
授 業 の 目 的			ねらい	人体の組織および器官がどのような構造で成り立ち、どのような機能を持っているかを理解することを目的とする。特に、身体運動の基本となる受動的運動器である骨格系と能動的運動器である筋系の形態と機能を重点的に学ぶ。									
			到達目標	(1)人体の基礎的な構造に関し、その名称と働きを理解する。 (2)身体運動に関わる構造、形態、機能を理解する。									
授 業 の 計 画			第1回	【テーマ】解剖学総論 【計画内容】解剖学の概念および細胞・組織・器官・系統・方向・面について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】解剖学の成り立ちについて理解しておくこと。	A	第9回	【テーマ】脳・神経系 【計画内容】中枢神経・末梢神経の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A					
			第2回	【テーマ】骨格系(1) 【計画内容】骨および関節の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第10回	【テーマ】循環系 【計画内容】心臓・血管の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A					
			第3回	【テーマ】骨格系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部・腹部・上肢・下肢の骨について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第11回	【テーマ】呼吸器系 【計画内容】呼吸、ガス交換の機序と肺の構造について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A					
			第4回	【テーマ】筋系(1) 【計画内容】筋および軟部組織の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第12回	【テーマ】内分泌系 【計画内容】身体の働きの調節機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A					
			第5回	【テーマ】筋系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第13回	【テーマ】感覚器系 【計画内容】感覚受容器の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A					
			第6回	【テーマ】筋系(3) 【計画内容】腹部・背部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第14回	【テーマ】消化器・泌尿器系 【計画内容】消化器・腎臓の構造と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A					
			第7回	【テーマ】筋系(4) 【計画内容】上肢・手の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A	第15回	【テーマ】基礎解剖学総括・テスト 【計画内容】これまでの学習を振り返り、自己の課題を明らかにする。 【授業時間外の学修内容】テキスト・ノートを熟読し、前回までの授業内容を復習し、理解を深めておくこと。	A					
			第8回	【テーマ】筋系(5) 【計画内容】下肢・足の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。	A								
テキスト			細田多穂監修、2015年、『シンプル理学療法学 作業療法学シリーズ 運動器系解剖学テキスト』、南江堂										
参 考 書			竹内修二監修、2012年、『カラー図解 人体解剖の基本がわかる事典』、西東社										
成績評価の方法					筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他			
			配分	足	60%		30%		10%				
課題に関するフィードバックの方法													
実務経験と授業の関連					経 験 内 容								
					科目との関連								
質問への対応			講義終了時に具体的な説明をします。										
資 格			[健]健康運動指導士_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修										
そ の 他			健康運動実践指導者、健康運動指導士、教職希望者は履修することが望ましい。人間の身体の基礎を学ぶ授業であり、学習量も多くなるので、必ず毎回の授業の復習を行って、知識を積み重ねていくことが望ましい。										

科 目 名		トレーニング論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		山本 敏美					
授 業 の 目 的	ねらい	体力の意義を学び、トレーニング理論と方法を学習する。対象や目的に応じた適切な身体運動のトレーニング方法の知見を広げる。その為にトレーニング全般に関する基礎理論と応用の知識を学ぶ。内容は競技スポーツ分野、フィットネス(一般)分野、高齢者から子どもに対してなどあらゆる対象に適したトレーニング方法の習得を目指す。					
	到達目標	(1)あらゆるニーズに対応したトレーニングプログラムの計画、作成することができる。 (2)トレーニングの原理原則を説明できる。 (3)トレーニングに関する正しい知識の理解と説明を行うことができる。					
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 授業の紹介を行い、15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】 トレーナーとは、その役割と仕事内容、トレーニングの基礎知識を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】 持久力向上トレーニングのプログラム作成と計画 【計画内容】 持久力向上トレーニングのプログラム作成の基本を説明し、持久力を向上させる代表的トレーニング手段、方法、計画などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第4節」、「第3章第3節」を読んでおくこと。	A	
	第2回	【テーマ】 体力とトレーニング論 【計画内容】 トレーニングと体力、指導者とはなど、トレーニングの概要について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第1章第1節」を読んでおき、体力の概念について調べておくこと。	A	第10回	【テーマ】 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成と計画 【計画内容】 スピードの概念、要因、スピード向上トレーニングの基本動作、エクササイズ、計画などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第5節」を読んでおくこと。	A	
	第3回	【テーマ】 トレーニング計画の立案と進め方 【計画内容】 トレーニングの原理・原則について説明し、トレーニングプログラム作成の全体的手順について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第1節」を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】 調整力向上トレーニングの理論と計画 【計画内容】 調整力(平衡性、巧緻性、敏捷性)の概念、トレーニングの計画について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第3章第4節」を読んでおくこと。	A	
	第4回	【テーマ】 筋力トレーニングのプログラム作成と計画① 【計画内容】 筋力トレーニングの目的と効果、プログラムを構成する要素など、筋力トレーニングのプログラムの条件設定、計画について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第2節」を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】 調整力向上トレーニングのプログラム作成 【計画内容】 ニュートンの運動3法則、体幹の定義、調整力向上トレーニングの基本動作、エクササイズについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第3章第4節」を読んでおくこと。	A	
	第5回	【テーマ】 筋力トレーニングのプログラム作成と計画② 【計画内容】 筋力トレーニングの実施に当たり、動作スピード、補助方法、呼吸法などについて学びます。また、筋肥大、筋力向上、筋持久力などトレーニング目的に応じた条件設定方法、計画についても学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第2節」を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】 柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成と計画 【計画内容】 柔軟性を規定する要因、関節可動域の制限因子、各関節可動域、ストレッチングの基礎理論、効果、方法について学びます。また、柔軟性プログラムの実施方法、ウォーミングアップとクールダウンの理論と効果、分類、方法、計画についても学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第6節」を読んでおくこと。	A	
	第6回	【テーマ】 パワー向上トレーニングの理論 【計画内容】 パワーの基本概念、力の立ち上がり率、パワー発揮様式の分類などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第3節」を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】 特別な対象のためのトレーニングとプログラム作成と計画 【計画内容】 メタボリックシンドローム、高齢者、妊婦、子どもに対するトレーニングプログラムの概念、効果、実施方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第7節」を読んでおくこと。	A	
	第7回	【テーマ】 パワー向上トレーニングのプログラム作成と計画 【計画内容】 パワー向上トレーニングのプログラム戦略、プログラム変数、反動動作における生理学的基礎、プライオメトリクスなどのパワー向上トレーニングの実施方法、計画について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第3節」、「第3章第2節」を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 これまでの講義のまとめとして内容の振り返りを行い、そしてその確認を行います。 【授業時間外の学修内容】 これまでの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。	A	
	第8回	【テーマ】 持久力向上トレーニングの理論 【計画内容】 持久力に関する基礎理論、有酸素性持久力向上トレーニング及び無酸素性持久力向上トレーニングに対する基本的な適応について学びます。 【授業時間外の学修内容】 テキスト「第2章第4節」を読んでおくこと。	A				
テキスト		NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2018年、『トレーニング指導者テキスト「実践編」改訂版』、大修館書店、9784469267549					
参 考 書		公益財団法人健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	50%				50%	
補 足							
課題に関するフィードバックの方法		毎回の授業の最後に学習のための課題を提示し、学んだ内容の理解度を確認します。					
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	スポーツトレーナー、資格：日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者、NSCA-CSCS				
		科目との関連	スポーツトレーナーとして運動選手やスポーツ愛好家のトレーニング指導を行ってきた経験をもとに実務に即した指導を行う				
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します					
資 格		〔健〕健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅲ)_必修					
そ の 他							

科 目 名		レジャー・レクリエーション論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		坂谷 充						
授 業 の 目 的	ねらい	科学技術の進歩とともに労働の効率化がなされ、物質的に豊かになってきた反面、自然破壊や心身への過度のストレスなど多くの課題が生まれてきています。そのような背景から、単に働くばかりでは真の豊かさを築くことが出来ない事に気づき、労働時間の短縮や生涯学習事業の充実など、余暇活動の整備が図られてきました。レジャー・レクリエーションは労働と対比する遊びの領域で展開され、豊かでゆとりのあるくらしを支える重要な要素です。国民の誰もが生涯を通じてレジャー・レクリエーションサービスを楽しめる社会システムが望まれています。本講義では、労働と余暇という本質的なテーマを問いつつ、レクリエーションの企画・展開方法についても学びます。						
	到達目標	(1)現代社会におけるレジャー・レクリエーションの意義について理解する。 (2)レクリエーションの企画や運営、安全管理等について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義内容や展開方法について説明します。 【授業時間外の学修内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。レジャーレクリエーションの定義を調べ、自身の考えをまとめておく。	A	第9回	【テーマ】 レクリエーションイベントの企画 【計画内容】 レクリエーション・イベントについて、企画をする上での必要事項や資源などの基礎について学び、グループに分かれて企画を行います。 【授業時間外の学修内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A・H		
	第2回	【テーマ】 レジャー、レクリエーションの概念の理解 【計画内容】 レジャー、レクリエーションについての基礎について学習します。 【授業時間外の学修内容】 指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A・G	第10回	【テーマ】 レクリエーションイベントの企画書作成 【計画内容】 実際にレクリエーションイベントを企画し、企画書を作成します。 【授業時間外の学修内容】 今まで学んだことを活かし、レクリエーションイベントについてアイデアを考えておくこと。	A・G・H		
	第3回	【テーマ】 現代社会におけるレジャー、レクリエーションの意義 【計画内容】 現代社会におけるレジャー、レクリエーションの意義、役割について学習します。 【授業時間外の学修内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A・G	第11回	【テーマ】 レクリエーションイベントの実際①(説明・準備) 【計画内容】 室内で手軽にできるレクリエーションイベントの説明を行います。 【授業時間外の学修内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A・G		
	第4回	【テーマ】 レクリエーション支援の理論と方法 【計画内容】 レクリエーション支援の目的および考え方を学び、その方法を学習します。 【授業時間外の学修内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A・E・G	第12回	【テーマ】 レクリエーションイベントの実際②(課題体験) 【計画内容】 誰でも手軽にできる室内レクリエーションイベントを実際に体験します。 【授業時間外の学修内容】 体験を通して感じたこと、学んだことをまとめておくこと。	H・M		
	第5回	【テーマ】 ライフスタイルとレクリエーション 【計画内容】 各ライフステージにおけるレクリエーションの意義について学習します。 【授業時間外の学修内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A・G	第13回	【テーマ】 レクリエーションイベントの実際③(評価) 【計画内容】 前回の授業内容をもとにレクリエーションがもたらす成果について学習します。 【授業時間外の学修内容】 体験を通して感じたこと、学んだことをまとめておくこと。	A・G・L		
	第6回	【テーマ】 レクリエーション・マネジメントの基礎 【計画内容】 レクリエーション組織のマネジメントに関する基礎理論を学習します。 【授業時間外の学修内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A・G	第14回	【テーマ】 講義の振り返り 【計画内容】 これまでの講義を振り返り、学習状況を把握するためのレポートを行います。 【授業時間外の学修内容】 これまでの講義内容を復習しておくこと。	A・G・L		
	第7回	【テーマ】 レジャー・レクリエーションの安全管理 【計画内容】 レジャー・レクリエーションの安全管理について、その目的や考え方、方法などを学びます。 【授業時間外の学修内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A・G	第15回	【テーマ】 まとめ 【計画内容】 これまでの講義のまとめとテストを実施します。 【授業時間外の学修内容】 これまでの講義内容を整理し、まとめておくこと。	A・G・L		
	第8回	【テーマ】 レクリエーションにおけるプレゼンテーションの実際 【計画内容】 レクリエーション企画場面および指導場面におけるプレゼンテーションや発話について、その考え方や効果的な方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A・G					
テキスト	プリントを使用する							
参 考 書	財団法人日本レクリエーション協会編、1994年、『レクリエーションマネジメント』、大修館書店、4469262838 財団法人日本レクリエーション協会編、2019年、『楽しさを通した心の元気づくり：レクリエーション・インストラクター養成テキスト』、財団法人日本レクリエーション協会、9784931180956 財団法人日本レクリエーション協会編、2006年、『豊かに遊べる仕組みをつくる：レクリエーション・コーディネートのすすめかた：レクリエーション・コーディネーター養成テキスト』、財団法人日本レクリエーション協会、493118068X							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%		20%		30%		
	補足			作品		授業への取り組み		
課題に関するフィードバックの方法	授業の中で、随時フィードバックを実施します。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	質問、欠席届などは sakatani@hokusho-u.ac.jp まで。なお大学のアドレスからメールを送付すること。またはオフィスアワー(4月中に発表)を活用してください。詳細は初回講義時に説明します。							
資 格	【健】レクリエーション・インストラクター_必修 【ス】レクリエーション・インストラクター_必修、レクリエーション・コーディネーター_必修							
そ の 他	毎回配付するプリントに講義内容を記入し、講義ノートを完成させます。							

科 目 名	生涯スポーツ(陸上競技)				授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名	大宮 真一、北風 沙織、仁井 有介							
授 業 の 目 的	ねらい	陸上競技における走競技種目(短距離走・中長距離走・ハードル競走・リレー競走など)、跳躍競技種目(走幅跳・走高跳・三段跳など)、投てき競技種目(砲丸投・円盤投・やり投など)の特性を理解し、基本的な技術を習得することにより、各種目の技能向上をはかることを目標とする。						
	到達目標	(1)陸上競技各種目の基本的技術を身につける。 (2)陸上競技各種目の概要とルールを学ぶ。 (3)陸上競技各種目における技能向上の指導方法を学ぶ。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 基礎理論 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ハードル競走における概要と基礎技術(前半グループ)/走幅跳における概要と基礎技術(後半グループ) 【計画内容】ハードル競走におけるハードリング技術を学びます。(前半グループ)/走幅跳で遠くに跳ぶための原理、空中フォーム、踏切脚・リード脚の技術を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第2回	【テーマ】短距離走におけるスタートの指導方法(前半グループ)/砲丸投における概要と基礎技術(後半グループ) 【計画内容】短距離走におけるスタートダッシュの技術を学びます。(前半グループ)/投擲種目を行う際の安全に実施するための留意点を学び、砲丸投の投法および遠くに飛ばすことの原理を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第10回	【テーマ】ハードル競走における技術向上の指導方法(前半グループ)/走幅跳の技術向上の指導方法(後半グループ) 【計画内容】ハードル競走に必要な体力的要因およびトレーニング方法を学びます。(前半グループ)/走幅跳の助走でのリズム、助走距離決定についての指導方法を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第3回	【テーマ】短距離走における中間疾走の指導方法(前半グループ)/砲丸投における技術向上の指導方法(後半グループ) 【計画内容】短距離走におけるピッチ・ストライドを向上させるトレーニング方法を学びます。(前半グループ)/砲丸投における遠くに飛ばすためのトレーニング方法を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第11回	【テーマ】ハードル競走におけるまとめと技能評価(前半グループ)/走幅跳のまとめと技能評価(後半グループ) 【計画内容】50mハードルのまとめと記録を測定します。(前半グループ)/走幅跳の跳躍距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第4回	【テーマ】短距離走におけるまとめと技能評価(前半グループ)/砲丸投におけるまとめと技能評価(後半グループ) 【計画内容】100m走タイムを測定します。測定者はストップウォッチの使用法、およびスタート合図の仕方を学びます。(前半グループ)/砲丸投の投距離を測定します。投距離測定方法および競技会のルールを学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第12回	【テーマ】走幅跳における概要と基礎技術(前半グループ)/ハードル競走における概要と基礎技術(後半グループ) 【計画内容】走幅跳で遠くに跳ぶための原理、空中フォーム、踏切脚・リード脚の技術を学びます。(前半グループ)/ハードル競走におけるハードリング技術について学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第5回	【テーマ】砲丸投における概要と基礎技術(前半グループ)/短距離走におけるスタートの指導方法(後半グループ) 【計画内容】投擲種目を行う際の安全に実施するための留意点を学び、砲丸投の投法および遠くに飛ばすことの原理を学びます。(前半グループ)/短距離走におけるスタートダッシュの技術を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第13回	【テーマ】走幅跳の技術向上の指導方法(前半グループ)/ハードル競走における技術向上の指導方法(後半グループ) 【計画内容】走幅跳の助走でのリズム、助走距離決定についての指導方法を学びます。(前半グループ)/ハードル競走に必要な体力的要因およびトレーニング方法を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第6回	【テーマ】砲丸投における技術向上の指導方法(前半グループ)/短距離走における中間疾走の指導方法(後半グループ) 【計画内容】砲丸投における遠くに飛ばすためのトレーニング方法を学びます。(前半グループ)/短距離走におけるピッチ・ストライドを向上させるトレーニング方法を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第14回	【テーマ】走幅跳におけるまとめと技能評価(前半グループ)/ハードル競走のまとめと技能評価(後半グループ) 【計画内容】走幅跳の跳躍距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技を学びます。(前半グループ)/50mハードルのまとめと記録を測定します。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第7回	【テーマ】砲丸投におけるまとめと技能評価(前半グループ)/短距離走におけるまとめと技能評価(後半グループ) 【計画内容】砲丸投の投距離を測定します。投距離測定方法および競技会のルールを学びます。(前半グループ)/100m走タイムを測定します。測定者はストップウォッチの使用法、およびスタート合図の仕方を学びます。(後半グループ)(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】短距離走、砲丸投、ハードル走、走幅跳の実技における総まとめを行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】充分に実技を行える準備をしておくこと。	E・H		
	第8回	【テーマ】陸上競技のルール 【計画内容】陸上競技の走、跳、投に関わる公式競技会のルールについて学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】日本陸上競技連盟の公式ルールブックを熟読すること。	K					
テキスト	必要に応じてプリントを配付します							
参 考 書	日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 基礎から身につく陸上競技初級編』、大修館書店 日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 レベルアップの陸上競技上級編』、大修館書店 日本陸上競技学会、2020年、『陸上競技のコーチング学』、大修館書店							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		30%	30%	
	補足			レポート(Forms)		平時	技能到達度	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格								
そ の 他	競技種目の順序・内容は変更することもあります。 雨天時は、アリーナ研修室へ集合のこと。必ず室内シューズも用意すること(屋外シューズの代用不可)。 「生涯スポーツ指導演習(陸上競技)」を履修する者は必ず履修してください。							

科 目 名		生涯スポーツ(バレーボール)				授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		永谷 稔							
授 業 の 目 的	ねらい	バレーボールにおける基礎からゲームに至るまでのさまざまな技術や方法を実践し、自らの技術向上のみならず、指導方法についても身につけたい。そして、最低限のプレー技術を習得するとともに、ルールや歴史の変遷、審判法についても学習し、教養を深め、何よりチームスポーツの素晴らしさを体得したい。							
	到達目標	(1)オーバーハンド・アンダーハンドパスなどの基礎技術において、一定レベルまでの到達。 (2)ローテーションやフォーメーションの理解。 (3)ルールの理解と審判法の習得。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本実技の紹介をし、15回の展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】バレーボールの特性を理解しておくこと。	E	第9回	【テーマ】ブロックの構え、動き 【計画内容】ブロックの構えおよびその動き。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第2回	【テーマ】ボール慣れの練習 【計画内容】バレーボールを使ってボール慣れの練習。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第10回	【テーマ】ブロックの練習方法 【計画内容】ブロックの練習方法とその実践。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第3回	【テーマ】オーバー・アンダーハンドパスの構え、動き 【計画内容】基本的なパスとトスの構えおよびその動き。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第11回	【テーマ】サービスの種類、練習 【計画内容】サービスの種類およびその練習。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第4回	【テーマ】パスとトスの練習方法 【計画内容】パスとトスの練習方法の実践。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第12回	【テーマ】守備のフォーメーション 【計画内容】守備フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第5回	【テーマ】スパイクの種類、動き 【計画内容】基本的なスパイクの種類およびその動き。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第13回	【テーマ】攻撃のフォーメーション 【計画内容】攻撃フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第6回	【テーマ】スパイクの練習方法 【計画内容】スパイクの練習方法の実践。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第14回	【テーマ】ルールと審判法 【計画内容】ルールと審判法について、実践を交えて解説。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E			
	第7回	【テーマ】レシーブの構え、動き 【計画内容】基本的なレシーブの構えおよびその動き。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E	第15回	【テーマ】まとめとふりかえり 【計画内容】まとめとして実技スキルの確認とふりかえりを行う。 【授業時間外の学修内容】本実技のふりかえり、スキル向上確認を行う。	E			
	第8回	【テーマ】レシーブの練習方法 【計画内容】レシーブの練習方法の実践。 【授業時間外の学修内容】前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	E						
テキスト		必要に応じて資料やプリントを配付します							
参 考 書		日本バレーボール協会、2019年、『バレーボール6人制競技規則(ルールブック)』、日本バレーボール協会 必要に応じて資料やプリントを配付します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分	25%	50%			25%			
補 足									
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回授業時に具体的に説明します							
資 格									
そ の 他		上級者は示範など積極的に行うこと。適宜ゲームを行うが、チームスポーツとして協調性やチームワークを尊重すること。最低限のルール理解やゲーム運営に必要な知識は身につけること。 第16回に確認試験を実施する。教職必修である3年次開講の「生涯スポーツ指導演習(バレーボール)」を履修する者は、必ず履修すること。							

科 目 名		生涯スポーツ(エアロビック)		授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		是枝 亮					
授 業 の 目 的	ねらい	エアロビックは、健康体力づくりを目的とした有酸素運動であるだけではなく、明確で多様な動きの身体表現と技術の向上を楽しむスポーツとしても発展してきている。授業では、エアロビックの基礎理論を学ぶとともに、基本動作を段階的に学習し、音楽にあわせてリズムカルに身体を動かす楽しさを体験する。エアロビックの基本技術、基礎技術を身につけることにより、生涯スポーツとして幅広く親しまれているエアロビックの特性を理解することをねらいとする。					
	到達目標	(1)エアロビックの基本動作を段階的に学習し、明確な動きを行う。 (2)エアロビックのプログラムの基本構成を理解する。 (3)複数で行うエアロビックの発表を通し、表現スポーツとしての理解を深める。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス・エアロビック総論 【計画内容】エアロビックの歴史と特性、指導者の資格と役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	E・K	第9回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(5) 【計画内容】音楽、動きのリズム構成に対する理解を深め、リズム変化を伴った基本動作を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	
	第2回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と実際(1) 【計画内容】エアロビックのプログラム構成と基本姿勢、基本の動きについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第10回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(6) 【計画内容】多様な動きをリズムカルに動く技術およびストレッチングの方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	
	第3回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と実践(2) 【計画内容】エアロビックの運動強度およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第11回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(7) 【計画内容】多様な動きで作られたルーティンを明確に行う技術を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	
	第4回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と実践(3) 【計画内容】ウォームアップとクールダウンの意義および音楽の選択について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第12回	【テーマ】チームパフォーマンスの構成(1) 【計画内容】複数で行うエアロビックの基本を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・H・K	
	第5回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(1) 【計画内容】下肢の基本動作、動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第13回	【テーマ】チームパフォーマンスの構成(2) 【計画内容】複数で行うエアロビックを創作する。 【授業時間外の学修内容】前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・H・K	
	第6回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(2) 【計画内容】上肢下肢の組み合わせによる基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第14回	【テーマ】チームパフォーマンスの構成(3) 【計画内容】複数で行うエアロビックを表現スポーツとして完成度を高める。 【授業時間外の学修内容】前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・H・K	
	第7回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(3) 【計画内容】上肢と下肢の複雑な動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K	第15回	【テーマ】まとめとチームパフォーマンスの発表 【計画内容】実技課題の確認と発表を行う。 【授業時間外の学修内容】前々までの内容について十分に復習し、チームパフォーマンスを発表する準備をしておくこと。	E・F・H・L	
	第8回	【テーマ】エアロビックの基礎技術の習得(4) 【計画内容】方向転換、移動を伴った基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E・K				
テキスト		プリントを使用します					
参 考 書		1995年、『エアロビック指導教本』、(公社)日本エアロビック連盟 1999年、『新・エアロビックダンスエクササイズの実技指導』、(公社)日本フィットネス協会					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分		60%	20%		20%	
補 足							
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	日本スポーツ協会公認エアロビックコーチ4				
		科目との関連	指導経験、資格を活かし、専門知識・技能を教授する。				
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します					
資 格		[健]健康運動実践指導者_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、エアロビックコーチ1_必修					
そ の 他		「生涯スポーツ指導演習(エアロビック)」は、この授業を履修していなければ受講できない。 健康運動指導士取得希望者は履修すること。教職(保健体育)希望者は履修することが望ましい。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。					

科 目 名		介護予防実践演習				授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		小田 史郎、阿部 豊、梶 晴美、小坂井 留美、杉岡 品子、竹田 千春、古市 孝義、八巻 貴穂							
授 業 の 目 的	ねらい	本科目では、介護予防論を踏まえ、地域で活動している団体等で実践している内容について現場実習を通じて体験する。また、本講座終了後、介護予防リーダーとしてどのような活動を行っていききたいのかについての修了レポートを作成し、介護予防計画の立案についての学びを深める。							
	到達目標	(1)住民が主体となった介護予防推進の実践について理解する。 (2)現場での体験をしながら介護予防リーダーの役割について理解する。 (3)住民主体の介護予防計画を立案できるようになる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】オリエンテーション／介護予防論で学んだことの振り返りを行う。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】介護予防論で学んだことを復習しておく。また、今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】介護予防計画の立て方② 【計画内容】介護予防イベントを考える(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。イベントについてまとめる。	A・G			
	第2回	【テーマ】介護予防の実践について① 【計画内容】介護予防についての動画を見てイメージをつかむ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。授業で習ったことを復習する。	A	第10回	【テーマ】介護予防計画の立て方③ 【計画内容】介護予防イベントを考える(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。イベントについてまとめる。	A・G			
	第3回	【テーマ】介護予防の実践について② 【計画内容】ゆる元、自宅でできる運動、軽スポーツなどについて理解する(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。授業で習ったことを復習する。	A	第11回	【テーマ】介護予防イベントの準備① 【計画内容】介護予防イベントに向けての準備を進める(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。イベントについて準備を進める。	B・G			
	第4回	【テーマ】介護予防の先駆的事例から学ぶ① 【計画内容】愛知県武豊町「地域サロン事業」東京都豊島区「元気！ながさきの会」「浦安市アカデミア」などについて学ぶ(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。授業で習ったことを復習する。	A	第12回	【テーマ】介護予防イベントの準備② 【計画内容】介護予防イベントに向けての準備を進める(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。イベントについて準備を進める。	B・G			
	第5回	【テーマ】介護予防の先駆的事例から学ぶ② 【計画内容】愛知県武豊町「地域サロン事業」東京都豊島区「元気！ながさきの会」「浦安市アカデミア」などについて学ぶ(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。授業で習ったことを復習する。	A	第13回	【テーマ】プログラムの考案① 【計画内容】これまで学んだことをふまえてオリジナルの介護予防計画を立て、レポートにまとめる(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】これまでに得た知識や経験をまとめておく。	G			
	第6回	【テーマ】北海道の各自治体における取り組みについて① 【計画内容】北海道の各自治体における取り組みについて、HPなどで調べ、抱えている課題や地域資源を抽出する(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。授業で習ったことを復習する。	B・G	第14回	【テーマ】プログラムの考案② 【計画内容】これまで学んだことをふまえてオリジナルの介護予防計画を立て、レポートにまとめる(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】これまでに得た知識や経験をまとめておく。	G			
	第7回	【テーマ】北海道の各自治体における取り組みについて② 【計画内容】北海道の各自治体における取り組みについて、HPなどで調べ、抱えている課題や地域資源を抽出する(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。授業で習ったことを復習する。	B・G	第15回	【テーマ】発表、まとめ 【計画内容】介護予防計画を完成し、報告する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】自らが作成した介護予防計画を説明できるようにしておく。	F			
	第8回	【テーマ】介護予防計画の立て方① 【計画内容】介護予防イベントを考える(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見る。イベントについてまとめる。	A・G						
テキスト		講義内で提示します							
参 考 書		講義内で提示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			60%		40%			
課題に関するフィードバックの方法		課題である介護予防計画については、指導教員の指導を受けながら完成を目指します。第15週の介護予防計画の報告後に講評をします。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		講義全体についての質問は小田先生、それ以外の学習内容等についてはそれぞれの担当教員が対応します。							
資 格									
そ の 他		本演習は、「介護予防論」を履修済みの学生が対象となります。							

科 目 名			生活の中の介護福祉			授業形態		講義		単 位 数		2	
教 員 名			福島 義典										
授 業 の 目 的	ねらい	少子高齢社会といわれる現代では、介護を必要とする人の増加を背景に「介護」に関連する様々な課題が問われています。それらの課題と関連させながら「介護」とは何かを考えていきます。高齢者福祉、障がい者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から基礎的な知識を習得します。											
	到達目標	(1)介護・介護福祉についての基本的な知識を身につける。 (2)介護を取り巻く状況について、社会情勢と関連付けて考えることができる。 (3)介護を必要とする人の尊厳の保持と自立支援の重要性を理解する。											
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 介護・介護福祉の概念・理念、介護における倫理について 【計画内容】講義展開の説明から講義の全体像を把握し、学び方を考えます。介護等の理念等、人権と尊厳を支える介護、自立支援など介護における倫理についても学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をよく読んでおいてください。今回の講義内容を次回までに復習しておいてください。	A・B		第9回	【テーマ】障がいの理解について 【計画内容】介護を行う上で障がいの制度、内容や関わり、手話などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。		A・B					
	第2回	【テーマ】介護におけるコミュニケーションについて 【計画内容】 日常で行っているバーバル、ノンバーバルコミュニケーションを含めて、介護を通じてその意味と方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A・B		第10回	【テーマ】ターミナルケアについて 【計画内容】 ホームに入居している介護が必要な高齢者が、エンディングまで人生を生き抜くために行う支援と介護について学びます。 【授業時間外の学修内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。		A・B					
	第3回	【テーマ】移動、排せつの介護について 【計画内容】 移動、排せつに関する介護等を介護用品も確認しながら、QOL も含めてケア内容等について学びます。 【授業時間外の学修内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A・B		第11回	【テーマ】介護予防について 【計画内容】 ケアレクやケアアクティビティ等、現在の介護予防の取り組みについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。課題に取り組んで下さい。		A・B					
	第4回	【テーマ】食事、入浴の介護について 【計画内容】 食事、入浴に関する介護等を QOL も含めてケア内容等について学びます。 【授業時間外の学修内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A・B		第12回	【テーマ】心身の健康管理について 【計画内容】 介護を行う上で大切となる心と体の健康管理を感染症予防、腰痛予防、メンタルヘルス等を通じて学びます。 【授業時間外の学修内容】 今まで配付した資料を確認し、復習しておいてください。		A・B					
	第5回	【テーマ】認知症ケアについて 【計画内容】 アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症等の疾病、そのケア対応内容などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A・B		第13回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】 講義全体の振り返りをし、学びの確認をします。 【授業時間外の学修内容】 これまでの講義内容を配付したプリントと各自のノートで復習してください。		A・B					
	第6回	【テーマ】福祉用具の意義と活用について 【計画内容】 よりよい生活を送るために福祉用具にはどのようなものがあるのか。福祉用具を利用した自立と介護について学びます。 【授業時間外の学修内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A・B		第14回	【テーマ】社会と生活のしくみについて 【計画内容】 介護、介護福祉に関連する社会と生活のしくみの課題等について学びます。 【授業時間外の学修内容】 これまでの講義内容を配付したプリントと各自のノートで復習してください。		A・G					
	第7回	【テーマ】リスクマネジメントについて 【計画内容】 日常生活で起こり得るリスクについて、ソフト(人)やハード(物)を活用した予防方法等について学びます。 【授業時間外の学修内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A・B		第15回	【テーマ】今後のケアワークについて～地域共生社会の実現に向けた制度や施策 【計画内容】 ケアワークの現状と課題と魅力と今後について、そして地域共生社会の実現に向けた制度や施策について学びます。 【授業時間外の学修内容】 これまでの講義内容を配付したプリントと各自のノートで復習してください。		A					
	第8回	【テーマ】介護実践に関連する諸制度について 【計画内容】 介護実践に関連する介護保険制度、老人福祉法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A・B										
テキスト		講義時にプリントを配付します。											
参 考 書		講義時にプリントを配付します。											
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他						
	配分	50%				50%							
補 足													
課題に関するフィードバックの方法		各講義課題は、次の講義で確認していきます。また第13回で講義全体の振り返りをし、課題、学びの確認を行います。											
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	介護福祉士										
		科目との関連	介護福祉士としての業務経験をもとに実務に即した指導を行います。										
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。											
資 格		[健]介護福祉士_必修											
そ の 他		・成績評価の方法…筆記試験50%、受講態度50%(出席状況、課題提出含む) ・第16回に最終評価のためのテストを行います。自ら考え学ぶ姿勢と積極的な受講態度を期待します。											

科 目 名		福祉心理学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		佐藤 至英						
授 業 の 目 的	ねらい	今日の福祉問題に関する心理学的研究は始まったばかりであり、いまだに未開拓な面が多い。本講義では、福祉現場において生じる問題及びその背景を理解したうえで、社会福祉学と心理学の学際的研究領域である福祉心理学とはどのような学問なのか、福祉的対応がどのような心理的影響を与えるのかについて明らかにすることを目的とする。具体的には、福祉的対応を必要とする人々の心理的特性ならびに福祉的対応に役立つ心理的技法、そして福祉現場におけるチームマネジメント、心理社会的課題、チームで働くための基盤となるコミュニケーション及び必要な支援などについて、いくつかの事例をもとに学ぶ。						
	到達目標	(1)福祉心理学とは何かを理解する。 (2)対人援助における心理的支援について、基本的な理解を得る。 (3)対人援助における心理的援助の方法について、基本的な理解を得る。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】福祉心理学とは何か 【計画内容】福祉心理学の定義、Welfare の意味、福祉のための心理学とは何か、幸せとは何かについて理解する。 【授業時間外の学修内容】目的と目標の違い、見えるものではなく見えないものの価値について考える。	A・L	第9回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(1) 【計画内容】喪失体験からの回復、ジェノグラム、エコマップ、老いることの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】老いることの意味を考える。	A・L		
	第2回	【テーマ】対人援助を支える乳幼児期・児童期の心の理解 【計画内容】リレーションの大切さ、ほめるとしかるのポイント、何にフォーカスするかについて体験を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ほめるとしかるのポイントは何かを考える。	A・L	第10回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(2) 【計画内容】エリクソンの発達課題「統合と絶望」、脚本分析について理解する。 【授業時間外の学修内容】人生の最後において思うこと、何が幸せかを考える。	A・L		
	第3回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(1) 【計画内容】エコグラム、子どもと大人の違い、アイデンティティの確立について理解する。 【授業時間外の学修内容】子どもと大人の違いは何かを考える。	A・L	第11回	【テーマ】対人援助の技術(1) 【計画内容】カウンセリングマインド、カウンセリングモデル、よりそうことの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】カウンセリングとは何かを考える。	A・L		
	第4回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(2) 【計画内容】就職を考える。アイデンティティ・ステータス、自立とは何かについて理解する。 【授業時間外の学修内容】自立とは何かについて考える。	A・L	第12回	【テーマ】対人援助の技術(2) 【計画内容】問題の理解、心理テストの実際、解釈と質問の意味について、体験を通して理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に心理テストを行う。	A・L		
	第5回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(3) 【計画内容】結婚を考える。人はなぜ好きになるのか、好きになる理論について理解する。 【授業時間外の学修内容】人はなぜ好きになるのか、なぜ結婚するのかを考える。	A・L	第13回	【テーマ】対人援助の技術(3) 【計画内容】小さく始めることの意味、スモールステップ法、目標の設定、目標の実行、人は変わるかについて理解する。 【授業時間外の学修内容】人は変わるかについて考える。	A・L		
	第6回	【テーマ】家族を支える(1) 【計画内容】代表的な家族システム理論、バランスとは、機能不全の家族とは何か、虐待について理解する。 【授業時間外の学修内容】家族とは何かを考える。	A・L	第14回	【テーマ】対人援助の技術(4) 【計画内容】オープンマインド、長いスパンで考えることの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】オープンマインドとは何かを考える。	A・L		
	第7回	【テーマ】家族を支える(2) 【計画内容】家族関係測定尺度を通して、親子関係、家族間のコミュニケーションについて理解する。 【授業時間外の学修内容】親子関係、家族間のコミュニケーションについて考える。	A・L	第15回	【テーマ】これからの福祉心理学 【計画内容】福祉心理学の課題、福祉心理学の基本原則を日常生活に適用することについて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】福祉心理学の基本原則をどのように日常生活に適用するかを考える。	A・L		
	第8回	【テーマ】離婚・配偶者の死を考える 【計画内容】離婚の研究、配偶者の死からの回復、悲嘆過程について、事例をもとに理解する。 【授業時間外の学修内容】離婚・配偶者の死を考える。	A・L					
テキスト		プリントを配付します						
参 考 書		岡田明・宮本文雄・中山哲志、2002年、『福祉心理学 - 援助を必要とする人のために -』、ブレーン出版、4892426881 佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行、2011年、『福祉心理学総説』、田研出版、9784860890308						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		60%		
	補足			中間		平時		
課題に関するフィードバックの方法		Teams とポータルにて、行います。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		Teams ならびに Forms にて、質問を受け付けます。						
資 格		[健]介護福祉士_必修、社会教育主事_選必 [ス][教][芸]社会教育主事_選必 [心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必						
そ の 他								

科目名		社会学		授業形態	講義	単位数	2
教員名		松下 守邦					
授業の目的	ねらい	社会学は、「人々の社会とは何か」を明らかにする、社会科学の学問のひとつです。人間生活を扱うことから、経済学や政治学、社会福祉学にも近い領域の学問です。社会学は独自の視点として、社会関係、社会的行為、社会集団、社会構造、社会変動などの考え方(概念)を使って説明をします。個人と社会、家族社会、地域社会、産業労働社会、福祉社会など、ミクロからマクロの現代社会における人間関係、ジェンダー、社会階層と格差、少子化と高齢化など、社会事象の特質について学ぶことをねらいとします。					
	到達目標	(1)社会学の基本的概念を理解し、説明(記述)ができる。 (2)社会事象を社会学の基本的用語を使い、説明(記述)ができる。 (3)現代の社会事象について、その問題点と対策を、説明(記述)ができる。 (4)知識の外化(3手法:書く、話す、発表する)を使い、表現ができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと社会学への招待 【計画内容】教材(テキスト、配付プリント)、作業課題(ワークシート、レポートの作成提出)、授業の振り返りなど、授業形態とその対応について説明をします。テキスト、社会という言葉、社会学の歴史について学習します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章を読み、予習してください。能動的ノートのとり方(国語辞書編纂者、飯間浩明氏 twitter 記事)、大学講義ノートの取り方(佐藤望氏動画)などを参考にしてください。飯間浩明氏 twitter (2015.April.11)"「板書」をスマホで撮影してノートに代える」学生についての意見" https://twitter.com/IIMA_Hiroaki/status/586525324088774657/photo/1 (2021.02.01確認) 佐藤望氏 動画 https://www.youtube.com/watch?v=xrSBW8NLDaA (2021.02.01確認)	A		第9回	【テーマ】産業労働の社会学 【計画内容】労働、職業について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第9章を読み、予習してください。	A
	第2回	【テーマ】社会学の発想 【計画内容】社会学的説明の基礎、「常識を疑うこと」について学習します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章を読み、予習してください。	A		第10回	【テーマ】社会福祉の社会学 【計画内容】社会福祉、社会保障、福祉社会について、学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第12章を読み、予習してください。	A
	第3回	【テーマ】社会調査と計量社会学 【計画内容】社会調査、データ、インタビューにより社会事象を分析することについて学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章、第4章を読み、予習してください。	A		第11回	【テーマ】障害の社会学 【計画内容】障がい者、障害者、自立生活、アート活動について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第13章を読み、予習してください。	A
	第4回	【テーマ】社会学の基本的概念 【計画内容】社会学の専門用語、学術概念の捉え方について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章を読み、予習してください。	A		第12回	【テーマ】ジェンダーの社会学 【計画内容】ジェンダー、性別役割について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第15章を読み、予習してください。	A
	第5回	【テーマ】現代の家族 【計画内容】家族の形態、家族の機能、産業と家族、専業主婦、三歳児神話について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章を読み、予習してください。	A		第13回	【テーマ】第2回 ワークシートの作成、振り返り 【計画内容】本授業(第8回から第12回)の学習内容について、理解をたしかめるワークシートの作成、提出をおこないます。 【授業時間外の学修内容】テキストと配付資料を読み、準備学修をしてください。	K・L
	第6回	【テーマ】第1回 ワークシートの作成、振り返り 【計画内容】本授業(第1回から第5回)の学習内容について理解をたしかめるワークシートの作成、提出をおこないます。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第1章から第6章)と配付資料を読み、準備学修をしてください。	K・L		第14回	【テーマ】社会学の学術論文を読む 【計画内容】学術論文のスタイル、研究成果について学びます。アカデミックライティング(学術論文スタイル)は、概念の定義づけ、引用表現、文献リストの作成をおこなう型を理解し、研究成果を確認します。 【授業時間外の学修内容】配付資料を予習してください。	J
	第7回	【テーマ】視聴覚教材の視聴 【計画内容】視聴覚教材にでてくる社会事象について、学習した社会学概念を用いて分析、説明することを学びます。 【授業時間外の学修内容】本授業(第1回から第5回)であつかった社会学概念について、テキスト、資料の確認をしておきましょう。	J		第15回	【テーマ】視聴覚教材の視聴、授業全体のまとめ 【計画内容】視聴覚教材にでてくる社会事象について、学習した社会学概念を用いて分析、説明することを学びます。授業内容の全体についてまとめをおこない、確認をおこないます。 【授業時間外の学修内容】本授業(第1回から第14回)であつかった社会学概念について、テキスト、資料の確認をしておきましょう。	J・L
	第8回	【テーマ】都市の社会学 【計画内容】人口の密集、匿名性、1人暮らし社会、都市の多様性と課題について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章を読み、予習してください。	A				
テキスト		酒井千絵・永井良和・間淵領吾、2018年、『基礎社会学 新訂第4版』、政界思想社、9784790717164					
参考書		日本社会学会、2010年、『社会学事典』、丸善、9784621082546 田中正人編・香月孝史、2019年、『社会学用語図鑑』、プレジデント社、9784833423113 友枝敏雄・浜日出夫・山田真茂留編、2017年、『社会学の力 最重要概念・命題集』、有斐閣、9784641174306 井下千以子、2019年、『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版』、慶應義塾大学出版会、9784766425772					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			90%		10%	
	補足			課題評価(ワークシートレポート)			
課題に関するフィードバックの方法		ワークシート提出課題(授業第6回、第13回)のフィードバックを、提出後の授業にておこないます。全体の振り返りは15回授業のまとめにておこなう予定です。					
実務経験と授業の関連		経験内容					
		科目との関連					
質問への対応		大学交付の学生メールアドレスを使い、教員宛メールアドレス(大学交付教員メールアドレス)へメール送信してください。私用メールアドレスは、教員が受信する際、迷惑フォルダーに入ることがあるため、大学交付学生メールアドレスで作成送信して下さい。					
資格		[健]介護福祉士_選必、社会福祉主事_選必 [教]社会福祉主事_選必					
その他		ていねいに深く学びつづけることを大切にします。授業は全15回で修了します。成績評価は、ワークシート(学習範囲の理解をたしかめるための作業、第6回、第13回授業)、レポート(授業内容の理解を確認する「説明型レポート」、社会学概念と資料を利用して自分の主張を述べる「論証型レポート」、第7回、第15回授業)によりおこないます。学び方、評価方法などは第1回授業にて説明をおこないます。授業状況によりシラバス修整となる場合には、皆さんにシラバス修整版を提示いたします。					

科 目 名		生活生理学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		竹内 美幸						
授 業 の 目 的	ねらい	解剖学・生理学の視点から心身のメカニズムを知り、生活行為の成り立ちを理解する。その上で生活行為の障害はなぜ起きるのか、それにどのように効果的で根拠のある対応すればいいのか、について理解できる。						
	到達目標	(1)生活行為の生理的なしくみを理解することができる。 (2)精神面を含めたからだの仕組みを知り、必要な援助とその根拠を考えることができる。 (3)根拠をもって適した介護技術を行うことが、生活行為の自立を促す意味を説明することができる。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】こころのしくみを理解する 【計画内容】授業全体の目標の説明。こころのしくみについての基本を講義。脳や神経とこころの関連を学習する。 【授業時間外の学修内容】指定テキストを事前に準備し、全体の目次に目を通しておく。	A	第9回	【テーマ】入浴・清潔保持に関連したしくみ① 【計画内容】代表的な生活行為ごとに必要なこころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。入浴や清潔に関することとからだのしくみについて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A		
	第2回	【テーマ】からだのしくみを理解する① 【計画内容】解剖学的な視点からからだのしくみを学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A	第10回	【テーマ】入浴・清潔保持に関連したしくみ② 【計画内容】代表的な生活行為ごとに必要なこころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。入浴や清潔の援助に関わる観察のポイント、医療職との連携のポイントについて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A		
	第3回	【テーマ】からだのしくみを理解する② 【計画内容】からだの動きに関連するしくみを学習する。高齢者のからだの特徴について学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A・B	第11回	【テーマ】排泄に関連したしくみ① 【計画内容】代表的な生活行為ごとに必要なこころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。排泄に関することとからだのしくみについて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A		
	第4回	【テーマ】身じたくに関連したしくみ 【計画内容】代表的な生活行為ごとに必要なこころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。身じたくに関することとからだの仕組みについて理解する。身じたくの援助に関わる観察のポイントや医療職との連携のポイントについて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A	第12回	【テーマ】排泄に関連したしくみ② 【計画内容】代表的な生活行為ごとに必要なこころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。排泄の援助に関わる観察のポイント、医療職との連携のポイントについて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A・B		
	第5回	【テーマ】移動に関連したしくみ① 【計画内容】代表的な生活行為ごとに必要なこころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。移動に関することとからだの仕組みについて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A	第13回	【テーマ】睡眠に関連したしくみ 【計画内容】代表的な生活行為ごとに必要なこころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。睡眠に関することとからだのしくみについて理解する。睡眠の援助に関わる観察のポイント、医療職との連携のポイントについて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A		
	第6回	【テーマ】移動に関連したしくみ② 【計画内容】代表的な生活行為ごとに必要なこころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。移動の援助に関わる観察のポイント、医療職との連携のポイントについて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A・B	第14回	【テーマ】死にゆく人に関連したしくみ 【計画内容】人生の最終段階とは。リビングウィルについて。看取りにおけるケアの目的について。医療職との連携について。 【授業時間外の学修内容】インターネット等でリビングウィル・看取りなどのキーワードを検索して意味を理解しておく。	A		
	第7回	【テーマ】食事のしくみ① 【計画内容】代表的な生活行為ごとに必要なこころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。食事に関することとからだのしくみについて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A	第15回	【テーマ】振り返りとテスト 【計画内容】これまでの授業内容を振り返る。 知識習熟度テスト 【授業時間外の学修内容】授業で配付した資料やテキストで復習する。	L		
	第8回	【テーマ】食事のしくみ② 【計画内容】代表的な生活行為ごとに必要なこころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。食事の援助に関わる観察のポイント、医療職との連携のポイントについて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に授業範囲のテキストを一読し、専門用語の意味などを理解しておく。	A・B					
テキスト		介護福祉士養成講座編集委員会、2019年、『こころとからだのしくみ』、中央法規、9784805857717						
参 考 書		プリントを使用します、講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	60%				20%	20%	
	補 足	理解度の確認テスト					確認テスト	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	看護師					
		科目との関連	看護師としての解剖・整理の知識を生かし、支援が必要な生活行為動作についての根拠を教授する。					
質問への対応		授業中か終了後のいずれか						
資 格		[健]介護福祉士_必修						
そ の 他		テキストを購入・準備すること						

科 目 名		介護概論Ⅰ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		古市 孝義					
授 業 の 目 的	ねらい	介護及び介護福祉の概念を多角的な視点で学ぶことを目的とする。介護福祉の意義・介護福祉士の役割と専門性を考え、介護福祉サービス利用者の尊厳の保持と自立支援の重要性を理解する。介護福祉士としての役割の理解、在り方を理解し自己の介護観を深める。					
	到達目標	(1)介護福祉士を取り巻く状況や背景を、介護の歴史を通して理解し、社会情勢と関連付けて考えることができる。 (2)介護福祉の理念、介護福祉士の倫理について学ぶとともに実践場面でどのように生かせるかを理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション～介護に対するイメージの言語・視覚化 【計画内容】15回の講義の全体像を説明します。介護に対するイメージを言語化し、視覚化し、介護へのイメージを明らかにします。 【授業時間外の学修内容】自分の考える理想の介護福祉士像について考えてくること。	A・H	第9回	【テーマ】ノーマライゼーションの視点とICFの考え方 【計画内容】ノーマライゼーションの理念を知る。ICFの基本的な考え方と介護福祉サービスへの活かし方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A	
	第2回	【テーマ】介護福祉の概念と歴史 【計画内容】介護福祉の成り立ちを概観し、介護福祉に関連する制度・社会情勢、対象者を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】自立に向けた介護～自立支援のための生活支援技術 【計画内容】日常生活における生活支援技術を介護サービス利用者の自立支援という視点から考える。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A	
	第3回	【テーマ】介護福祉士を取り巻く状況 【計画内容】介護福祉に関連する社会情勢と介護をめぐる諸課題を整理し、求められる介護福祉士像を考える。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】介護福祉士の専門性と個別ケア 【計画内容】介護福祉士の専門性とは何かを考える。個別ケアの実践方法としてのユニットケアについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A	
	第4回	【テーマ】介護の働きと基本視点 【計画内容】生活支援技術の意義を学び、観察をはじめとする基本視点を理解する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】介護福祉士の倫理① 【計画内容】介護福祉士の専門性と倫理を理解し、介護福祉士に求められる専門職としての態度を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A・B	
	第5回	【テーマ】介護福祉士の役割と機能を支える仕組み～介護福祉士制度 【計画内容】介護福祉士の成立過程、介護福祉士の役割と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】介護福祉士の倫理② 【計画内容】介護福祉士に関連する倫理的諸問題を取り上げ、介護福祉士に求められる倫理観について考える。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A・B	
	第6回	【テーマ】介護福祉士の役割と機能を支える仕組み～介護保険制度 【計画内容】介護保険制度の外観を学び、制度における介護福祉士の役割を理解する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】介護福祉の課題と展望 【計画内容】わが国の介護福祉の状況と新たなサービス展開について学び、その中で介護福祉士の可能性について考える。 【授業時間外の学修内容】介護に関する気になる記事を集めてくる（新聞、雑誌、ニュース等）	A・B・H	
	第7回	【テーマ】介護を必要とする人の理解 【計画内容】介護を必要とする人を理解する。介護を必要とする人のための法律について理解する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義全体の振り返りをし、学びの確認をする。 【授業時間外の学修内容】これまでの資料を復習し、持参すること。	A	
	第8回	【テーマ】尊厳を支える介護とは 【計画内容】介護福祉士の理念の基盤となる「尊厳」について考える。尊厳を支える介護とは何か、その実現のために必要な専門職としての資質を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの指定個所を読んでおくこと。	A				
テキスト		介護福祉士養成講座、2019年、『介護の基本Ⅰ・Ⅱ』、中央法規出版					
参 考 書		適宜プリント、資料を配付します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		40%	20%
	補足						小テスト等
課題に関するフィードバックの方法		適宜授業中に紹介します。					
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応		初回授業時に説明します。					
資 格		[健]介護福祉士_必修、社会福祉主事_選必					
そ の 他							

科 目 名			介護技術演習Ⅰ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名			竹田 千春						
授 業 の 目 的	ねらい	介護福祉の基本となる人間関係の形成、コミュニケーションについて学ぶ。利用者の生活場面で考えられるコミュニケーションを、人間関係形成の基本的視点および介護福祉専門職の視点から考えていく。							
	到達目標	(1)人間関係形成の要素を考え、日常的なコミュニケーションのとり方を理解する。 (2)介護福祉専門職としてコミュニケーションの方法を理解し、実践に活用する基盤を学ぶ。 (3)介護福祉専門職に求められる観察・記録・報告の方法を理解し、チームにおけるコミュニケーションについて学ぶ。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開について説明します。人と関わることの基本について考えます。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を確認しておくこと。人との関わりについて自分の考えをまとめておくこと。	A	第9回	【テーマ】介護における観察の意義 【計画内容】介護福祉実践における観察の意義を理解し、コミュニケーションにおける観察の重要性を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・K			
	第2回	【テーマ】コミュニケーションとは 介護技術の意味とコミュニケーション 【計画内容】介護技術の基本要素を説明し、コミュニケーションの重要性について考える。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】介護過程の理解 【計画内容】個人の生活理解と支援方法を探るため、観察とコミュニケーションの役割を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・K			
	第3回	【テーマ】介護におけるコミュニケーションの基本 【計画内容】介護を必要とする人とのコミュニケーションにおける基本的な姿勢や方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】介護における記録・報告の基本 【計画内容】記録・報告の原則を学び、介護福祉専門職の役割を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・H・K			
	第4回	【テーマ】介護における関わりづくりの要素 様々なコミュニケーション手段の活用 【計画内容】言語的、非言語的要素を合わせてメッセージの受け止め方、伝え方を考える。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・B・H・N	第12回	【テーマ】介護におけるケアチームの連携とコミュニケーション 【計画内容】利用者主体の生活支援のための他職種との連携と介護職チーム内のコミュニケーションについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・H・K			
	第5回	【テーマ】心身の状況および障害の特性に応じたコミュニケーション(1) 【計画内容】高齢者の方、感覚機能に障害がある方とのコミュニケーションについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・B・H・N	第13回	【テーマ】介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 【計画内容】利用者家族との意思疎通をはかり、利用者主体の生活支援に結びつけることの重要性を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・H・K			
	第6回	【テーマ】心身の状況および障害の特性に応じたコミュニケーション(2) 【計画内容】運動機能障害のある方、知的障害のある方とのコミュニケーションについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・B・H・N	第14回	【テーマ】場面を想定した演習 ロールプレイによる学習 【計画内容】利用者に関わる姿勢・言葉かけを体験的に学習し、意見交換を行う。 【授業時間外の学修内容】事前配付された資料をよく読んで自分なりのイメージを持っておくこと。	A・B・H・K・N			
	第7回	【テーマ】心身の状況および障害の特性に応じたコミュニケーション(3) 【計画内容】認知症のある方とのコミュニケーションについて学ぶ。認知症のある方自身が抱える困難さを理解し、尊厳を守る関わり方の基本を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・B・H・N	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義、演習で学んだ内容を振り返り、実践での対応の仕方を考える。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付資料を復習し、理解を深めておくこと。	A・B			
	第8回	【テーマ】演習 事例による学習 【計画内容】事例に基づきグループディスカッションを行う。 【授業時間外の学修内容】事前に配付された事例について読んでおき、必要な支援について考えておくこと。	A・B・H・N						
テキスト		介護福祉士養成講座編集委員会、2019年、『コミュニケーション技術』、中央法規、9784805857656							
参 考 書		講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	40%		20%		40%			
	補足			ワークシート提出		演習時の取り組み姿勢			
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	介護福祉士						
		科目との関連	上記の実務経験をもとに実務に即した指導を行う						
質問への対応		初回講義時具体的に説明する。							
資 格		[健]介護福祉士_必修							
そ の 他		コミュニケーションという人間関係の基本を学ぶにあたり、積極的に他者と関わろうとする意欲ある態度を望みます。							

科 目 名			ソーシャルワーク入門Ⅰ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			尾形 良子、岩本 希、黒澤 直子、久野 真知子、吉田 修大					
授 業 の 目 的	ねらい	ソーシャルワークの主役は「人」です。この場合の「人」とは当事者、利用者またはクライアントと呼ばれる人々のことです。まず、ソーシャルワーク入門としては「人」と出会うことから始めます。人と出会う前には、最低限の知識を身につけておくべきです。そして実際に見学や実習で「人」と出会い、その経験から学習するためのモチベーションを得て、ソーシャルワーカー養成教育の第一歩とします。						
	到達目標	(1)ソーシャルワークの基本である人(利用者・当事者および支援者)と出会います。 (2)支援のための枠組みや基本的知識を理解して見学・実習をする基盤とします。 (3)現場を見学(一部実習)により経験し、“リアリティ”と出合い考える力を養います。 (4)児童福祉領域のソーシャルワークの基礎について経験として学びます。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】ソーシャルワーク論Ⅰの授業概要および展開について説明します。また現時点でのソーシャルワークを学習する動機付けがどの程度、どのような内容として持っているのかを確認する機会とします。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読して頂くこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・H・K	第9回	【テーマ】里親制度を理解する 【計画内容】里親(臨時講師)による講義を受けます。里親の概要、里親の実態を分かりやすく説明していただき、社会的養護についての理解の第一歩を印します。(吉田修大・岩本希) 【授業時間外の学修内容】里親を検索して頂くこと。	A		
	第2回	【テーマ】江別市文京台のCW、CSWの第一歩①文京台を歩く 【計画内容】ソーシャルワークの展開の中では、生活しているのがどのような地域なのかということが大きく影響することが見受けられます。「地域」を理解する第一歩として本学のある江別市文京台を歩きます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】江別市文京台のイメージをまとめておくこと。	L・M	第10回	【テーマ】里親制度関連見学 【計画内容】里親制度の関連施設(ファミリーホームまたは児童養護施設、児童相談所等)機関の概要を説明していただきます。(岩本希・吉田修大) 【授業時間外の学修内容】施設について調べておくこと。	A		
	第3回	【テーマ】江別市文京台のCW、CSWの第一歩①文京台を歩く(2コマ目) 【計画内容】ソーシャルワークの展開の中では、生活しているのがどのような地域なのかということが大きく影響することが見受けられます。「地域」を理解する第一歩として本学のある江別市文京台を歩きます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】江別市文京台のイメージをまとめておくこと。	L・M	第11回	【テーマ】里親制度関連見学 【計画内容】里親制度の関連施設(ファミリーホームまたは児童養護施設、児童相談所等)を見学し、社会的養護の理解の一歩とします。(岩本希・吉田修大) 【授業時間外の学修内容】施設について調べておくこと。	D		
	第4回	【テーマ】江別市文京台のCW、CSWの第一歩②文京台はどのような地域か分析する 【計画内容】前回の「地域」のまとめと分析を実施します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回のまとめをしておくこと。	H・L	第12回	【テーマ】児童デイサービスの理解①事前学習 【計画内容】児童デイサービスの実習に行くための事前学習を実施します。(岩本希・黒澤直子) 【授業時間外の学修内容】児童デイサービスを検索して頂くこと。	A		
	第5回	【テーマ】福祉と映画 【計画内容】社会福祉問題を扱う映画は多く、ソーシャルワークを学ぶ者の強要としても考えるケーススタディとしても学ぶべきことは多いと考えられます。(尾形良子・久野真知子) 【授業時間外の学修内容】福祉に関わる映画を調べて頂くこと。	J・L	第13回	【テーマ】児童デイサービスの理解②実習 【計画内容】児童デイサービスでの実習に際し、児童デイサービスの概要、実習にかかわる留意事項などについて説明をしていただきます。(岩本希・黒澤直子) 【授業時間外の学修内容】前回授業を復習して頂くこと。	A		
	第6回	【テーマ】乳児院見学①事前準備 【計画内容】乳児院見学のための事前学習および施設見学のマナー、ルールを学習します。(尾形良子・久野真知子) 【授業時間外の学修内容】乳児院というキーワードを検索して頂くこと。	A	第14回	【テーマ】児童デイサービスの理解②実習 【計画内容】実習として児童デイサービスに来所している児童と遊びやコミュニケーションを通して関わりをもつ経験をします。(岩本希・黒澤直子) 【授業時間外の学修内容】前回授業を復習して頂くこと。	D		
	第7回	【テーマ】乳児院見学② 【計画内容】乳児院見学に際し、乳児院の概要、乳児院におけるソーシャルワークについて講義をしていただきます。(尾形良子・久野真知子) 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を読み込んで頂くこと。	A・D	第15回	【テーマ】イベント(障がい者)について 【計画内容】9月初旬に実施するイベントボランティアについて説明を行います。(岩本希・黒澤直子) 【授業時間外の学修内容】ボランティアについて調べておくこと	A		
	第8回	【テーマ】乳児院見学② 【計画内容】実際に乳児院を見学し、乳児院および児童ソーシャルワークへの理解を進めます。(尾形良子・久野真知子) 【授業時間外の学修内容】前回授業の資料を読み込んで頂くこと。	D					
テキスト		講義時に説明する						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			40%		60%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		講義時に説明します						
資 格								
そ の 他		社会福祉コース必修科目						

科 目 名		ソーシャルワーク入門Ⅱ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		黒澤 直子、岩本 希、尾形 良子、久野 真知子、吉田 修大						
授 業 の 目 的	ねらい	ソーシャルワークの基本である人と出会うこと、支援のための仕組みや基本的知識を理解して見学・実習をする基盤とすること、ソーシャルワークの前提となる経験や学習を通して社会福祉士を目指す準備性を整えることを目的としている。そのため、ソーシャルワークに関わる実際の現場や地域での活動に参加し、支援に関わる人々や支援の対象となる人の話を聞くことによって考える力を養い、支援者を志す自分を発見し、今後のソーシャルワークへの学びにつなげると共に、ソーシャルワーカーを目指す仲間とのコミュニケーションを深めることで互いの価値観や倫理観に基づく考えを気づき合うことができる。						
	到達目標	(1)ソーシャルワークの基本である人と出会ってコミュニケーションができる。 (2)ソーシャルワーク入門Ⅰの学習を基盤として支援者を志す自分を発見し、動機づけを高める。 (3)ソーシャルワークの前提となる経験や学習を通して社会福祉士を目指す準備性を整える。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。(黒澤直子) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ソーシャルワークに関わる活動を学ぶ 【計画内容】地域の老人クラブなどの活動に参加し、コミュニケーションを学ぶと共に、ソーシャルワークに関わる活動について理解する。(吉田修大) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	H・K・M		
	第2回	【テーマ】コミュニケーションを学ぶ 【計画内容】社会福祉施設のボランティアに参加し、対象となる人やその家族と関わり、コミュニケーションについて学ぶ。(岩本希) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	H・K・M	第10回	【テーマ】ソーシャルワークに関わる活動を学ぶ 【計画内容】地域の老人クラブなどの活動に参加し、コミュニケーションを学ぶと共に、ソーシャルワークに関わる活動について理解する。(久野真知子・尾形良子) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	H・K・M		
	第3回	【テーマ】コミュニケーションを学ぶ 【計画内容】社会福祉施設のボランティアに参加し、対象となる人やその家族と関わり、コミュニケーションについて学ぶ。(岩本希) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	H・K・M	第11回	【テーマ】ソーシャルワークに関わる活動を学ぶ 【計画内容】地域の老人クラブなどの活動に参加し、コミュニケーションを学ぶと共に、ソーシャルワークに関わる活動について理解する。(久野真知子) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	H・K・M		
	第4回	【テーマ】コミュニケーションを学ぶ 【計画内容】社会福祉施設のボランティアに参加し、対象となる人やその家族と関わり、コミュニケーションについて学ぶ。(岩本希) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	H・K・M	第12回	【テーマ】ソーシャルワークに関わる活動を学ぶ 【計画内容】地域の老人クラブなどの活動に参加し、コミュニケーションを学ぶと共に、ソーシャルワークに関わる活動について理解する。(久野真知子) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	H・K・M		
	第5回	【テーマ】コミュニティワークを学ぶ 【計画内容】大学周辺の地域について、市内見学や地域探索を通して、コミュニティワークがどのように実践されているのか学ぶ。(尾形良子) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	H・K・M	第13回	【テーマ】ソーシャルワーク専門職の理解を深める 【計画内容】地域に存在する社会福祉施設や保健医療機関などの見学およびソーシャルワーク専門職からの講話を通して理解を深める。(黒澤直子) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	A・K・M		
	第6回	【テーマ】コミュニティワークを学ぶ 【計画内容】大学周辺の地域について、市内見学や地域探索を通して、コミュニティワークがどのように実践されているのか学ぶ。(尾形良子) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	H・K・M	第14回	【テーマ】ソーシャルワーク専門職の理解を深める 【計画内容】地域に存在する社会福祉施設や保健医療機関などの見学およびソーシャルワーク専門職からの講話を通して理解を深める。(黒澤直子) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	A・K・M		
	第7回	【テーマ】ソーシャルワークの対象となる人について学ぶ 【計画内容】ソーシャルワークの対象となる当事者の方のお話を聞くことによって、どのような状況にあり、どのような支援が必要であるか考える機会とする。(吉田修大) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	A・K	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】これまでに行った見学や体験から学んだことを振り返り、ソーシャルワークとは何か、支援者を志す自分自身について考察する。(黒澤直子) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	A・H・L		
	第8回	【テーマ】ソーシャルワークの対象となる人について学ぶ 【計画内容】アイマスク体験などを行い、体験的にソーシャルワークの対象となる人の状況を理解する。(吉田修大) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料の課題に取り組むこと。	B・K					
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			40%		60%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		社会福祉コース必修科目						

科 目 名				ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名				久野 真知子					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は、ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念、専門職倫理を理解し、社会福祉士及び関連領域の役割について学びます。また、福祉行政並びに民間の福祉専門職への学び、諸外国の動向も踏まえ、ソーシャルワーク実践について幅広い理解を目指します。更に、ソーシャルワーク実践が対象とする範囲を体系的に学習し、その関連も含めて支援の実践について理解するため、事例を用いて総合的かつ包括的なソーシャルワークについて学びを深めます。							
	到達目標	(1)ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲について理解する。 (2)ソーシャルワーク(相談援助)における専門職倫理について理解する。 (3)総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)、多職種連携について理解を深める。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】社会福祉とソーシャルワークの関係 【計画内容】講義の展開方法の説明及び本講義で扱うソーシャルワーク(相談援助)の社会福祉相対システムにおける位置づけを確認する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論1 【計画内容】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)の考え方と政策動向を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト 第8章 第2節(p.277-p.288)を読んでおくこと。	A			
	第2回	【テーマ】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲1- 専門職と専門職団体 【計画内容】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の成立要件や専門職団体の意義や目的を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト 第6章 第1節(p.206-p.218)を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論2 【計画内容】ジェネラリスト・ソーシャルワークに関する理論を理解する。 【授業時間外の学修内容】今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A			
	第3回	【テーマ】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲2- 社会福祉専門職とその範囲 【計画内容】わが国の社会福祉従事者と社会福祉専門職及び福祉行政の理解と分野別社会福祉専門職の業務や役割を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト 第6章 第2・3節(p.219-p.234)を読んでおくこと	A・K	第11回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論3 【計画内容】ジェネラリスト・ソーシャルワークの特質を理解する。 【授業時間外の学修内容】今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・K			
	第4回	【テーマ】諸外国におけるソーシャルワークの動向 【計画内容】欧米その他諸外国におけるソーシャルワークの動向について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト 第6章 第4節(p.235-p.244)を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能1- 総合相談の全体像 【計画内容】総合相談システムの今日的課題を学び、多職種連携とチームアプローチについて理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト 第8章 第3節(p.289-p.302)を読んでおくこと。	A			
	第5回	【テーマ】専門職倫理の概念と倫理的ジレンマへの対応 【計画内容】専門職倫理の理解と倫理綱領について確認し、倫理的ジレンマへの対応方法について事例に基づいて理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章(p.172-p.203)を読んでおくこと。	A・J・K	第13回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能2- 機能の解説1 【計画内容】個と地域の一体的機能、予防機能、新しいニーズへの対応機能を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト 第8章 第3節(p.289-p.302)を読んでおくこと。	A			
	第6回	【テーマ】ソーシャルワーク(相談援助)の対象者と支援の実践 【計画内容】支援対象者についてマイクロ・メゾ・マクロレベルから学び、それぞれの連関性や支援の実践について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章(p.246-p.267)を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能3- 機能の解説2 【計画内容】総合的支援機能、多問題家族支援機能、権利擁護機能、社会資源開発機能を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト 第8章 第3節(p.289-p.302)を読んでおくこと。	A			
	第7回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)1- 動向と背景 【計画内容】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)をめぐる動向を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト 第8章 第1節(p.270-p.273)を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】総括と確認 【計画内容】ソーシャルワークの専門職倫理及び総合的かつ包括的な相談援助についての整理と理解度の確認をする。 【授業時間外の学修内容】第14回までの復習をしておくこと。	A・K			
	第8回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)2- 基本的視座 【計画内容】地域を基盤としたソーシャルワーク(相談援助)の基本的視座について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト 第8章 第1節(p.273-p.276)を読んでおくこと。	A・K						
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟、2021年、『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職(共通・社会専門)』、中央法規出版								
参 考 書	講義で適宜紹介します								
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	分	50%		20%		30%		
補 足					ワークシート				
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連			経 験 内 容						
			科目との関連						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資 格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必								
そ の 他									

科 目 名		児童・家庭福祉			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		小松 留美子						
授 業 の 目 的	ねらい	①児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要(子育て、一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力(D.V)の実態を含む。)について理解する。 ②児童・家庭福祉制度の発展過程について理解する。 ③児童の権利について理解する。 ④相談援助活動において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解する。						
	到達目標	(1)児童・家庭福祉に関する基礎知識を習得する (2)現代社会と児童・家庭福祉の問題について理解する (3)将来の担い手として、子どもと家庭を取り巻く課題及び今後の展望について自らの意見を述べることができる						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容、講義の進め方、評価等について説明する。児童家庭福祉を学ぶ意義を考える。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】児童・家庭福祉を実施する行政機関と施設 【計画内容】社会的養護の種類について理解し、課題と展望について考える。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り込むこと。	A・G・H		
	第2回	【テーマ】現代の児童家庭福祉 【計画内容】子どもを取り巻く環境の変化について考え、子どもの貧困など子どもと家庭を取り巻く諸問題について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H	第10回	【テーマ】児童相談所の役割と現状 【計画内容】児童相談の内容や関係機関との連携について理解を深め、現代の課題と今後の展望について考察する。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H		
	第3回	【テーマ】児童の定義と権利 【計画内容】子どもの権利について理解を深め、子どもの定義を確認しながら、その変遷と現代の課題について考える。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H	第11回	【テーマ】児童・家庭福祉の歴史 【計画内容】これまで学習した諸制度などを踏まえながら、子ども家庭福祉の歴史について理解を深め、今日における課題について考察する。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H		
	第4回	【テーマ】配偶者からの暴力とDV禁止法 【計画内容】ドメスティックバイオレンスの現状と法的な対応についての理解を深め、課題と今後の展望について考える。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H	第12回	【テーマ】児童・家庭福祉の法制度と行政の仕組み 【計画内容】法制度の変遷と現状及び行政の仕組みについて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H		
	第5回	【テーマ】児童虐待の現状と取り組み 【計画内容】児童虐待について理解を深め、その対策について考えながら、法制度などを理解する。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H	第13回	【テーマ】児童・家庭福祉のネットワーク 【計画内容】児童・家庭福祉におけるネットワークの意義とその機能について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H		
	第6回	【テーマ】親子の関係と愛着について 【計画内容】親子の絆の大切さと影響について理解を深め、役割を理解する。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H	第14回	【テーマ】児童・家庭福祉に関わる専門機関の役割と実際 【計画内容】専門機関および専門職の役割と現状を理解し、今後の課題について考える。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H		
	第7回	【テーマ】子育て支援と健全育成事業 【計画内容】現代社会における子育ての実際と地域社会の変容について理解し、今後求められる課題について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H	第15回	【テーマ】児童家庭福祉に関わる基本的な知識の振り返り 【計画内容】児童家庭福祉にかかわる基本的な知識について復習し、理解を深める。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G		
	第8回	【テーマ】児童福祉施設の現状と課題 【計画内容】現代社会における児童福祉施設の現状と課題について理解し、今後求められる対策について考える。 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H					
テキスト		プリントを使用する						
参 考 書		プリントを使用する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		40%	10%	
補 足				授業内レポート実施				
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	母子生活支援施設・子ども家庭支援センター勤務					
		科目との関連	児童福祉施設での実務経験のもと、現場の実態と課題を伝える。					
質問への対応		初回時に説明する。						
資 格		[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
そ の 他		授業中の私語やスマートフォンの使用は厳粛に対応する。						

講義要綱
SYLLABUS
生涯スポーツ学部 1 年次

2021年 4 月 発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511 江別市文京台23番地
TEL (011) 386-8011
FAX (011) 387-1542

